

長岡市民アンケート調査結果

地方創生推進部 政策企画課

目次

0	本調査の概要	p. 2
1	回答者の属性	p. 5
2	幸福度関連	p.19
3	長岡市全体関連	p.36
4	政策・施策関連	p.55

0

本調査の概要

調査実施概要

- 市民の幸福度や政策・施策に関する現状値の把握を目的として、無作為抽出の市民5,000人に対して調査票を配布し、2,004人から回答があった。

■ 本調査の実施概要

実施目的	市民の幸福度や政策・施策に関する現状値の把握
対象者	18歳以上の市民5,000人（無作為抽出）
調査方法	調査票配布方法：郵送配布 回答方法：郵送またはWEBからの回答
回答期間	2024年12月9日（月）～12月25日（水）
回答者数	2,004人（回収率 40%）

調査項目概要

- 調査項目は以下の通り。

■ 調査項目の概要

属性		性別、年代、職業、家族構成、居住地域、合計居住年数、転居経験、子育てや介助・介護が必要な家族の有無、婚姻状況、婚姻意向、希望子ども数
幸福度	回答者について	暮らしの満足度、幸福度、5年後の幸福度、幸福度が下がる理由
長岡市全体		長岡市での居住継続意向、居住継続意向の理由、市のまちづくりに対する認識、特に力を入れてほしい取り組み
政策・施策	暮らしについて	地域活動への参加経験、男女平等の進展に関する認識、ワークライフバランスの実現状況、人権意識
	子育て・教育・歴史文化などについて	学校教育以外の主体的な学びの機会の充実度、運動やスポーツへの関わり、平和について考える機会、長岡市の歴史や文化に対する愛着、自分の住む地域（町内）への愛着、地域での子育て・児童の見守り状況
	福祉や健康などについて	経済的な不安の有無、生活に関する相談先の有無、地域活動・ボランティアへの関心、地域において高齢になっても安心して生活し続けられるか、現在の健康状態
	環境について	脱炭素社会に向けて行っている取り組み、太陽光発電設備の導入意向
	交通や住環境について	市内における幹線道路を用いた移動のしやすさ、市内における公共交通機関を用いた移動のしやすさ、現在の住環境の快適さ
	土地の管理について	将来における土地管理に関する不安の有無、土地の管理にあたって必要な取り組み
	行政サービスについて	必要な行政サービスや政策が実施されているか、利便性の高い行政サービスが提供されているか、必要な市政情報を十分に得られているか、どのような方法で市政情報を得ているか
その他	-	その他ご意見（自由記述）

1

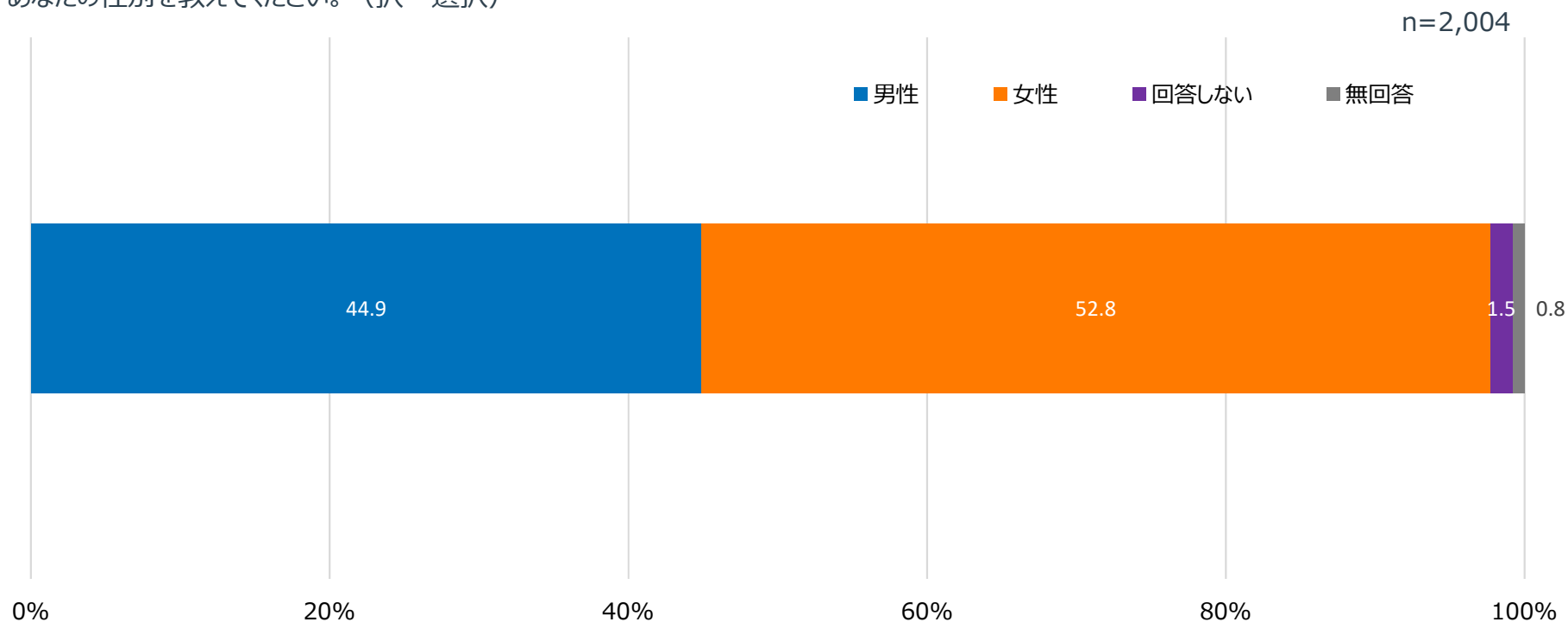
回答者の属性

回答者の性別

- 回答者の性別については、「女性（52.8%）」、「男性（44.9%）」と、女性の回答者が7.9%多い結果となった。

■ 性別

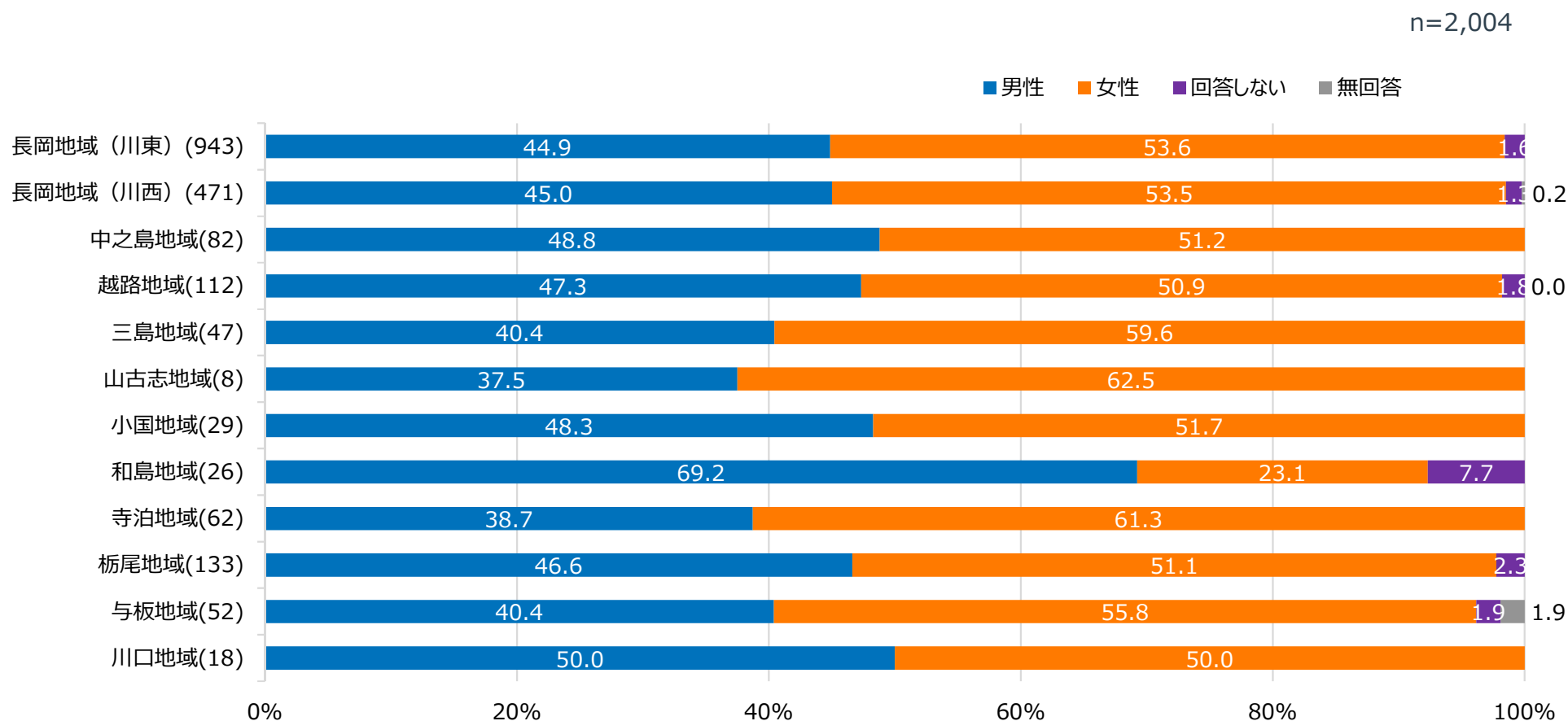
あなたの性別を教えてください。（択一選択）



回答者の性別（居住地域）

- 回答者の性別について、居住地域ごとに確認した。
- 多くの地域において男性が4～5割、女性が5～6割程度であったが、和島地域では男性が69.2%と多かった。

■ 居住地域ごとの性別



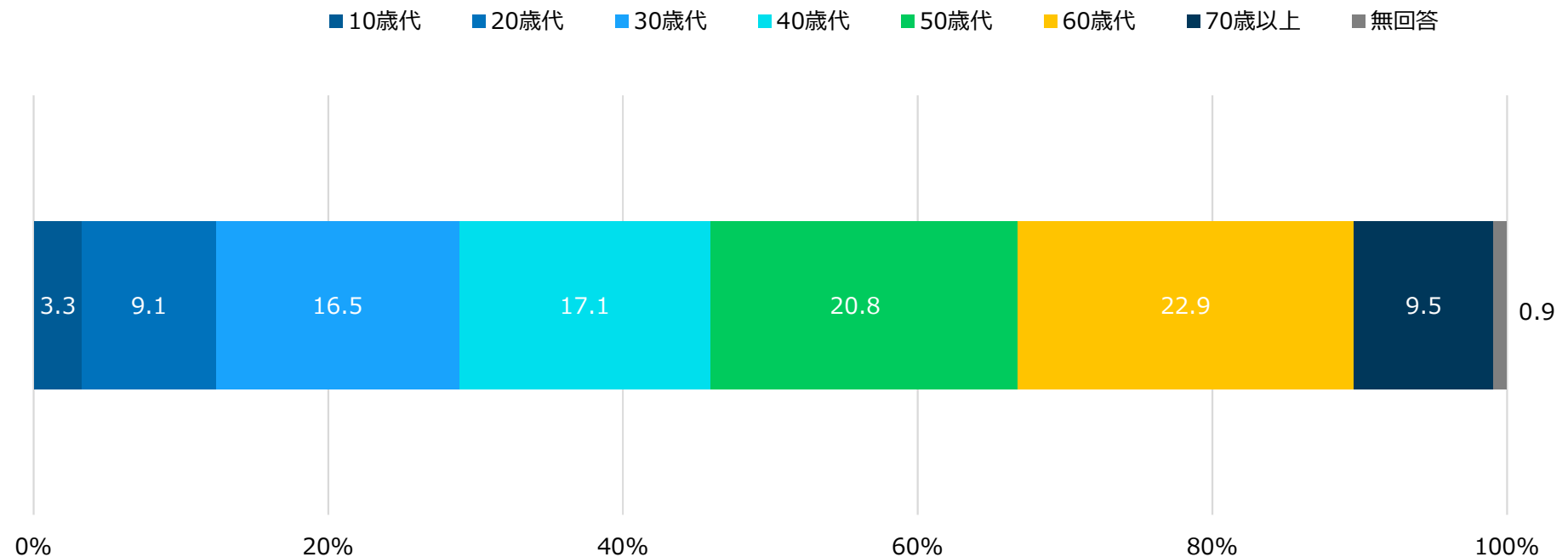
回答者の年代

- 回答者の年代については、30～60歳代については20%前後と概ね同程度であり、10～20歳代及び70歳代は10%を下回っている。

■年代

あなたの年齢を教えてください。（択一選択）

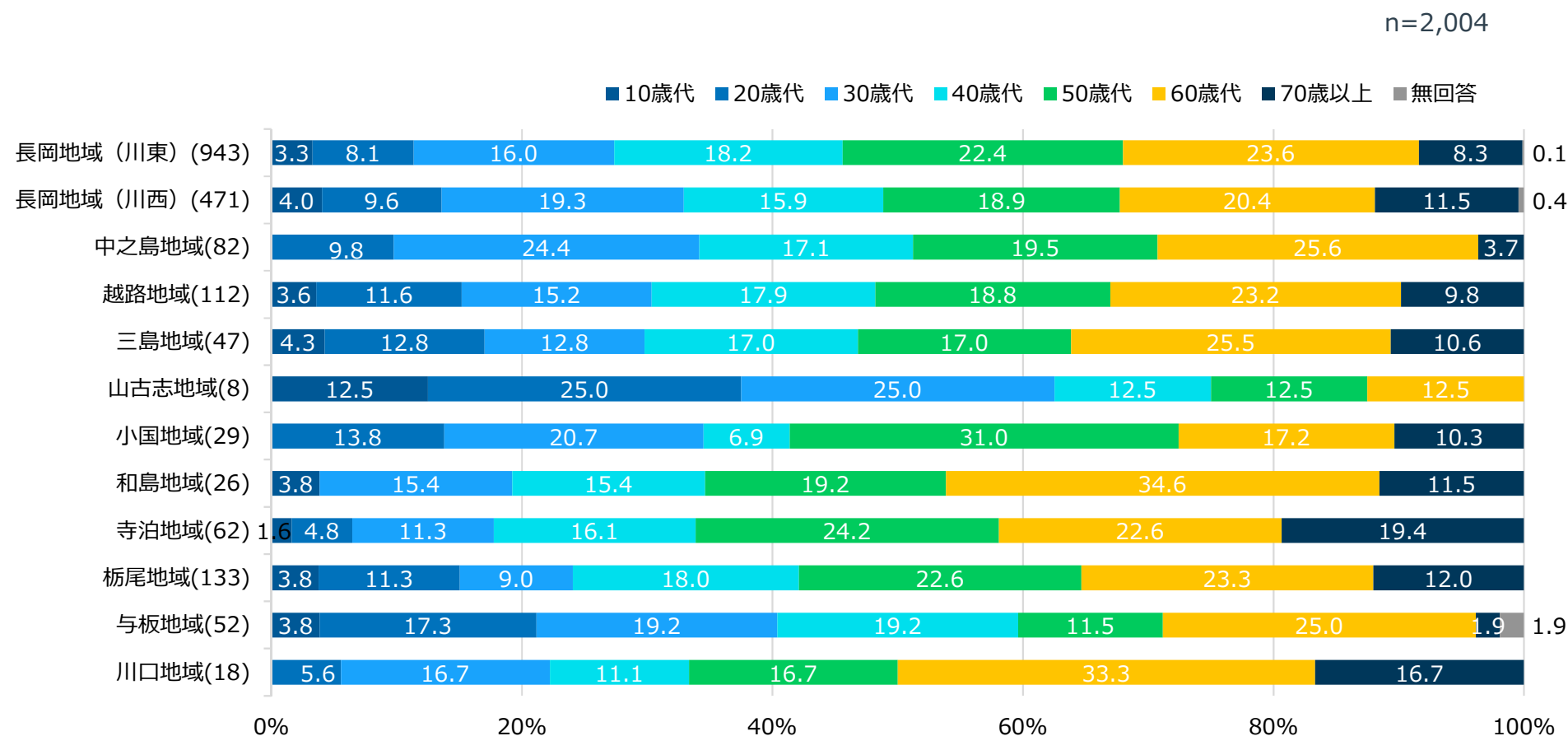
n=2,004



回答者の年代（居住地域）

- 回答者の年代について、居住地域別に確認した。
- 回答者が少ない山古志、川口、和島、小国地域などでは、全体での年代構成との違いが大きかった。

■ 居住地域別の年代



回答者の職業

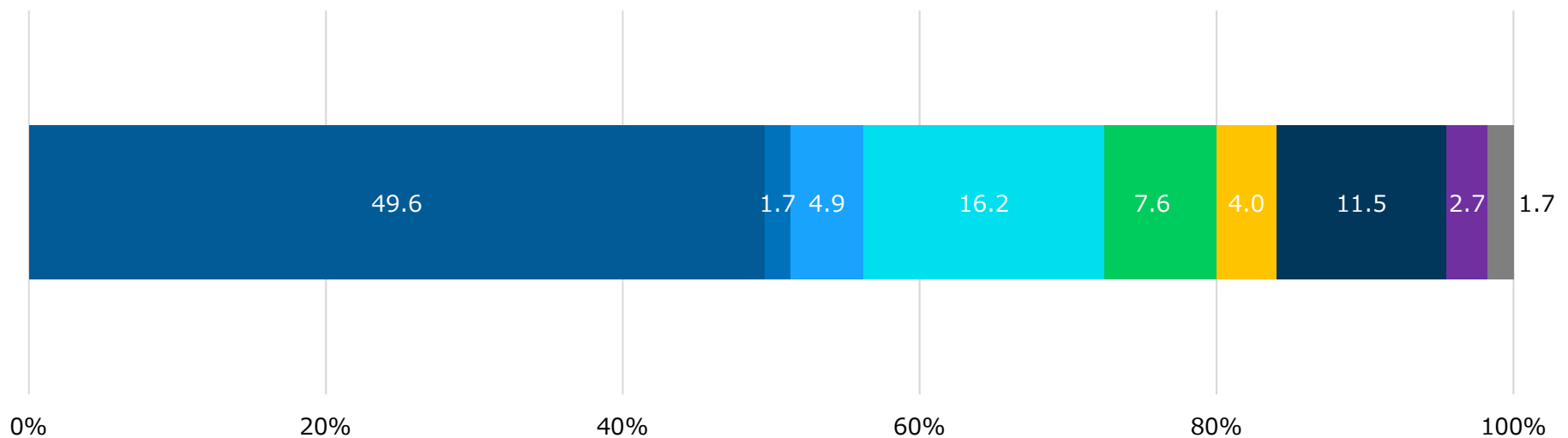
- 職業については、「会社員・公務員・団体職員」が49.6%と約半数を占めた。次いで「パート・アルバイト（16.2%）」、「無職（11.5%）」の順に多い結果となった。

■ 職業

あなたの職業を教えてください。（択一選択）

n=2,004

■ 会社員・公務員・団体職員 ■ 自営業（農林水産業） ■ 自営業（商工業・サービス業） ■ パート・アルバイト ■ 専業主婦・主夫 ■ 学生 ■ 無職 ■ 回答しない ■ 無回答



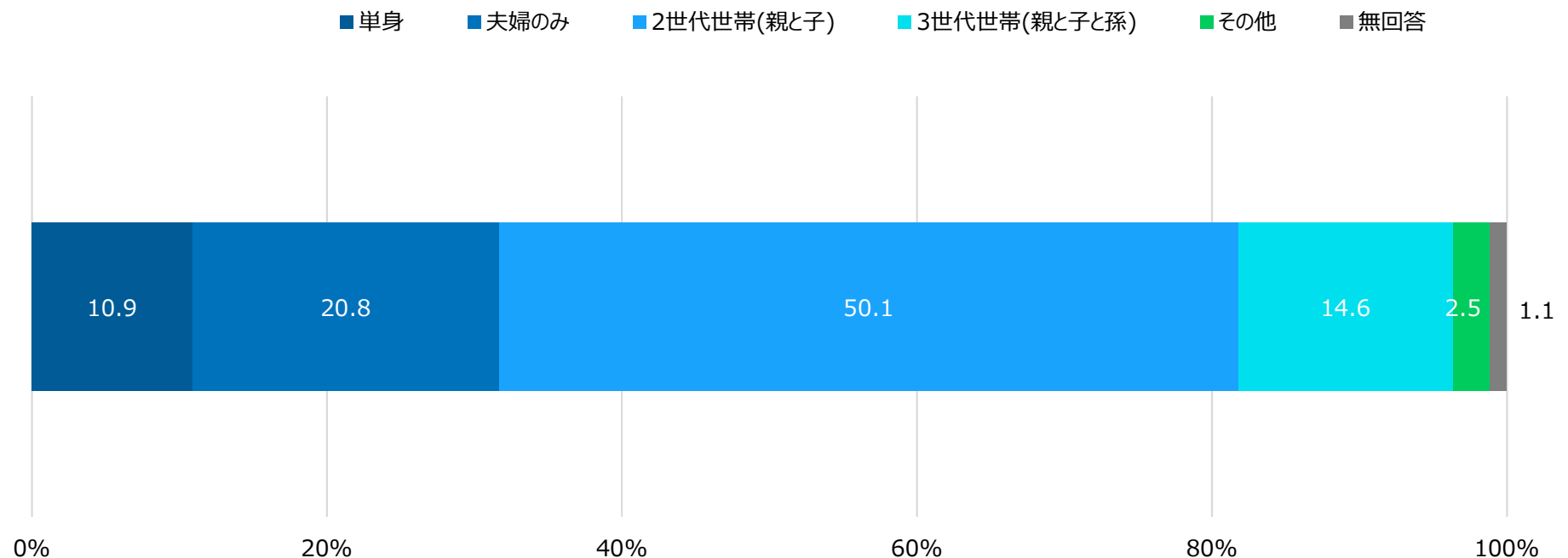
回答者の世帯の家族構成

- 世帯の家族構成については、「2世代世帯（親と子）」が50.1%と半数を占め、「夫婦のみ（20.8%）」、「3世代世帯（親と子と孫）（14.6%）」の順に多い結果となった。

■ 家族構成

あなたの世帯の家族構成を教えてください。（択一選択）

n=2,004



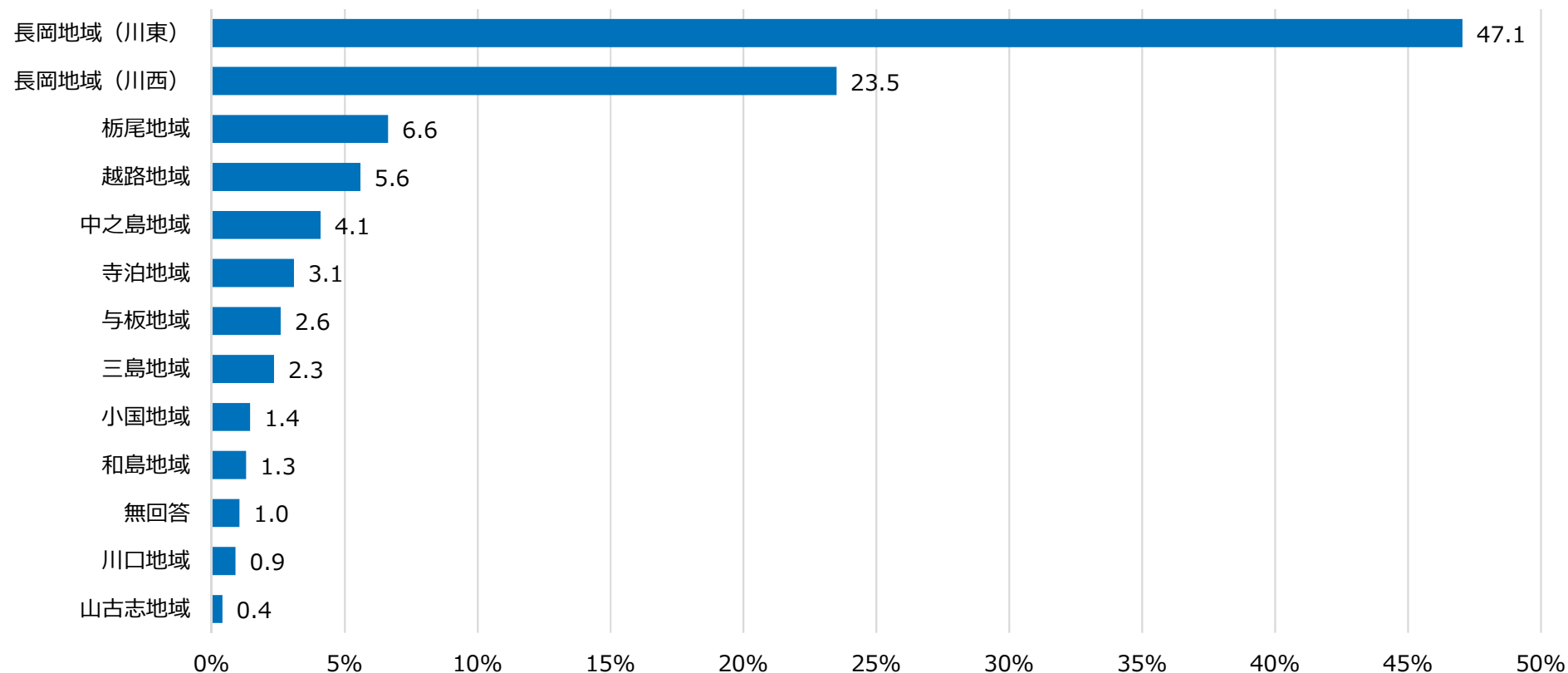
回答者の居住地域

- 現在の居住地域については、長岡地域が合計70.6%と大半を占め、次いで「栃尾地域（6.6%）」、「越路地域（5.6%）」の順となった。11地域全ての居住者から回答を得ることができた。

■ 居住地域

あなたの現在の居住地域を教えてください。（択一選択）

n=2,004



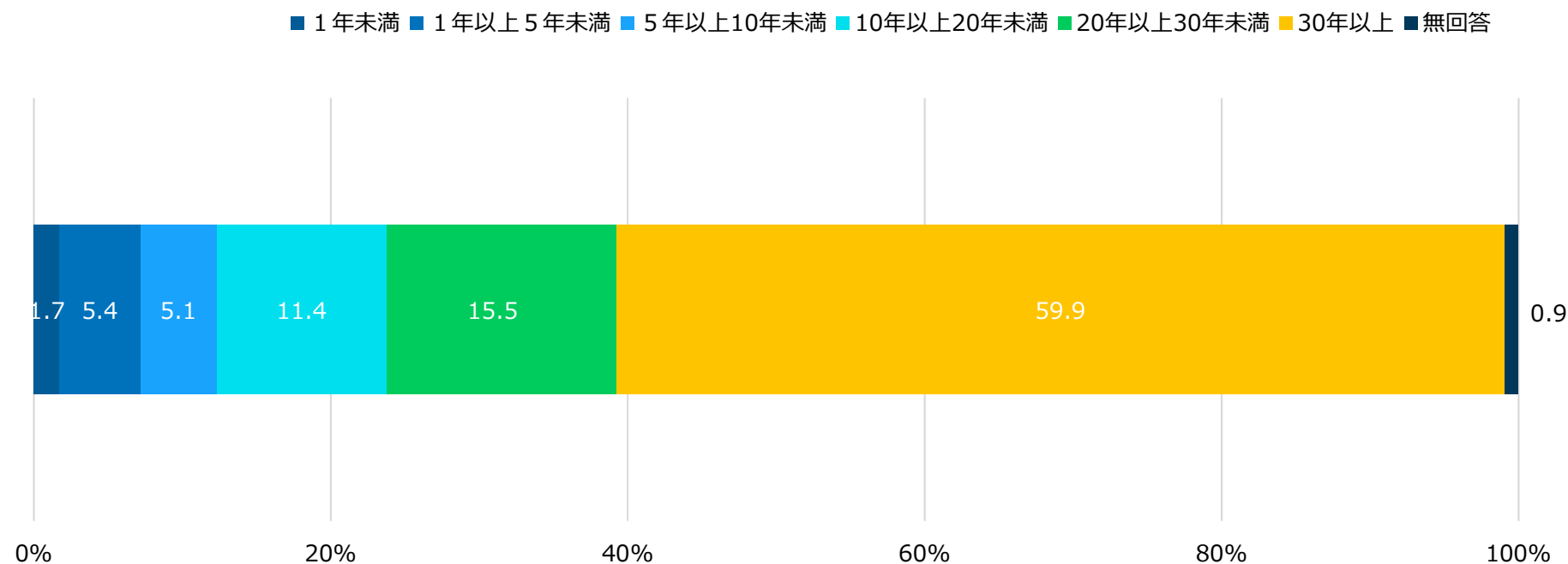
回答者の合計在住年数

- ・ 長岡市（合併前の旧市町村も含む）に住んでいる合計年数について質問した。
- ・ その結果、「30年以上」が59.9%と最も多かった。（「あなたの年代を教えてください」の設問に対する回答で40歳代、50歳代、60歳代、70歳代の合計（53.2%）とほぼ同数）

■ 合計在住年数

あなたが長岡市（合併前の旧市町村も含む）に住んでいる合計年数を教えてください。（択一選択）

n=2,004



回答者の出身地と市外への転居経験

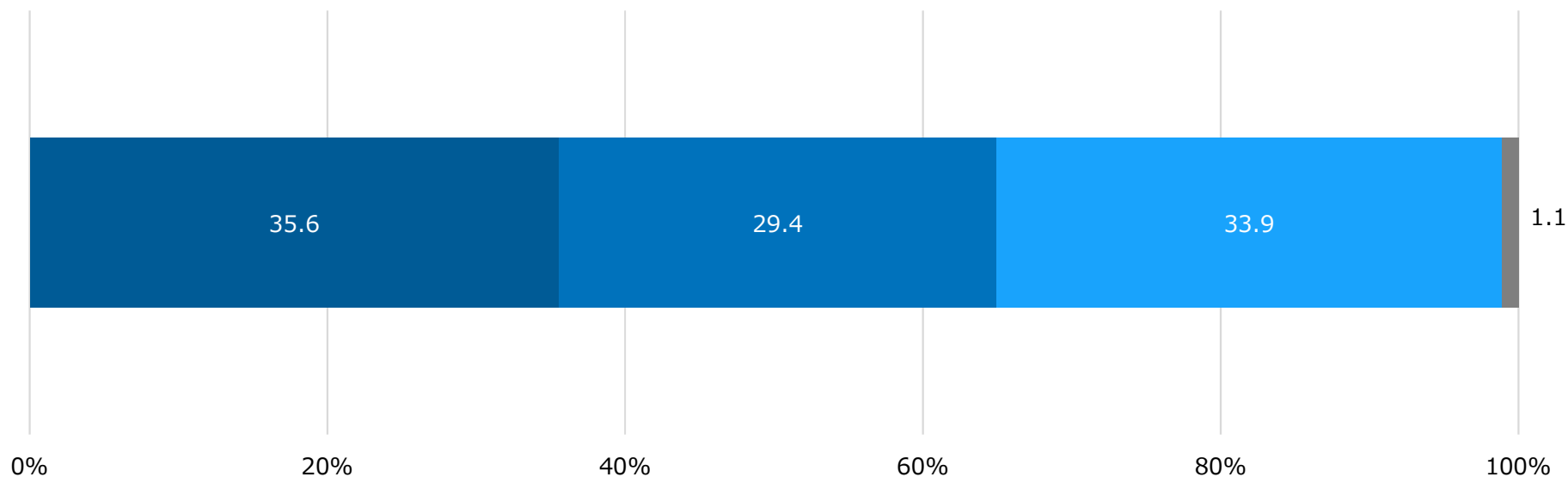
- 出身地とこれまでの市外への転居経験について質問した。
- 「長岡市内の出身で転出経験があるが、現在は戻ってきて市内在住（29.4%）」「長岡市外の出身で、現在は市内在住（33.9%）」の合計は63.3%と「長岡市内の出身で転出経験なし（35.6）」の約2倍で、転入者が多い傾向にある。

■ 出身地と市外への転居経験

あなたの出身地とこれまでの市外への転居経験について教えてください。（択一選択）

n=2,004

■ 長岡市内の出身で転出経験なし ■ 長岡市内の出身で転出経験があるが、現在は戻ってきて市内在住 ■ 長岡市外の出身で、現在は市内在住 ■ 無回答



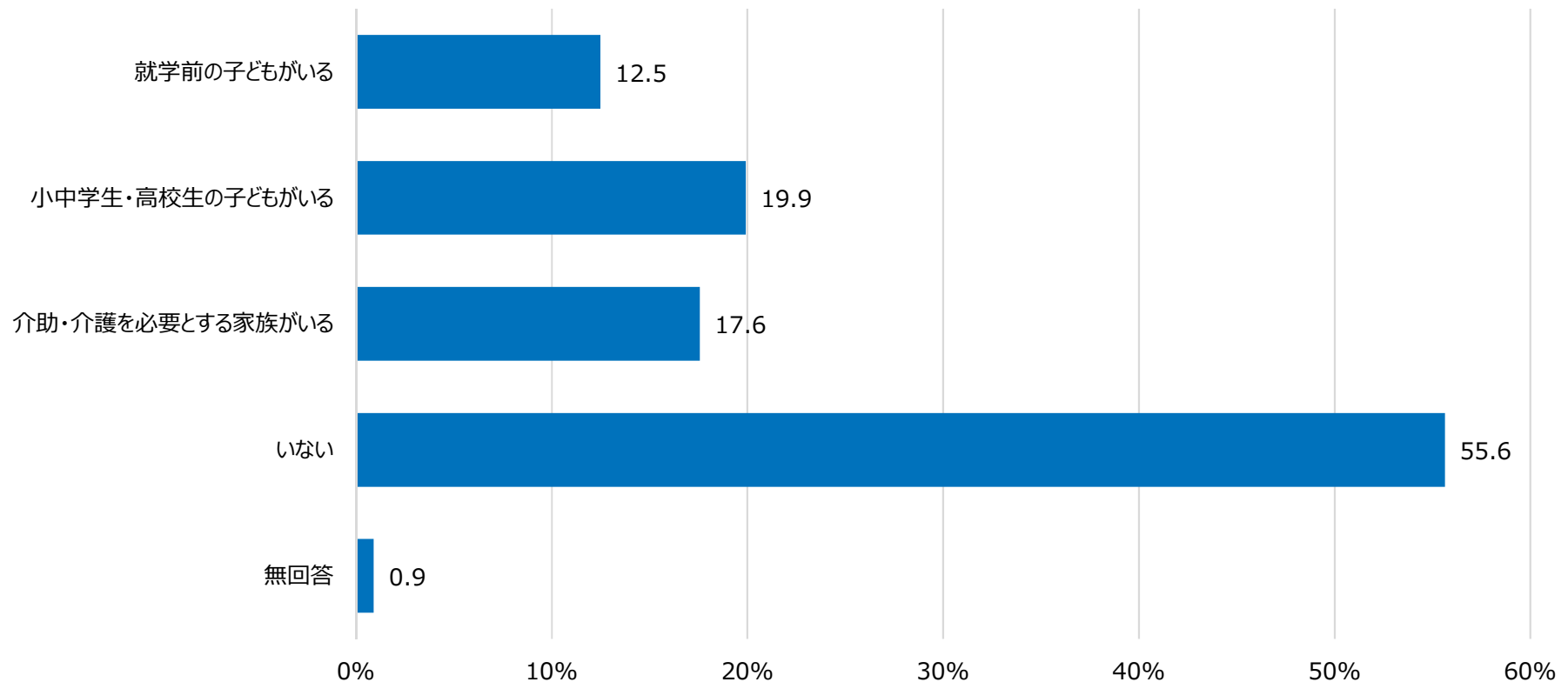
回答者の子育てや介護・介護が必要な家族の有無

- 子育てや介護・介護が必要な家族がいるか質問した。
- その結果、子育てや介護・介護が必要な家族がいる回答者といない回答者がほぼ半々であった。

■ 介護・介護が必要な家族の有無

あなたは、子育てや介護・介護が必要な家族はいますか。（複数選択）

n=2,004



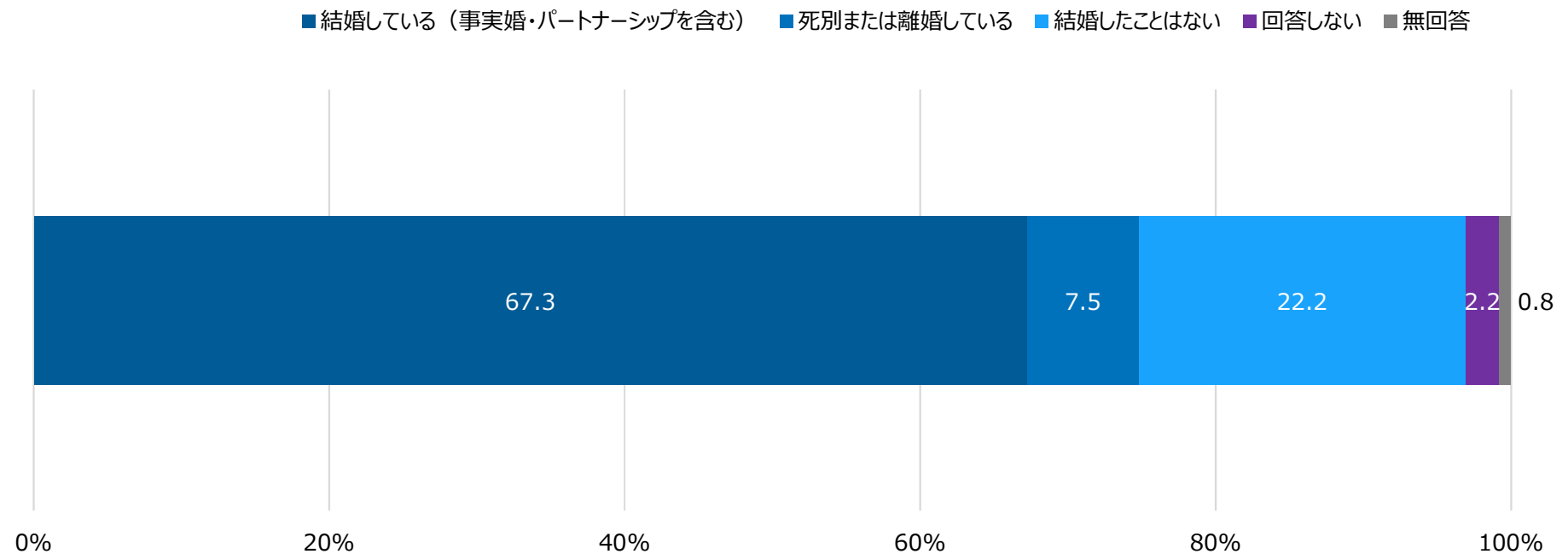
回答者の婚姻状況

- 現在の婚姻状況について質問した。
- その結果、「結婚している（事実婚・パートナーシップを含む）」が67.3%と最も多く、次に「結婚したことがない（22.2%）」が多い結果となった。

■ 婚姻状況

あなたの現在の婚姻状況について教えてください。（択一選択）

n=2,004



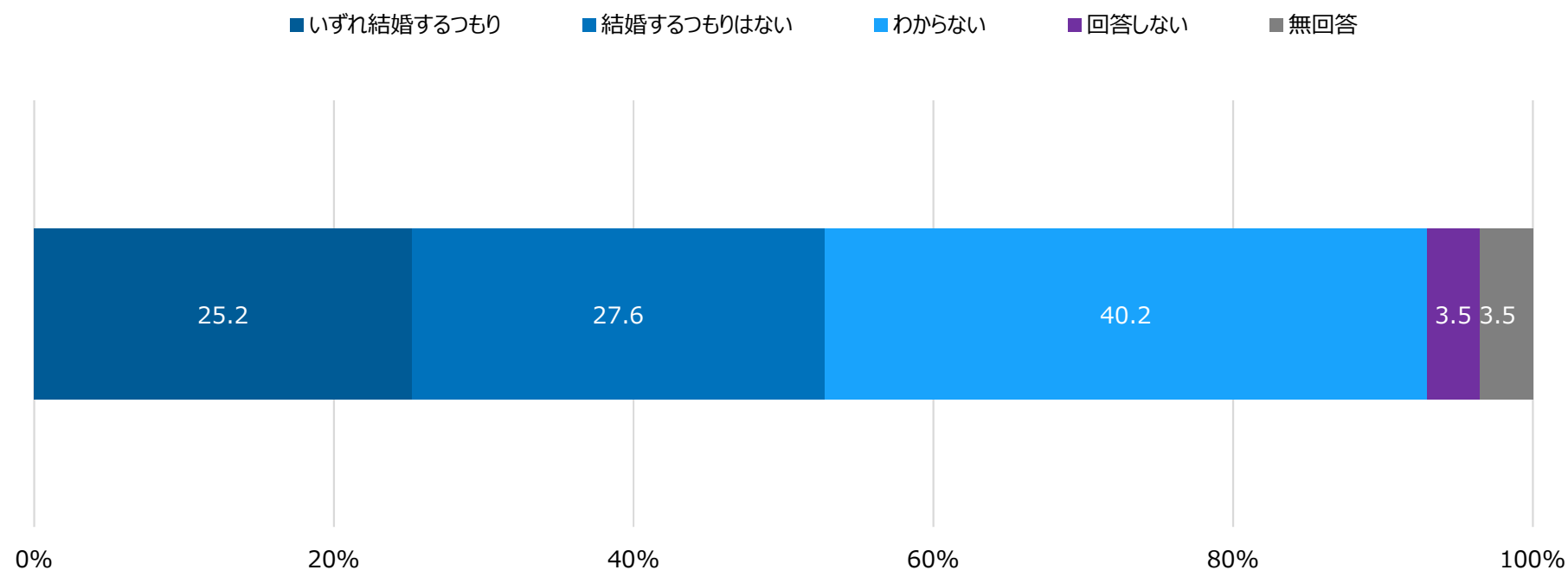
回答者の結婚に対する考え

- 結婚状況について「死別または離婚している」か「結婚したことがない」と回答した方に対し、結婚に対する考えを質問した。
- 「わからない（40.2%）」、「結婚するつもりがない（27.6%）」、「いずれ結婚するつもり（25.2%）」の順に多い結果となった。

■結婚に対する考え

Q9「現在の婚姻状況を教えてください」で2「死別または離婚している」か3「結婚したことがない」を選択された方にお伺いします。あなたの結婚に対する考えを教えてください。（択一選択）

n=2,004



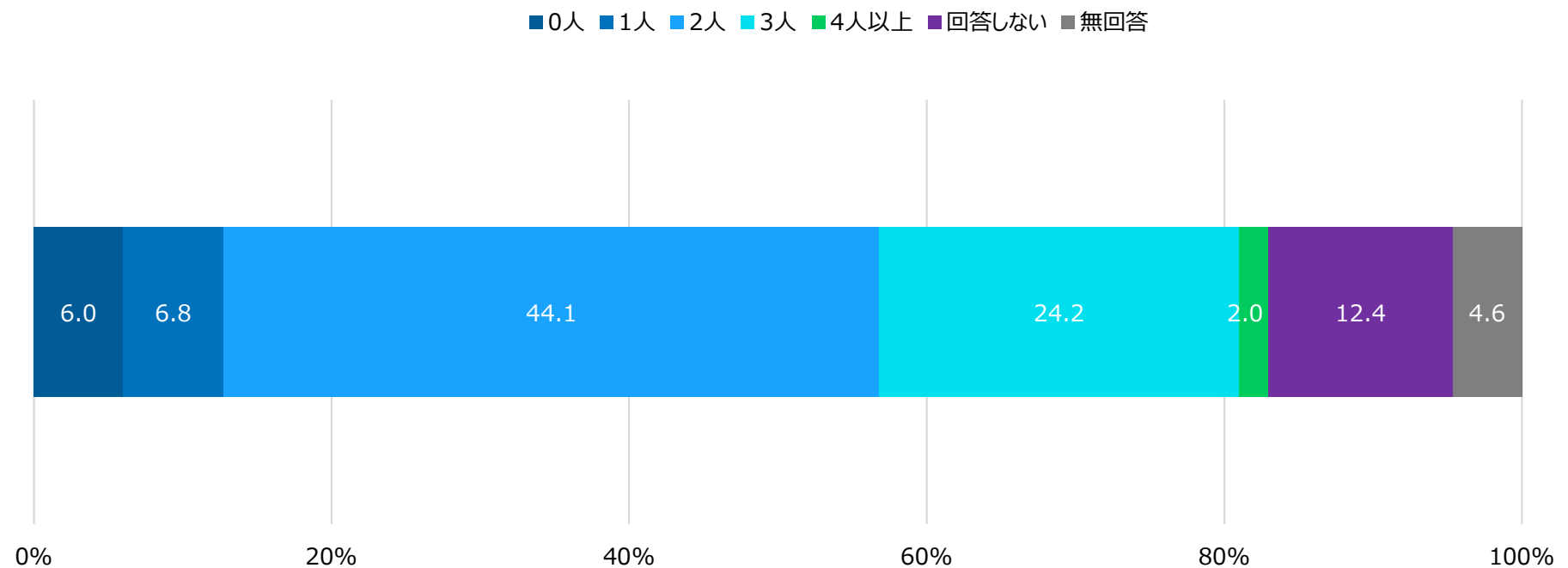
回答者の希望する（していた）子どもの人数

- 希望する（していた）子どもの人数について質問した。
- その結果、「2人」が44.1%と最も多く、次いで「3人（24.2%）」「1人（6.8%）」の順に多い結果となった。

■希望する（していた）子どもの人数

あなたが、希望する（していた）子どもの人数について教えてください。（択一選択）

n=2,004



2

幸福度関連

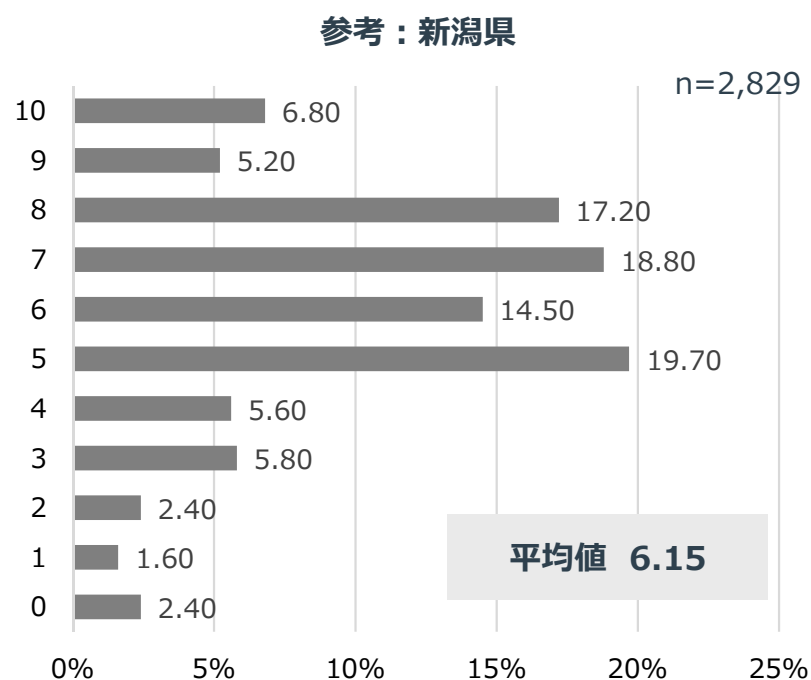
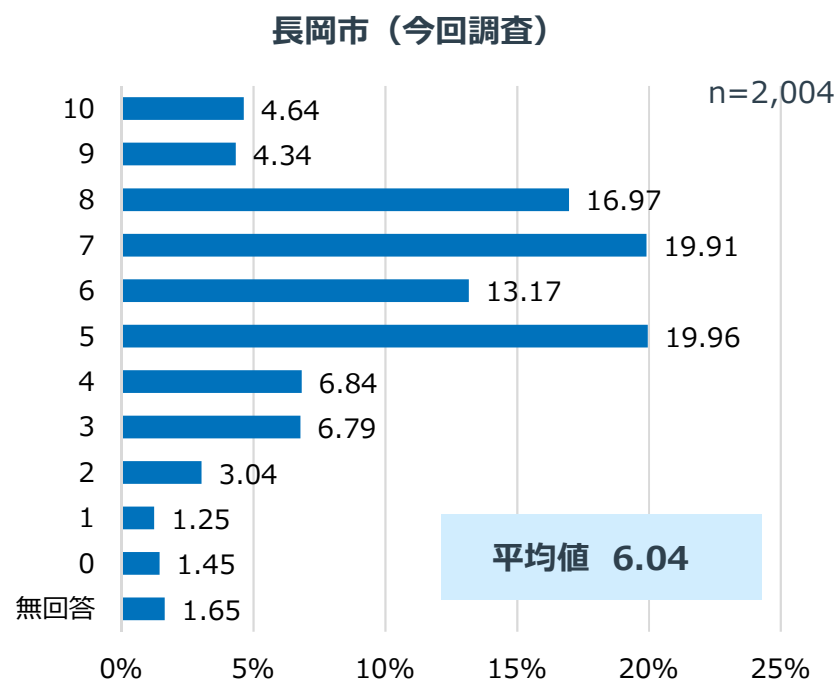
生活満足度

- ・ 現在住んでいる地域における暮らしへの満足度を「とても満足」10点～「とても不満足」0点の11段階※で確認した。
- ・ その結果、長岡市の生活満足度の平均値は6.04であった。なお、新潟県全体の平均値は6.15であり、比較すると0.11pt低かった。

※デジタル庁が開発した地域幸福度（Well-Being）指標における設問項目を採用している。

■ 生活満足度に関する長岡市と新潟県の比較

あなたは、現在住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とした場合の点数を1つだけお答えください。（択一選択）

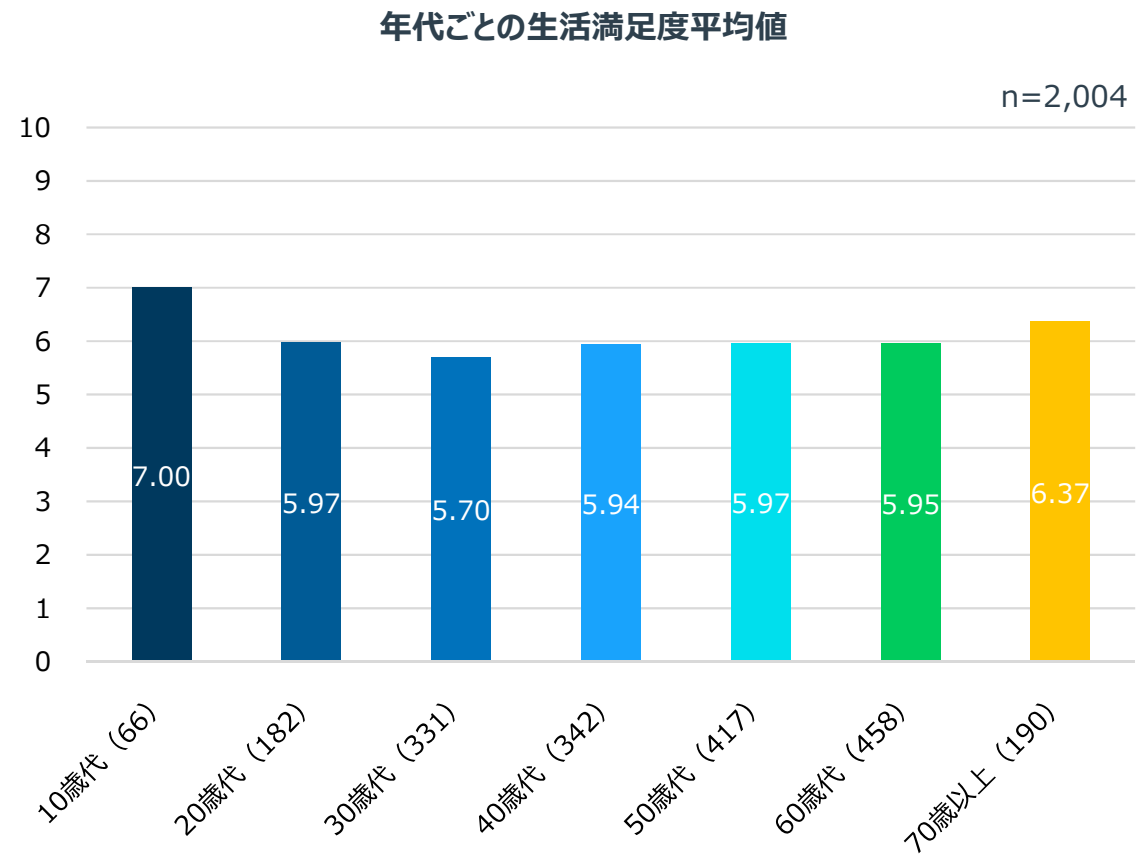
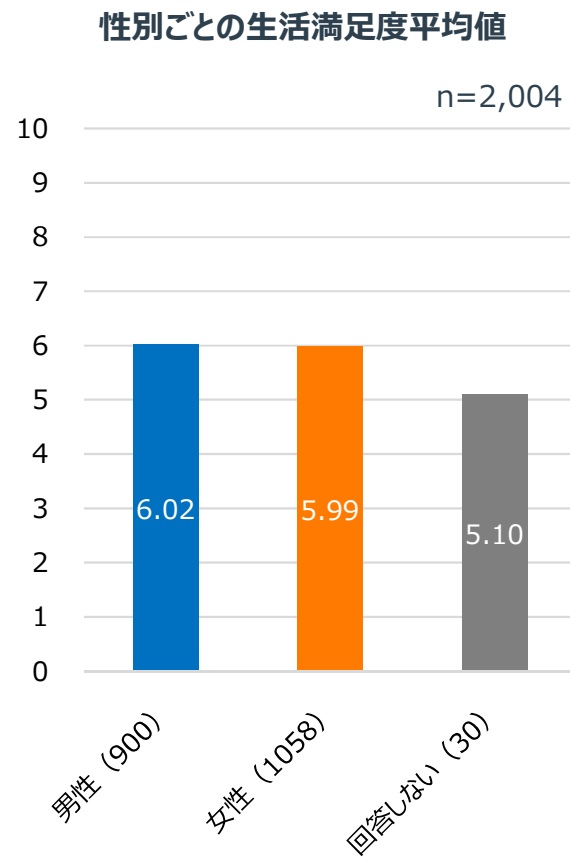


【出典】2024年度版（令和6年度版）Well-Being全国調査

生活満足度（性・年代別）

- 性別ごとの生活満足度について、男性平均6.02、女性平均5.99とほぼ同水準であった。
- 10歳代の生活満足度（7.00）は他の年代と比較し最も高く、次点で70歳代以上の生活満足度（6.37）が高いことが分かった。一方で、30歳代（5.70）は最も低くなっていることが分かった。

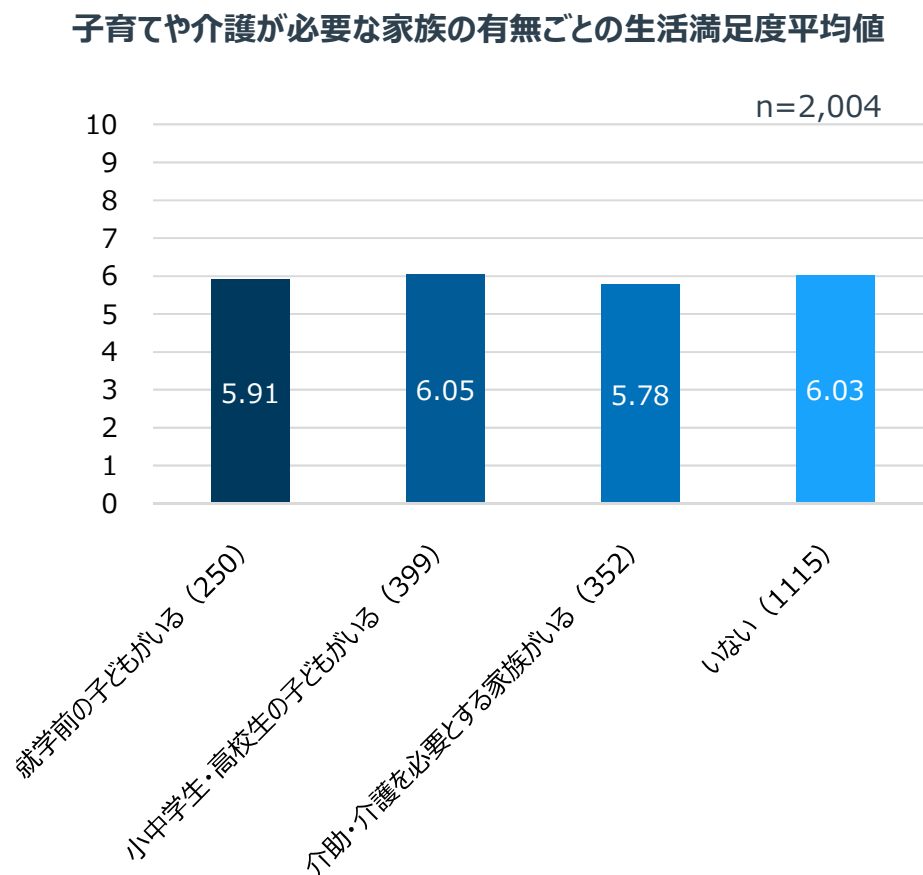
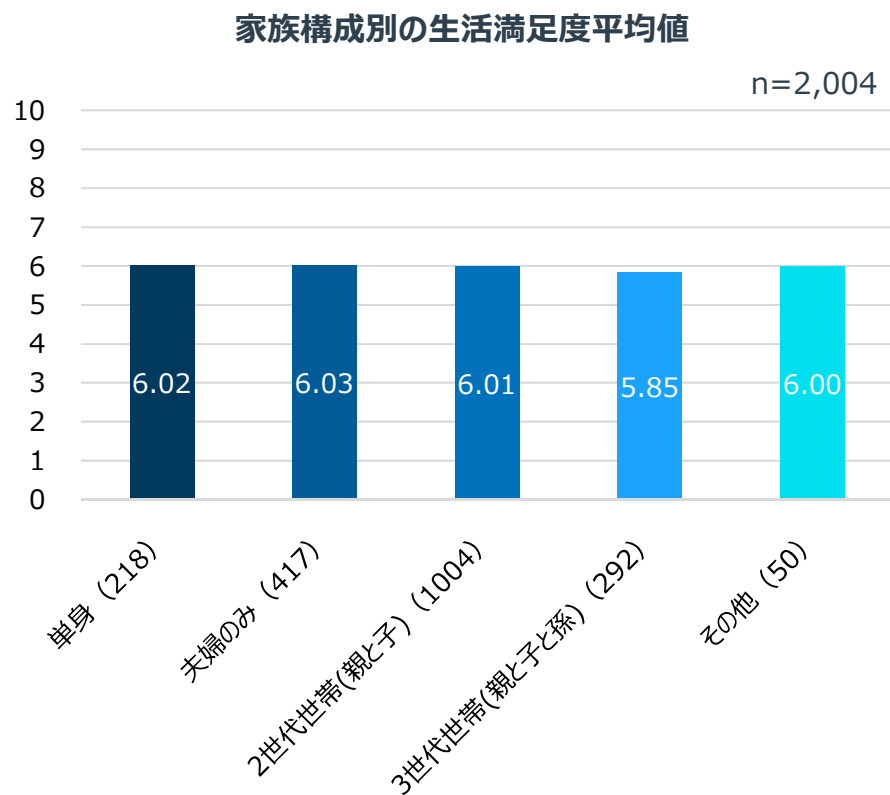
■ 性別、年代ごとの生活満足度平均値



生活満足度（家族構成別、子育てや介護が必要な家族の有無別）

- ・ 家族構成別の生活満足度は概ね6.0前後で大差はないものの、三世帯同居（5.85）がやや低めであることが分かった。
- ・ 子育てや介護が必要な家族の有無別では、介護が必要な家族がいる場合（5.78）が最も低く、小中高生の子どもがいる家庭（6.05）は比較して高いことが分かった。

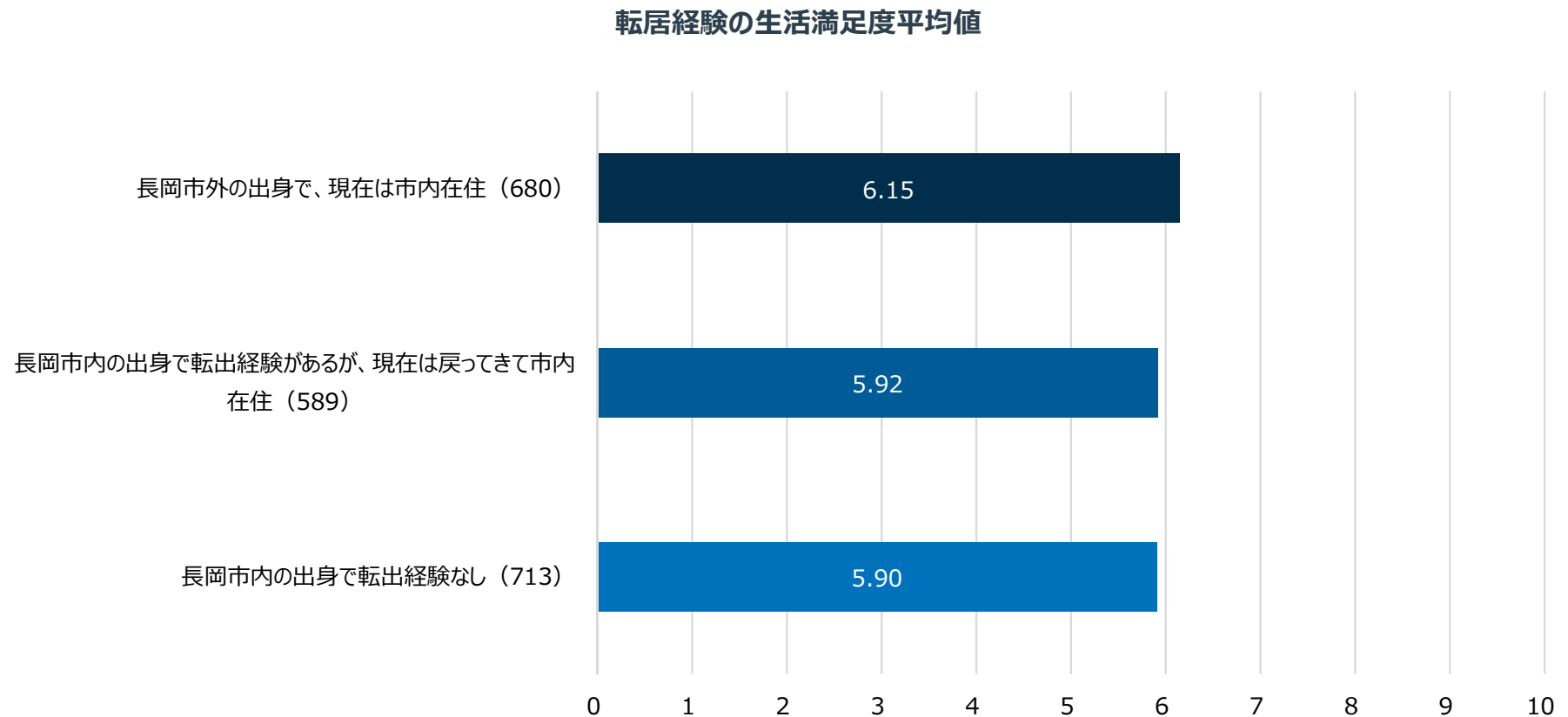
■ 家族構成、子育てや介護が必要な家族の有無ごとの生活満足度平均値



生活満足度（転居経験別）

- 市外出身で、現在市内在住の住民（6.15）が最も高い満足度を示していることが分かった。一方で、市内出身で転出経験がある住民（5.92）と転出経験がない住民（5.90）の数値に大きな差は見られなかった。

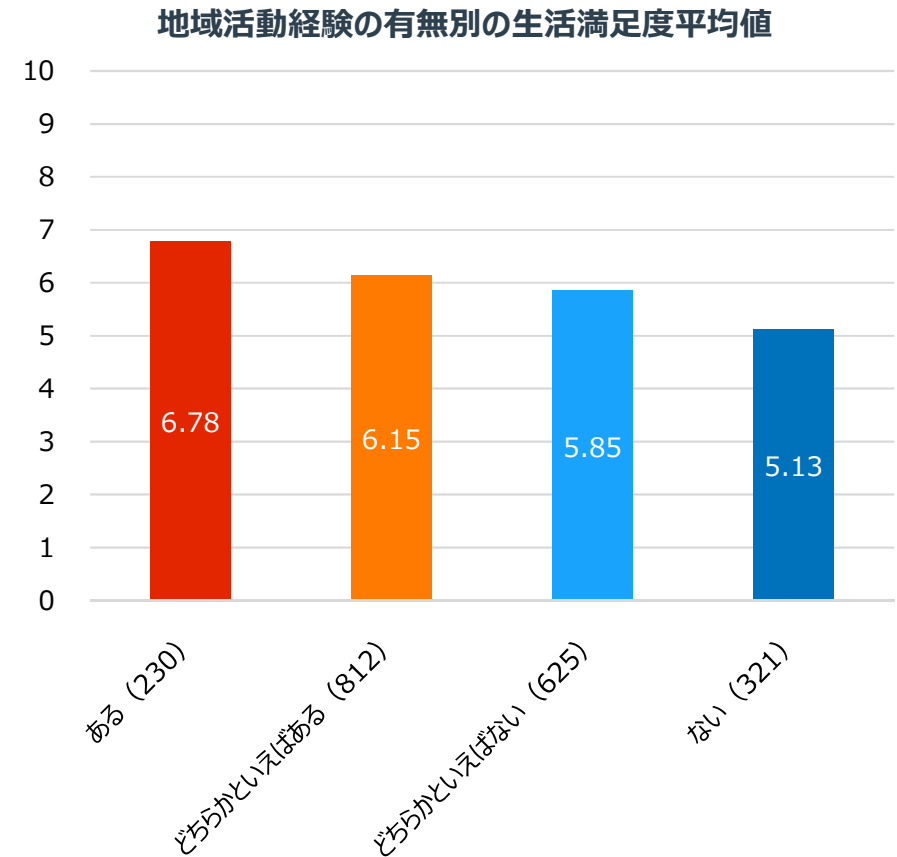
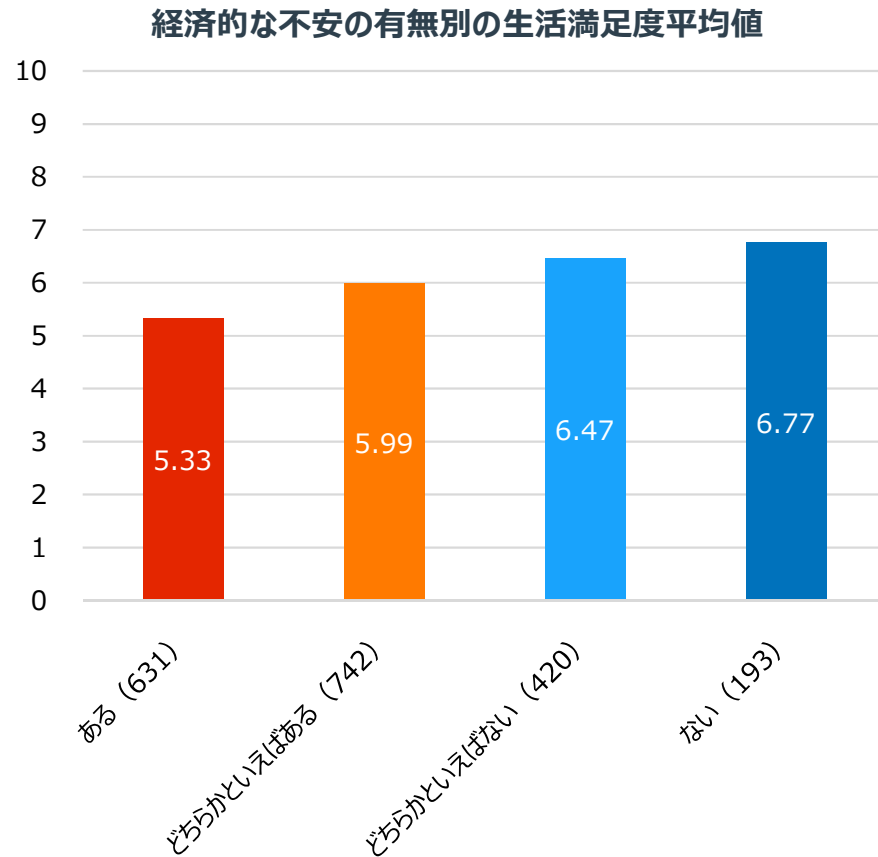
■ 転居経験別の生活満足度平均値



生活満足度（経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別）

- ・ 経済的な不安が「ない」層（6.77）から「ある」層（5.33）では1.44ptの差があり、経済的な不安の有無と生活満足度との間に関係があることがうかがえる。
- ・ また、地域活動経験が「ある」層（6.78）と「ない」層（5.13）においても1.65ptの差があり、地域活動への参画有無と生活満足度との間に関係があることがうかがえる。

■ 経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別の生活満足度平均値



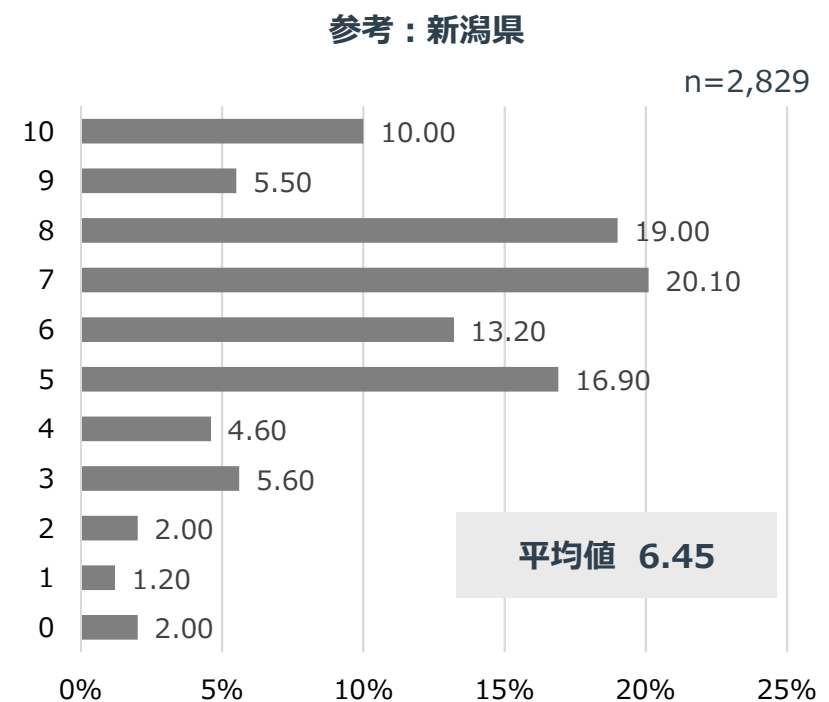
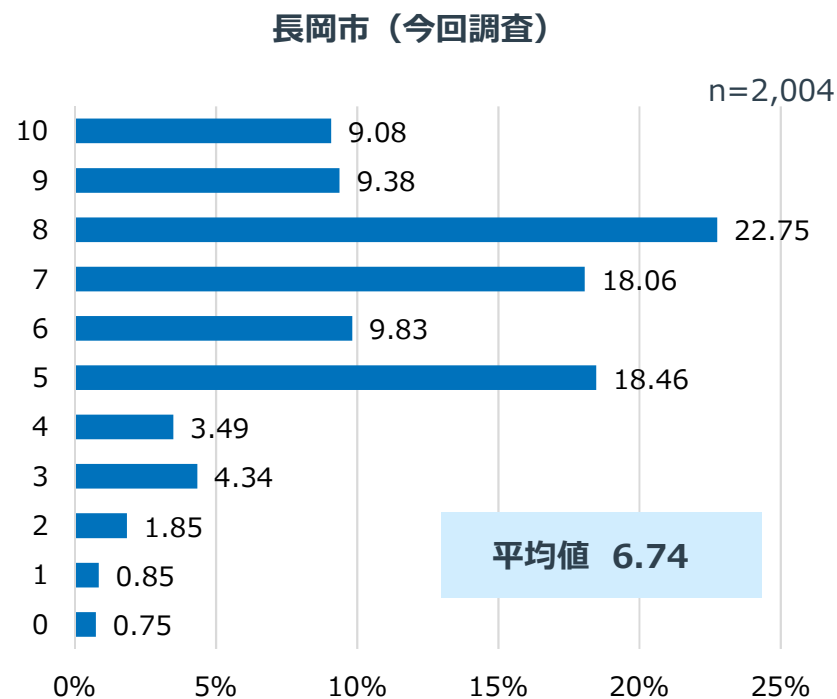
幸福度

- 現在の幸福度を「とても幸せ」10点～「とても不幸」0点の11段階※で確認した。
- その結果、長岡市の幸福度の平均値は6.74であった。なお、新潟県全体の平均値は6.45であり、比較すると0.29pt高かった。

※デジタル庁が開発した地域幸福度（Well-Being）指標における設問項目を採用している。

■ 幸福度に関する長岡市と新潟県の比較

あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合の点数を1つだけお答えください。（択一選択）

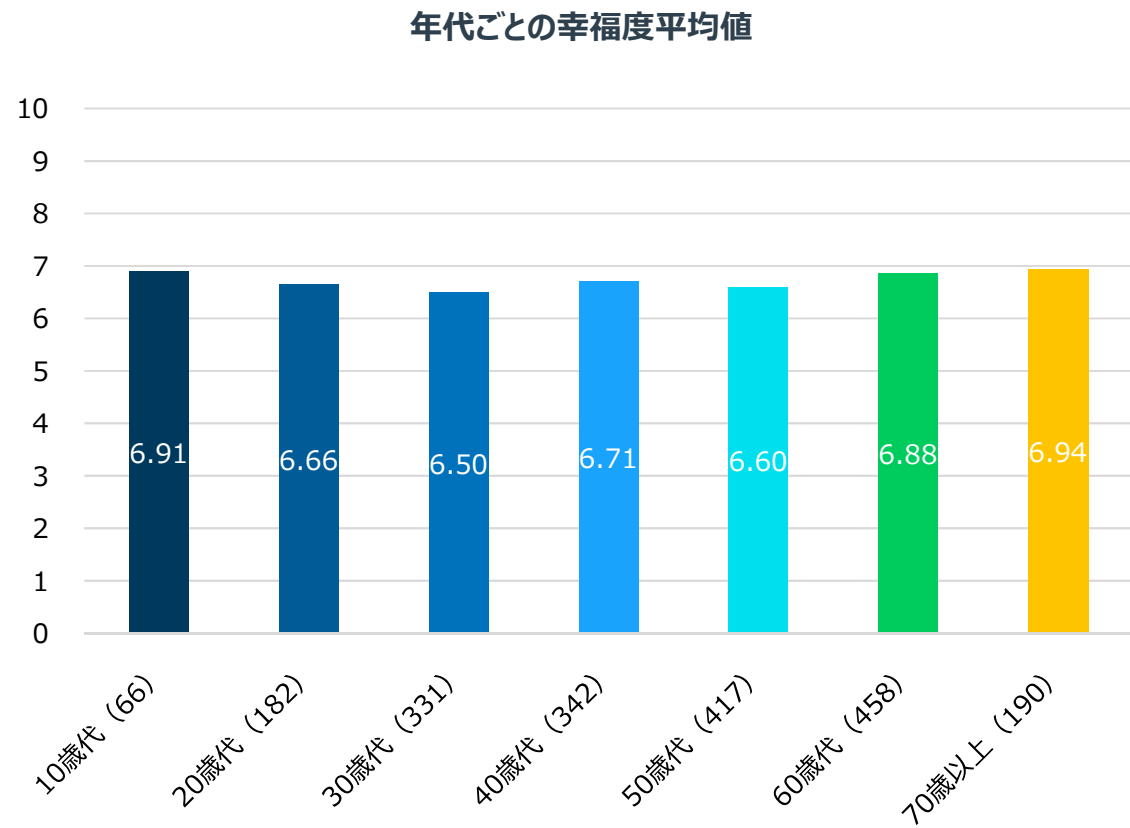
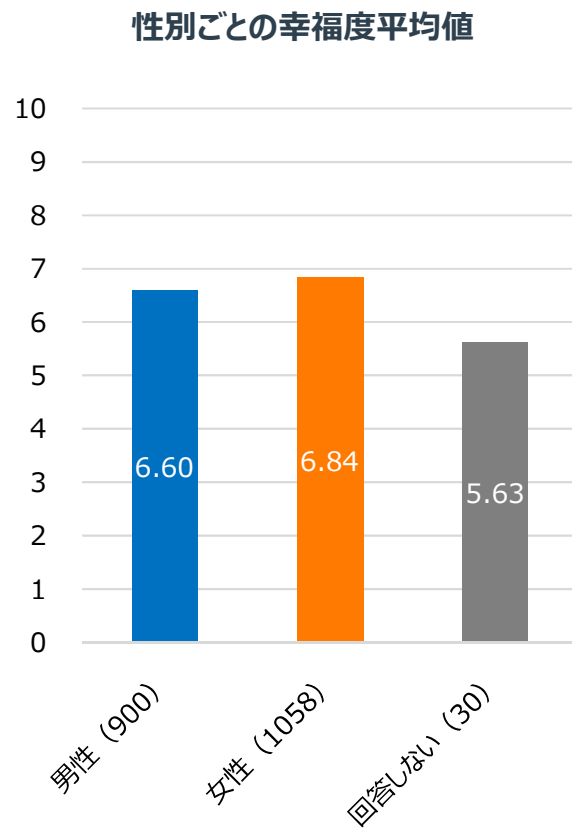


【出典】2024年度版（令和6年度版）Well-Being全国調査

幸福度（性・年代別）

- 性別ごとの幸福度において、女性（6.84）が男性（6.60）をわずかに上回っている。
年齢別では10代（6.91）と70代以上（6.94）がやや高く、30代（6.50）がやや低くなっていることが分かった。

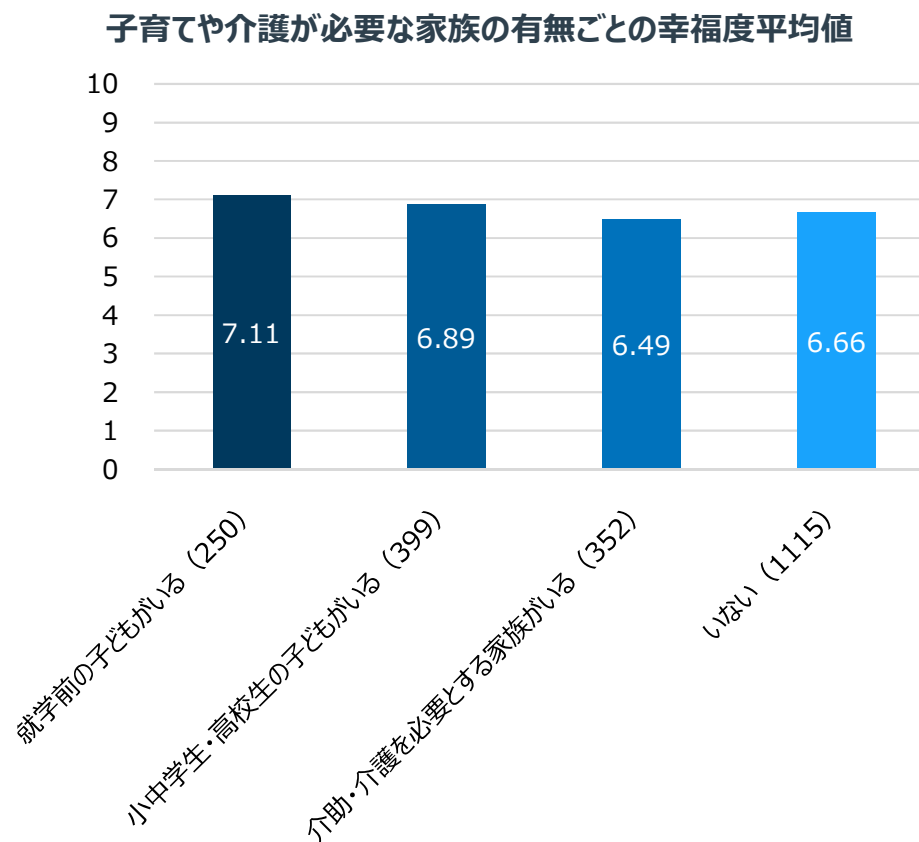
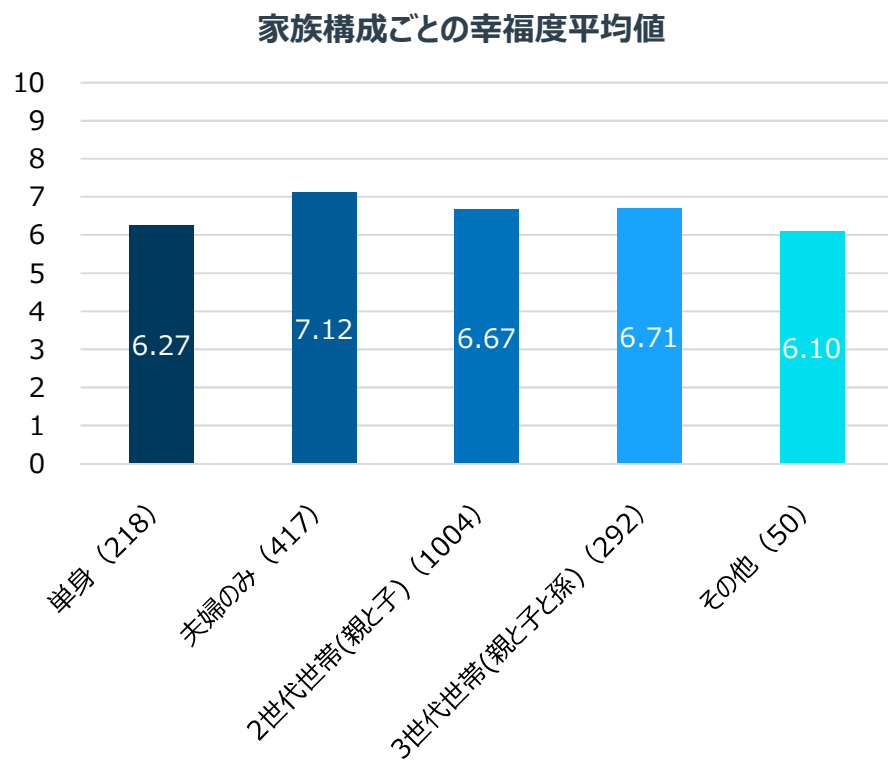
■ 性別、年代ごとの幸福度平均値



幸福度（家族構成別、子育てや介護が必要な家族の有無別）

- 家族構成別においては、「夫婦のみ」（7.12）が最も高く、次いで「三世代家族」（6.71）や「二世代家族」（6.67）が続いている。
- 子育てや介護が必要な家族の有無別においては、就学前の子どもがいる世帯（7.11）が最も高く、介護を必要とする家族がいる世帯（6.49）が最も低くなっている。

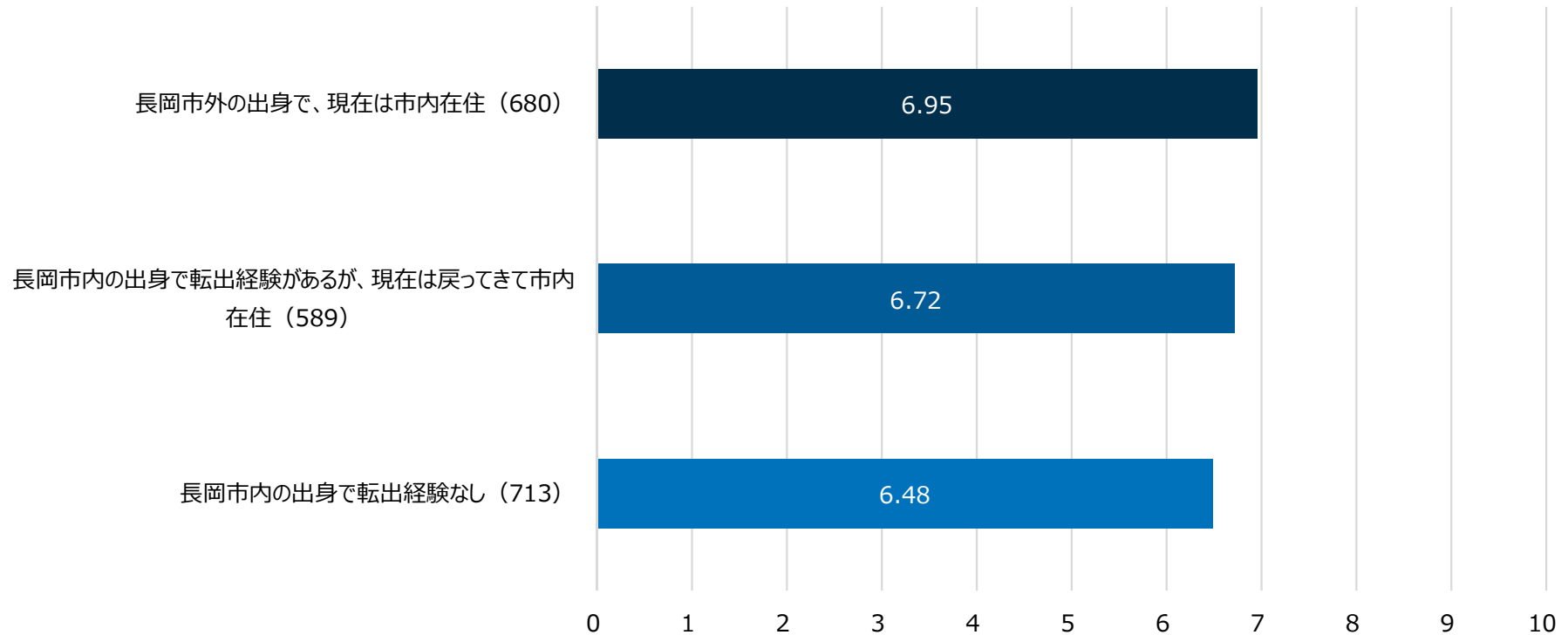
■ 家族構成、子育てや介護が必要な家族の有無ごとの幸福度平均値



幸福度（転居経験別）

- 長岡市外出身で市内に在住している層（6.95）が最も高い一方で、長岡市内出身で転出経験がない層（6.48）が最も低いことが分かった。

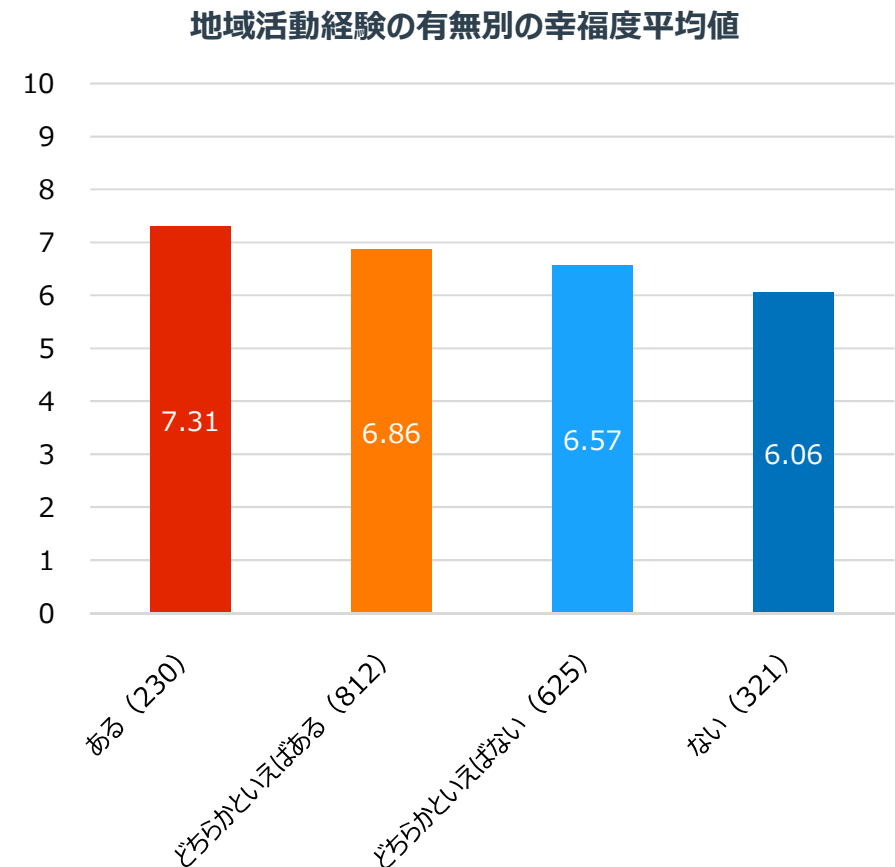
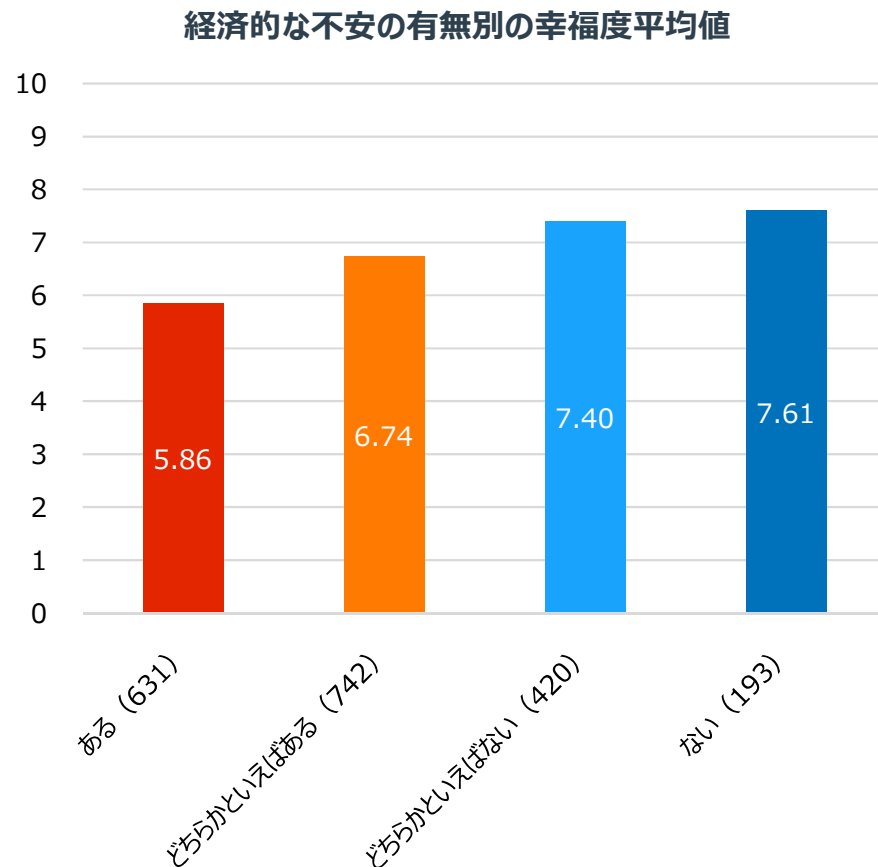
■ 転居経験別の幸福度平均値



幸福度（経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別）

- ・ 経済的な不安が「ない」層（7.61）と「ある」層（5.86）では1.75ptの差があり、経済的な不安の有無と幸福度との間に関係があることがうかがえる。
- ・ また、地域活動経験が「ある」層（7.31）と「ない」層（6.06）においても1.25ptの差があり、地域への参画有無と幸福度との間に関係があることがうかがえる。

■ 経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別の幸福度平均値



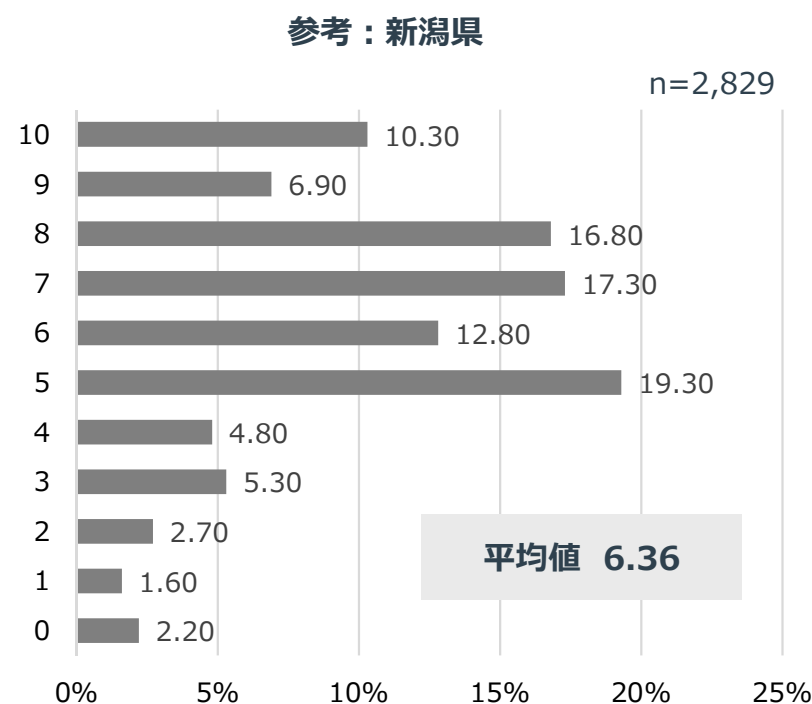
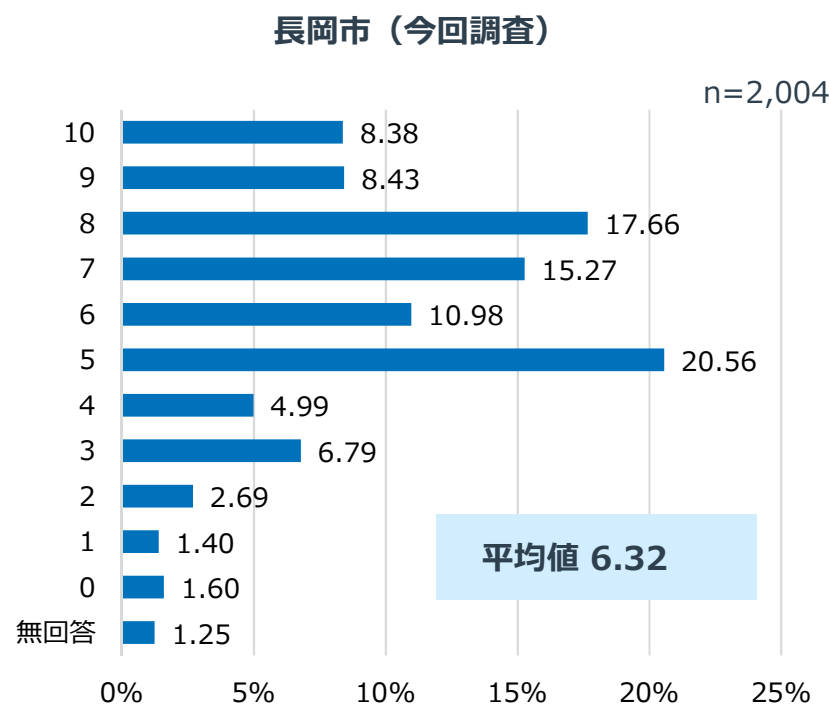
5年後の幸福度

- ・ 今から5年後の幸福度を「とても幸せ」10点～「とても不幸」0点の11段階※で確認した。
- ・ その結果、長岡市の5年後の幸福度の平均値は6.32であった。なお、新潟県全体の平均値は6.36であり、比較すると0.04pt低かった。

※デジタル庁が開発した地域幸福度（Well-Being）指標における設問項目を採用している。

■ 5年後の幸福度に関する長岡市と新潟県の比較

今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合の点数を1つだけお答えください。



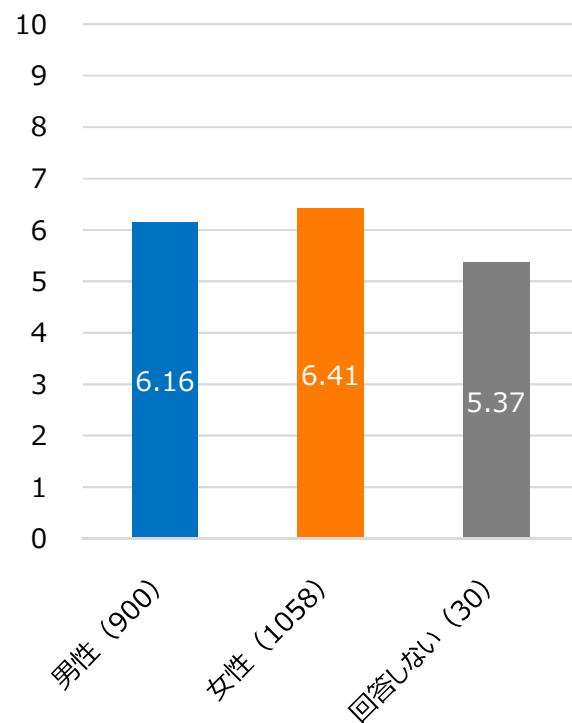
【出典】2024年度版（令和6年度版）Well-Being全国調査

5年後の幸福度（性・年代別）

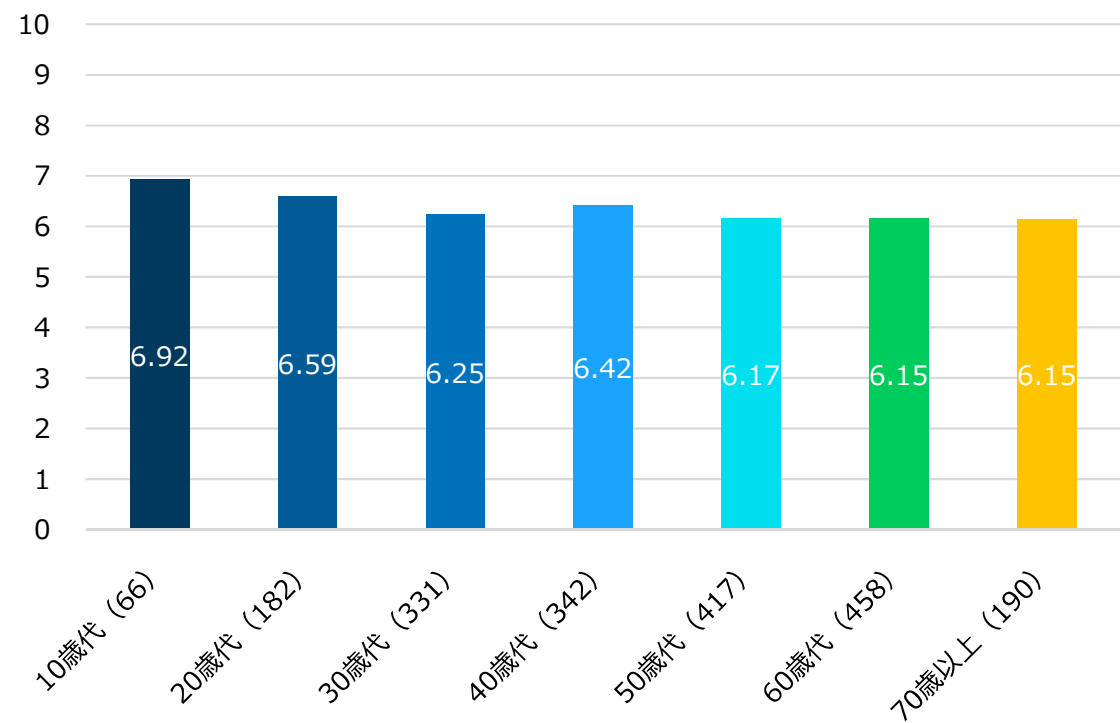
- 性別ごとの5年後の幸福度について、女性（6.41）が男性（6.16）よりやや高くなっている。
- 10歳代の5年後の幸福度（6.92）は他の年代と比較し最も高く、次点で20歳代（6.59）が高いことが分かった。一方で、60歳代以上（6.15）は最も低くなっていることが分かった。

■ 性別、年代ごとの5年後の幸福度平均値

性別ごとの5年後の幸福度平均値



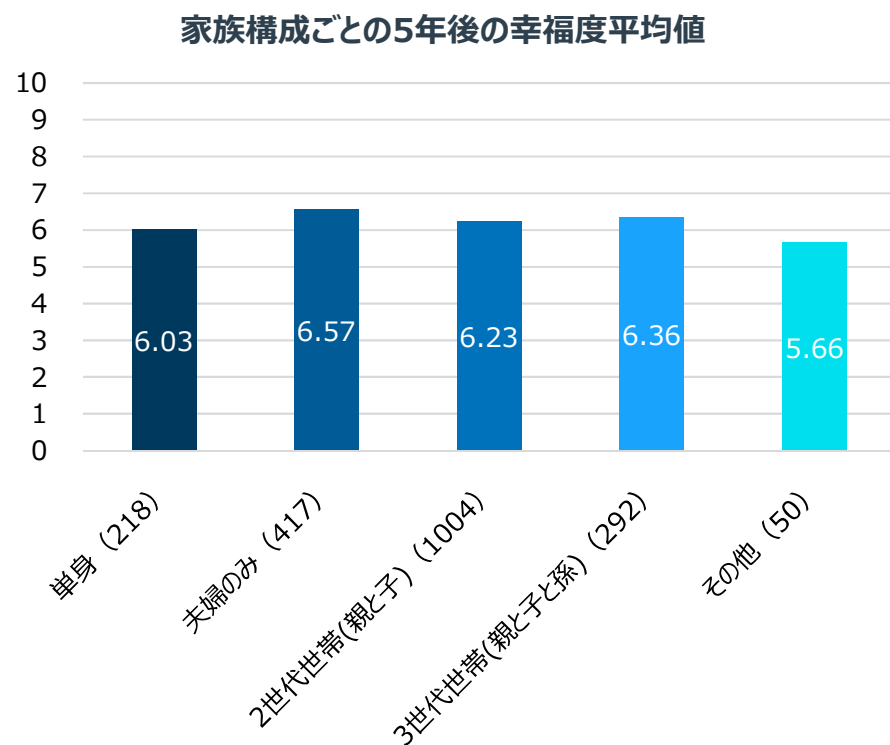
年代ごとの5年後の幸福度平均値



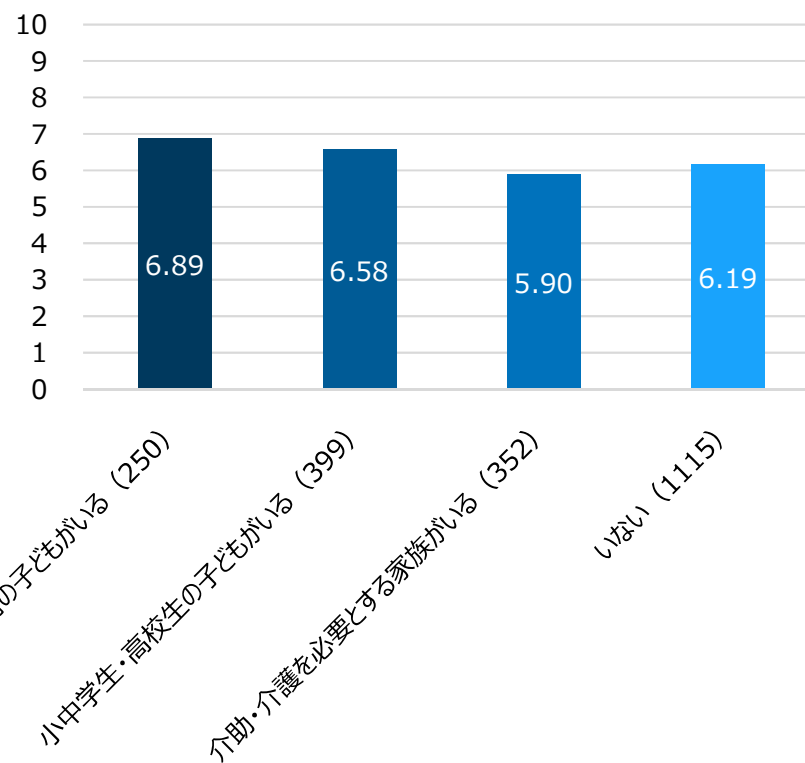
5年後の幸福度（家族構成別、子育てや介護が必要な家族の有無別）

- ・ 家族構成別では「夫婦のみ」（6.57）が最も高く、「その他」を除くと「単身」（6.03）が最も低くなっている。
- ・ 子育てや介護が必要な家族の有無別においては、就学前の子どもがいる世帯（6.89）が最も高く、介護を必要とする家族がいる世帯（5.90）が最も低くなっている。

■ 家族構成、子育てや介護が必要な家族の有無ごとの5年後の幸福度平均値



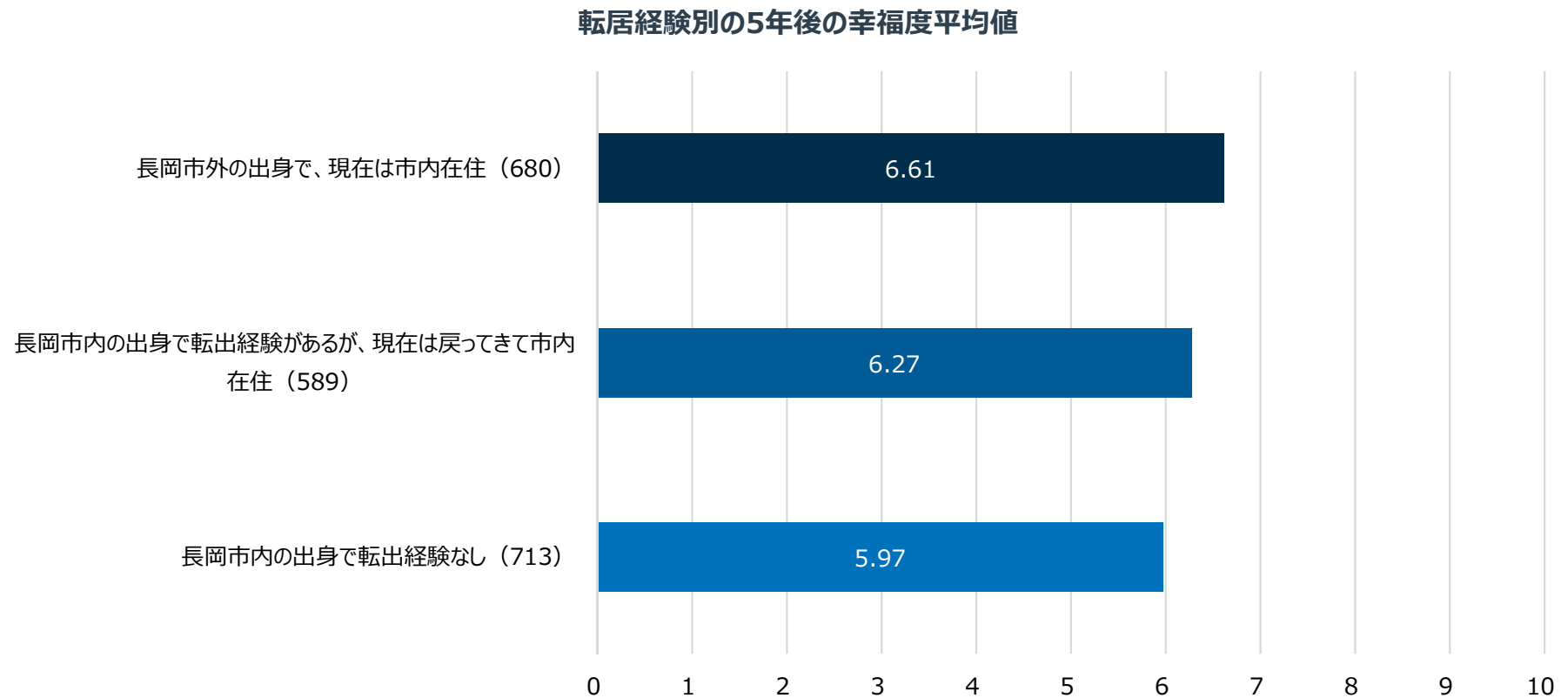
子育てや介護が必要な家族の有無ごとの5年後の幸福度平均値



5年後の幸福度（転居経験別）

- 長岡市外出身で市内に在住している層（6.61）が最も高い一方で、長岡市内出身で転出経験がない層（5.97）は最も低いことが分かった。

■ 転居経験別の5年後の幸福度平均値

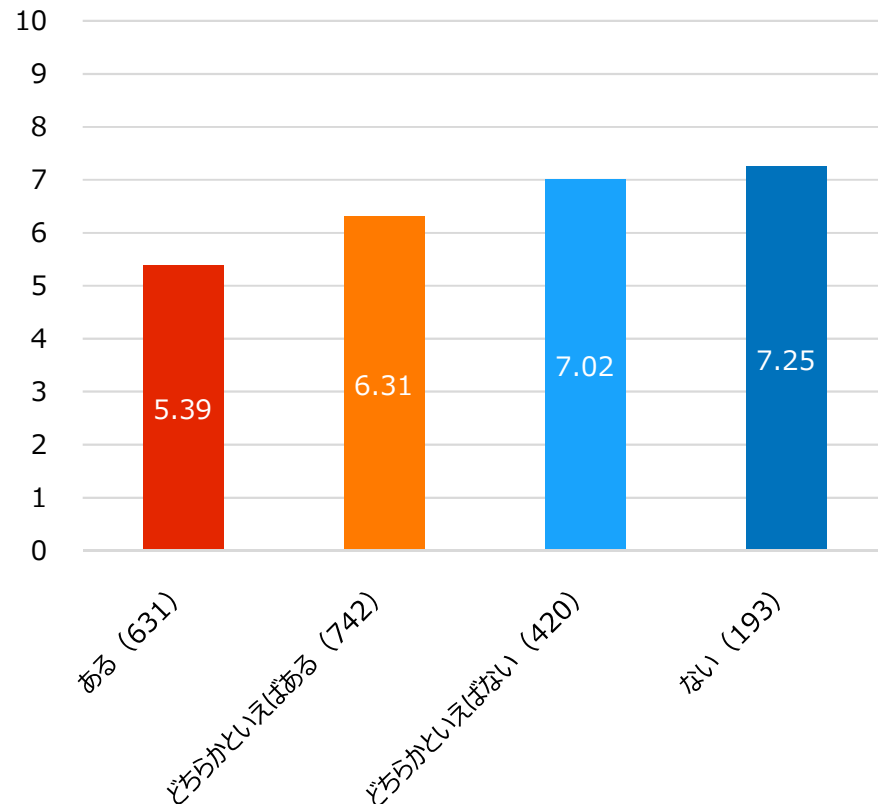


5年後の幸福度（経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別）

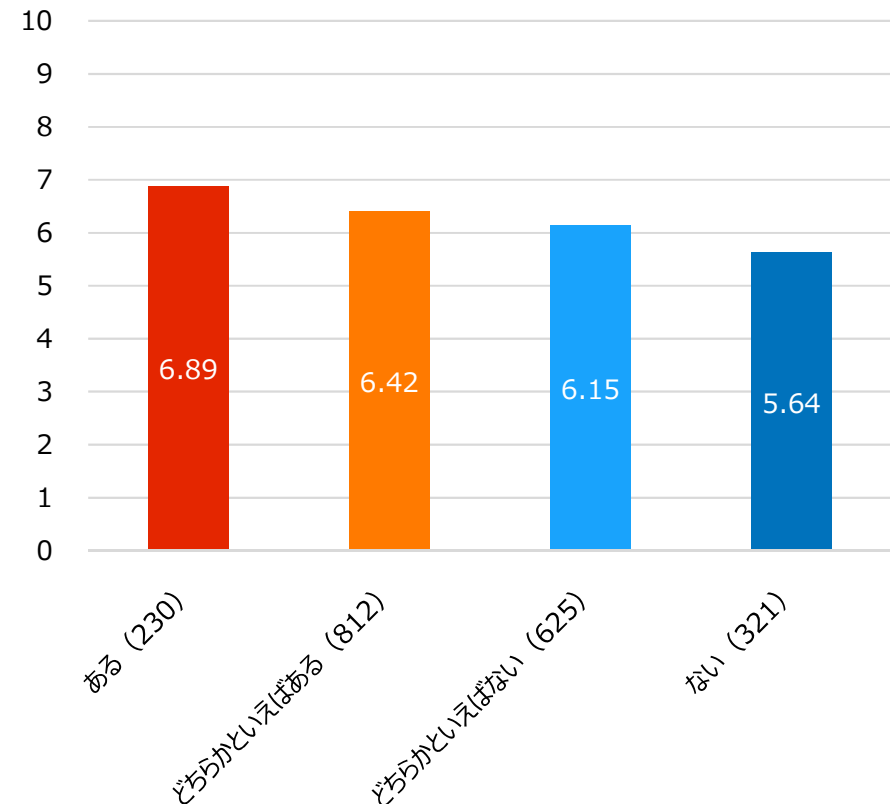
- ・ 経済的な不安が「ない」層（7.25）と「ある」層（5.39）では1.86ptの差があり、経済的な不安の有無と将来の幸福度との間に関係があることがうかがえる。
- ・ 地域活動経験が「ある」層（6.89）と「ない」層（5.64）においても1.25ptの差があり、地域への参画有無と将来の幸福度との間に関係があることがうかがえる。

■ 経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別の5年後の幸福度平均値

経済的な不安の有無別の5年後の幸福度平均値



地域活動経験の有無別の5年後の幸福度平均値



5年後の幸福度が下がると回答した理由

- ・現在の幸福度よりも5年後の幸福度の点数が低い方に対し、その理由を確認した。
- ・その結果、いずれの年代にも共通して物価上昇に伴う経済的不安に関する言及が多く見られた。年代別では、10歳代では就職後の生活に関する不安、20～40歳代では子育てに関する精神的・経済的負担、30～50歳代では親の介護、60歳代以降では健康や生活費に関する不安などが多くあげられていた。

■ 5年後の幸福度が下がると回答した理由（年代別、代表的な回答の抜粋）

Q14「5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか」でQ13「現在どの程度幸せですか」よりも点数が下がった方にお伺いします。幸福度が下がると回答した理由をお聞かせください。（自由記述）

10歳代（13）	・ 社会人で不安なことが今からあるから。 ・ 充実した生活ができているかが分からず少し不安だから。親が今より健康でないかもしれないから。
20歳代（41）	・ 給料を上げずに物価など上がっているから。 ・ 3年以内の結婚を考えており、5年後であれば子供がいる可能性も。子育てのことや将来のお金のことで悩んでいそうだから。
30歳代（93）	・ 収入減、物価高が予想されること。子どもの進学でお金が必要になっている。 ・ 子どもや両親の介護に時間やお金がかかりかかようになって、自分のために使う時間やお金が今より減っていそうだから。かつ仕事での責任も増していて、窮屈で苦しそう生活しか予想できない。
40歳代（95）	・ 過疎化 地域の将来に大きな不安がある。 ・ 子供の進学や親の介護など。 ・ 給料が上がらず、税金が多くなりそう。
50歳代（152）	・ 物価上昇に伴う賃金上昇が見込めない。 ・ 人口減少により周りのお店が無くなり、生活づらい。 ・ 自分の健康面への不安と義母の健康と介護への不安。そして子どもの独立による寂しさ。
60歳代（204）	・ 高齢になり健康を保てるか不安。1人暮らしをし続ける不安。地域と繋がりが無い。 ・ 現在は年金生活で5年後の生活費が心配、また老後の健康が不安。
70歳代（81）	・ 1人暮らしですので、とても不安です。 ・ 健康でいられない点、年金のみの生活でたくわえもないので将来は悲惨な状態になることが予想される。 ・ 年金生活であり物価高の為、生活が益々苦しくなる可能性が大であると思う。

3

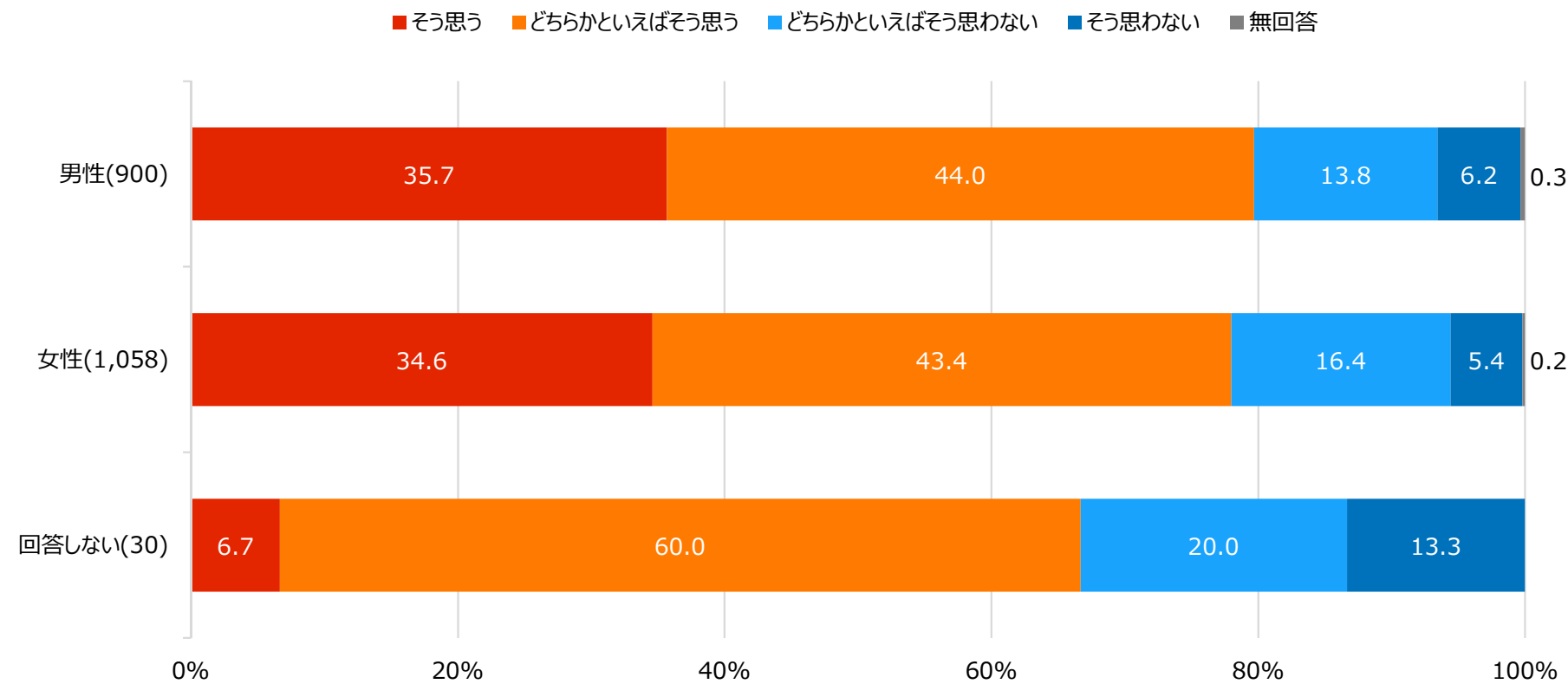
長岡市全体関連

長岡市での継続居住意向（性別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、性別ごとに結果を確認したところ、大きな差異は見られなかった。

■性別 長岡市での継続居住意向

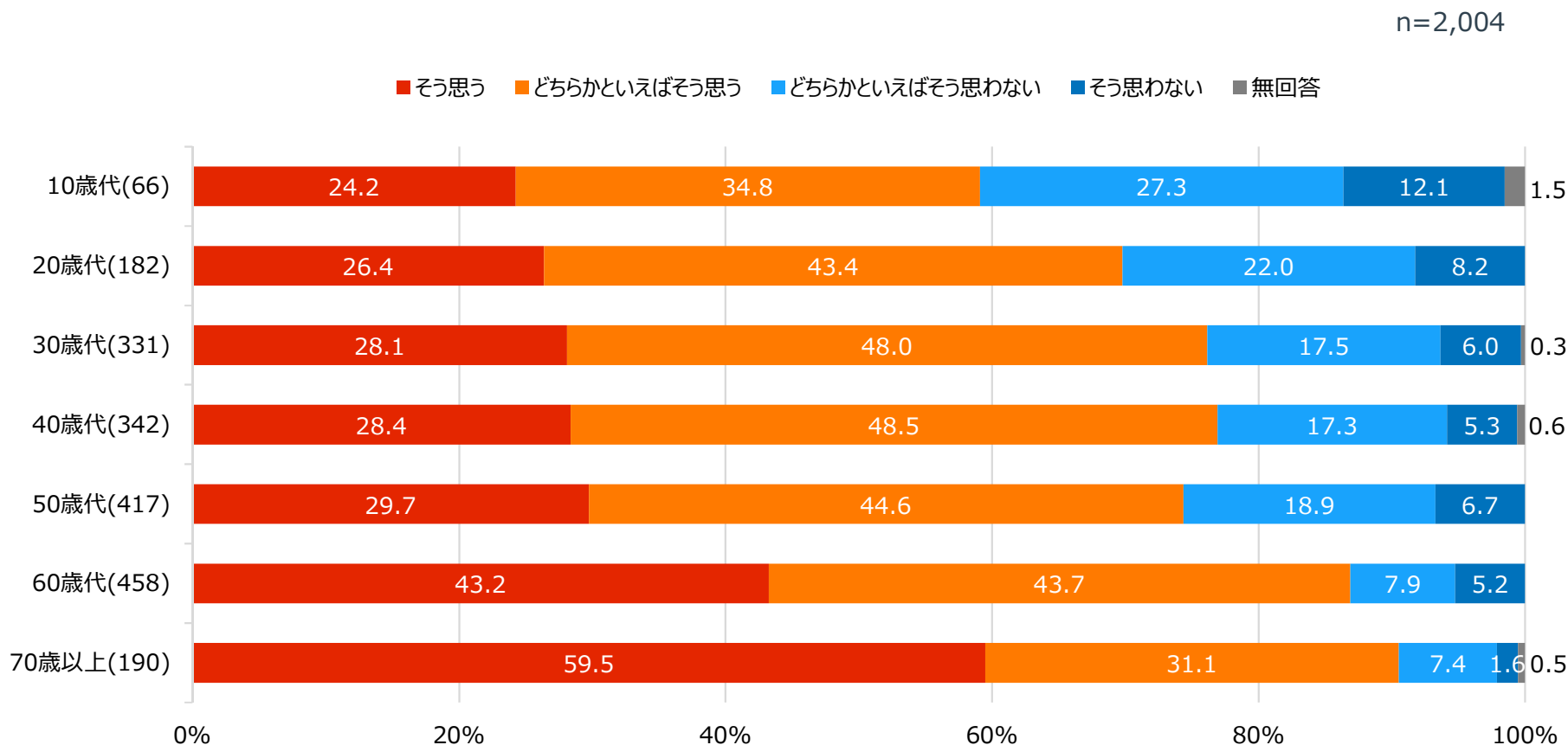
n=2,004



長岡市での継続居住意向（年代別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、年代別の結果を確認したところ、基本的には年代が上がるにつれて「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」が多くなる傾向が見られた。（50代のみやや低下）

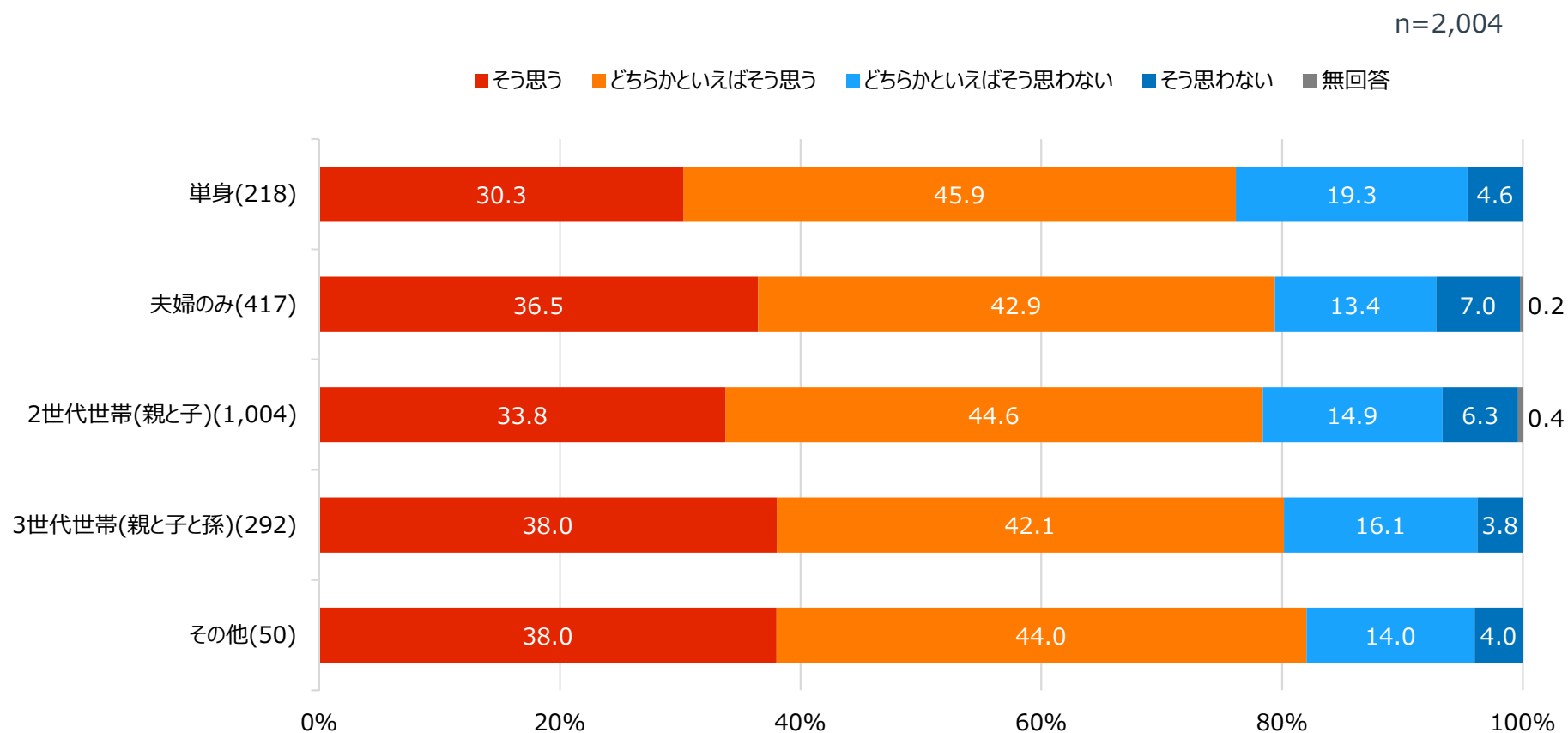
■ 年代別の長岡市での継続居住意向



長岡市での継続居住意向（家族構成別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、家族構成別の結果を確認したところ、大きな差異は見られなかった。

■ 家族構成別 長岡市での継続居住意向



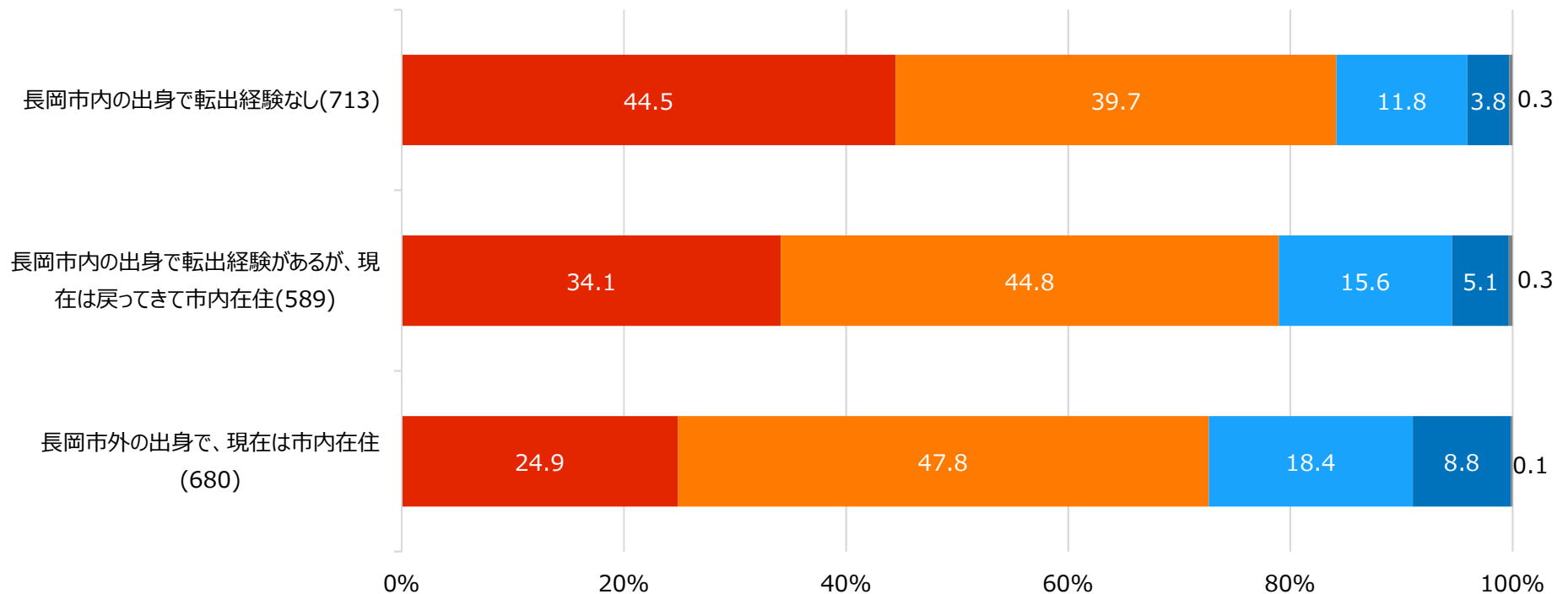
長岡市での継続居住意向（転居経験別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、転居経験別に確認した。
- その結果、長岡市内出身で転出経験がない層では継続居住意向が84.2%と高かった一方で、長岡市外出身者は72.7 %であり11.5ptの差が見られた。

■ 転居経験別 長岡市での継続居住意向

n=2,004

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

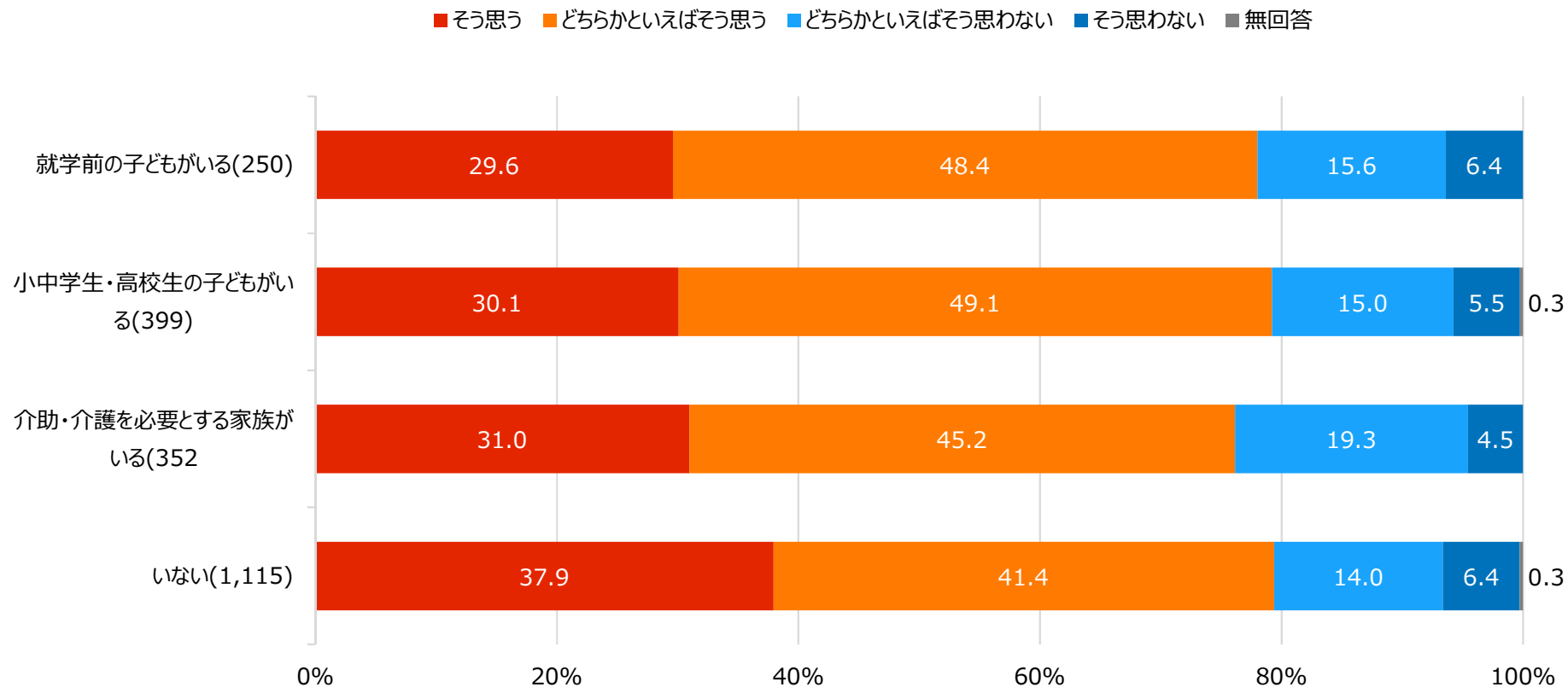


長岡市での継続居住意向（子育て・介護が必要な家族の有無別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、子育て・介護が必要な家族の有無別に確認したところ、大きな差異は見られなかった。

■ 子育て・介護が必要な家族の有無別 長岡市での継続居住意向

n=2,004

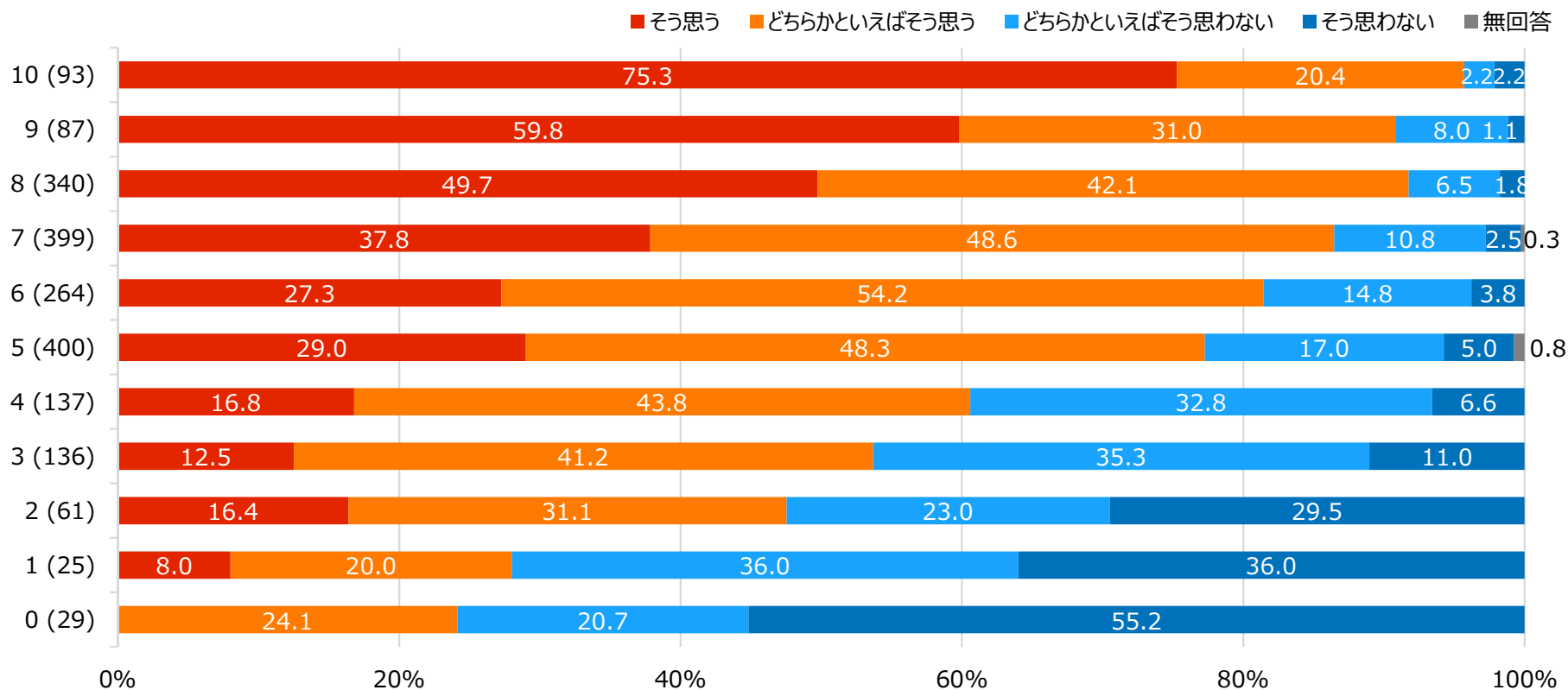


長岡市での継続居住意向（生活満足度別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、生活満足度の点数別に確認した。
- その結果、生活満足度の点数が高い人ほど継続居住意向の割合が高いことが分かった。

■ 生活満足度別 長岡市での継続居住意向

n=2,004

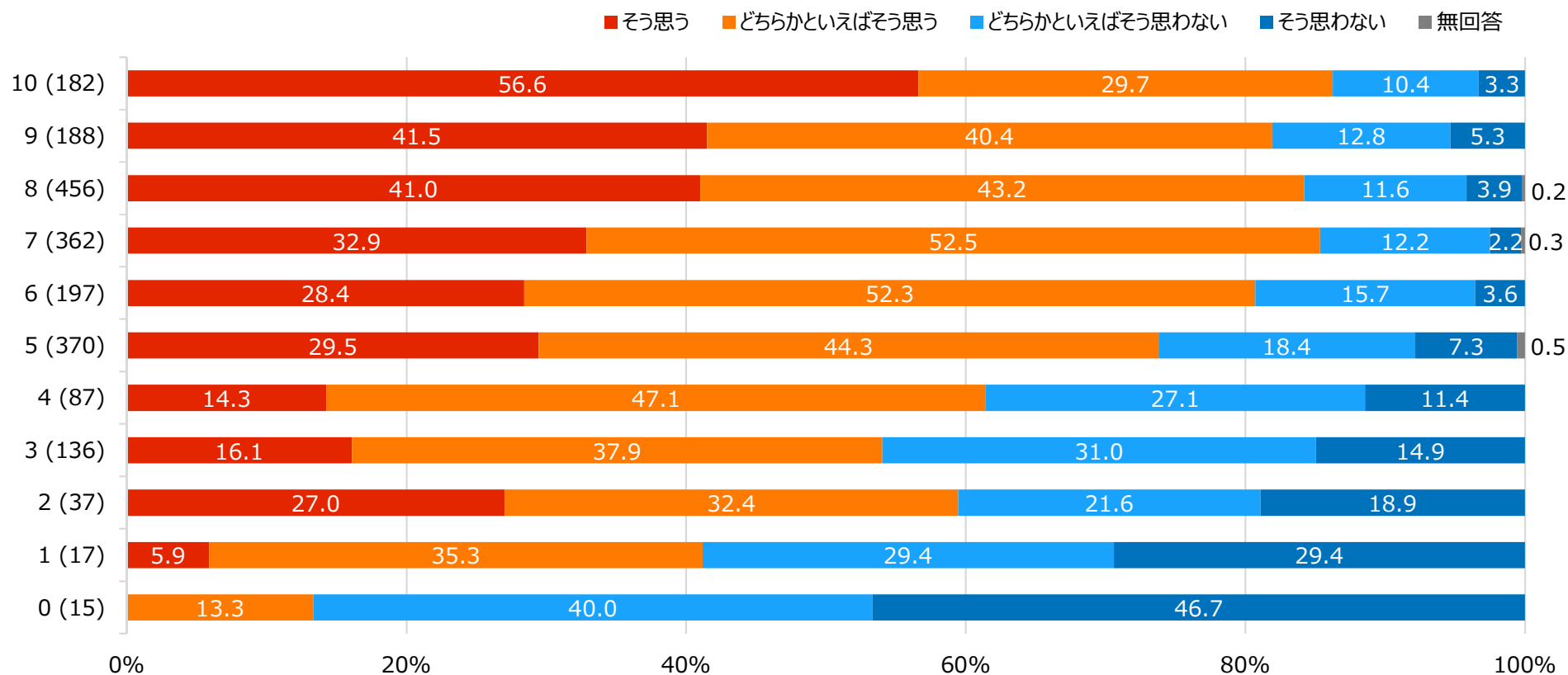


長岡市での継続居住意向（幸福度度別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、幸福度の点数別に確認した。
- その結果、概ね幸福度の点数が高い人ほど継続居住意向の割合が高いことが分かった。

■ 幸福度別 長岡市での継続居住意向

n=2,004

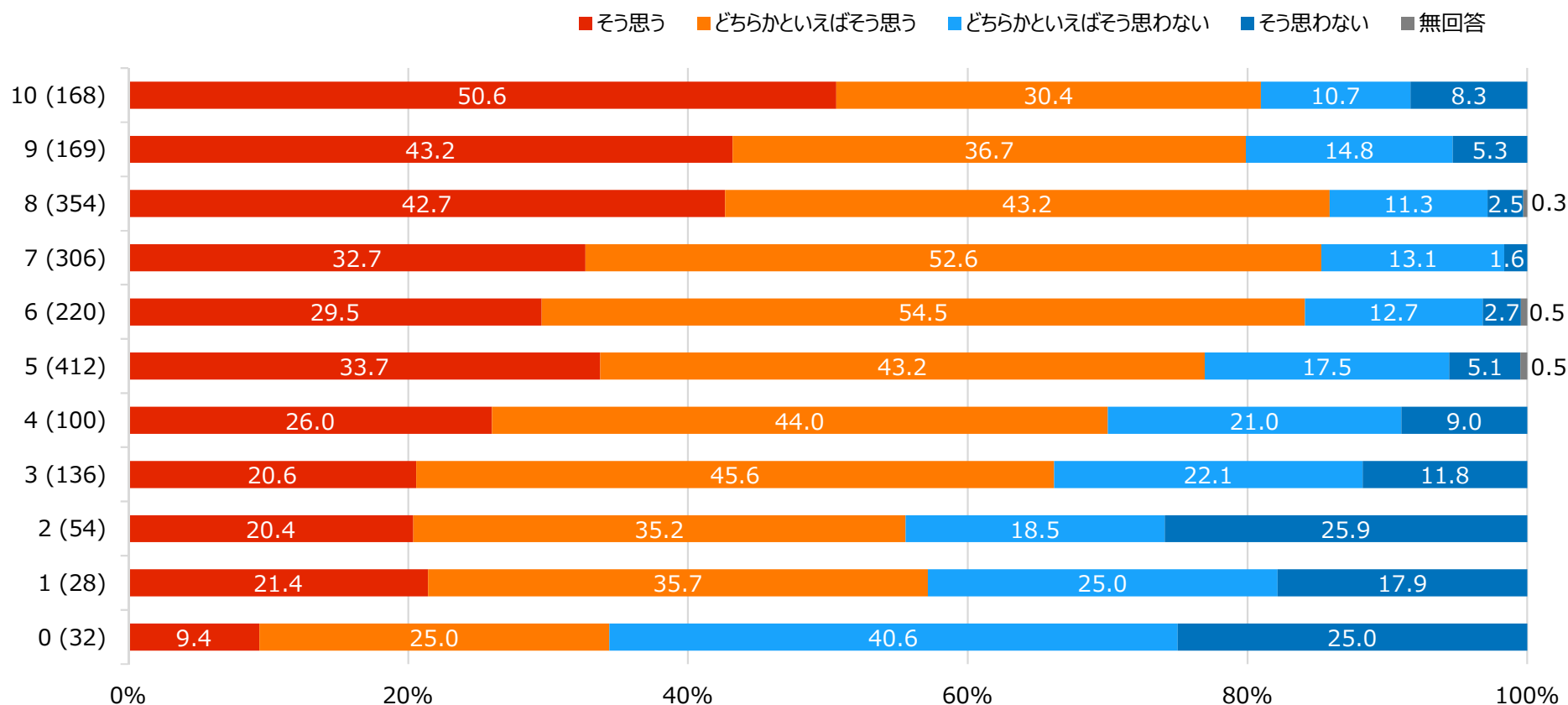


長岡市での継続居住意向（5年後幸福度別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、5年後幸福度の点数別に確認した。
- その結果、概ね5年後幸福度の点数が高い人ほど継続居住意向の割合が高いことが分かった。

■ 5年後幸福度別 長岡市での継続居住意向

n=2,004

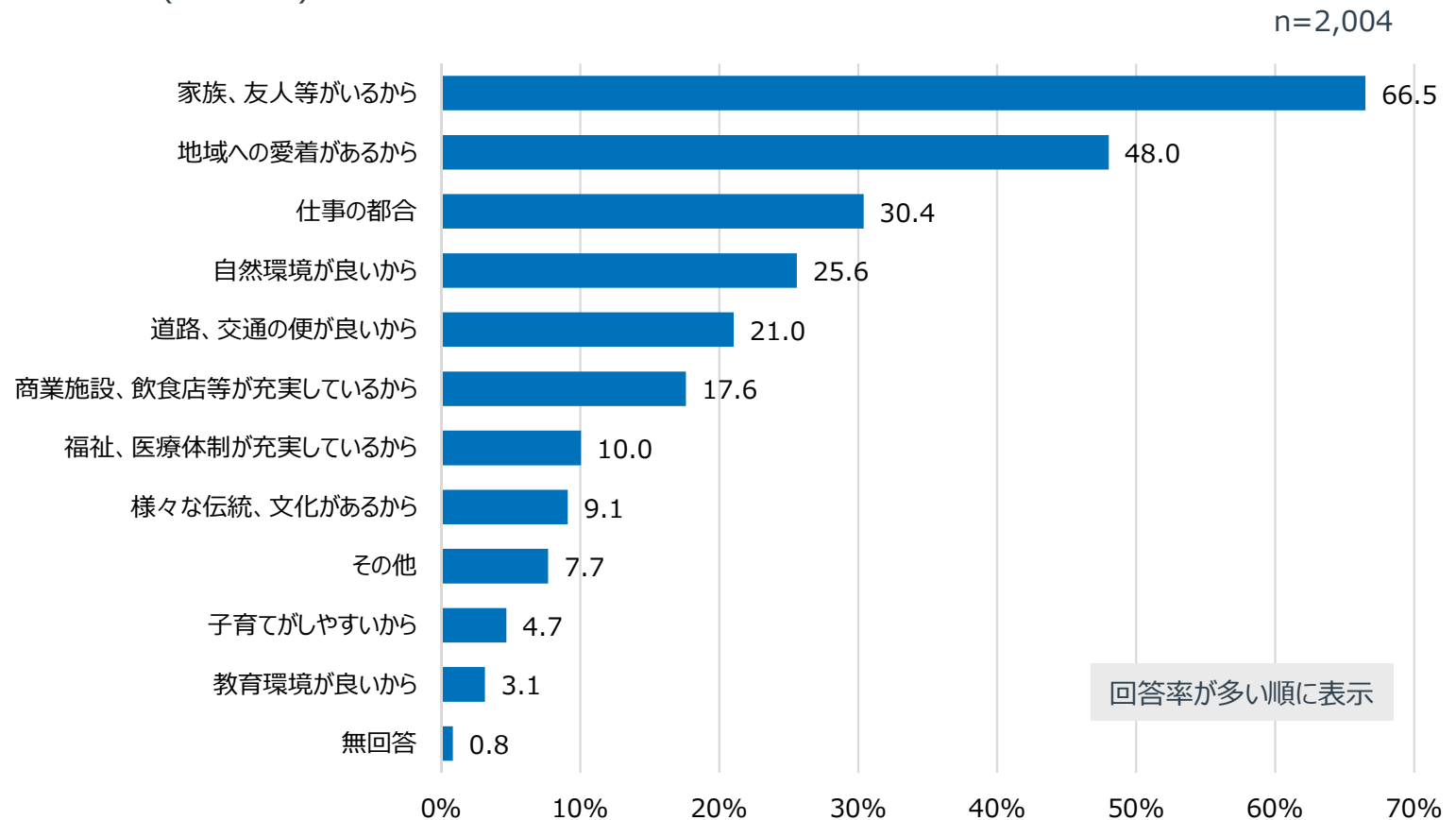


長岡市に住み続けたいと思う理由

- ・ 長岡市に住み続けたいかについて「そう思う」もしくは「どちらかというと思う」と回答した者に、理由を質問をした。
- ・ その結果、「家族、友人等がいるから（66.5%）」、「地域への愛着があるから（48.0%）」、「仕事の都合（30.4%）」、「自然環境が良いから（25.6%）」という理由が上位に上がった。

■ 長岡市に住み続けたいと思う理由

Q16「ずっと長岡市に住み続けたいと思いますか」で1「そう思う」か2「どちらかというと思う」を選択された方にお伺いします。長岡市に住み続けたいと思う理由は何ですか。（複数回答）

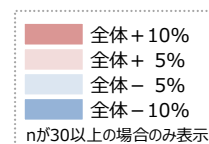


長岡市に住み続けたいと思う理由（性別）

- ・ 長岡市に住み続けたいと思う理由について性別ごとに確認した。
- ・ その結果、男性は女性に比べて「地域への愛着があるから」との回答がやや多く、「家族、友人等がいるから」との回答がやや少なかった。一方で、女性は男性に比べて「家族、友人等がいるから」との回答がやや多かった。

■ 性別ごとの長岡市に住み続けたいと思う理由

※各年代の回答数は表中に表記 / 値は%（複数選択のため、各年代の合計は100%を超える）



n=2,004

属性	回答数	地域への愛着があるから	家族、友人等がいるから	商業施設、飲食店等が充実しているから	子育てがしやすいから	教育環境が良いから	福祉、医療体制が充実しているから	様々な伝統、文化があるから	自然環境が良いから	仕事の都合	道路、交通の便が良いから	その他	無回答
全体	1,564	48.0	66.5	17.6	4.7	3.1	10.0	9.1	25.6	30.4	21.0	7.7	0.8
男性	717	54.0	61.1	16.6	4.9	3.3	9.9	10.0	27.8	33.6	22.5	7.1	0.8
女性	825	43.2	71.5	18.7	4.4	2.9	10.2	8.2	23.8	27.4	20.0	7.8	0.8
回答しない	20	30.0	55.0	10.0	10.0	5.0	10.0	5.0	20.0	40.0	15.0	20.0	0.0

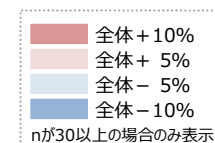
長岡市に住み続けたいと思う理由（年代別）

- 年代別に長岡市に住み続けたいと思う理由を確認した。
- その結果、20～40歳代では「仕事の都合」、30歳代では「子育てがしやすいから」、50歳代と70歳代では「自然環境が良いから」、60～70歳以上では「地域への愛着があるから」の回答が多かった。

■年代別の長岡市に住み続けたいと思う理由

※各年代の回答数は表中に表記 / 値は%（複数選択のため、各年代の合計は100%を超える）

n=2,004



属性	回答数	地域への愛着があるから	家族、友人等がいるから	商業施設、飲食店等が充実しているから	子育てがしやすいから	教育環境が良いから	福祉、医療体制が充実しているから	様々な伝統、文化があるから	自然環境が良いから	仕事の都合	道路、交通の便が良いから	その他	無回答
全体	1,564	48.0	66.5	17.6	4.7	3.1	10.0	9.1	25.6	30.4	21.0	7.7	0.8
10歳代	39	48.7	69.2	12.8	5.1	2.6	0.0	10.3	15.4	15.4	10.3	2.6	0.0
20歳代	127	35.4	66.9	19.7	2.4	3.1	7.1	8.7	20.5	36.2	15.0	11.0	1.6
30歳代	252	37.3	68.3	21.8	11.5	2.4	8.3	4.8	15.5	39.7	22.2	6.0	0.0
40歳代	263	38.0	68.4	14.4	6.1	4.2	8.4	11.8	20.9	46.8	17.9	7.6	0.0
50歳代	310	50.6	62.3	16.8	3.2	4.2	11.0	11.9	31.0	35.2	22.9	9.4	1.3
60歳代	398	56.3	66.8	18.6	2.0	1.8	11.6	8.0	28.4	18.8	24.1	6.8	1.0
70歳以上	172	64.5	66.3	15.1	2.9	4.1	14.5	8.1	37.2	9.3	20.9	7.6	1.7

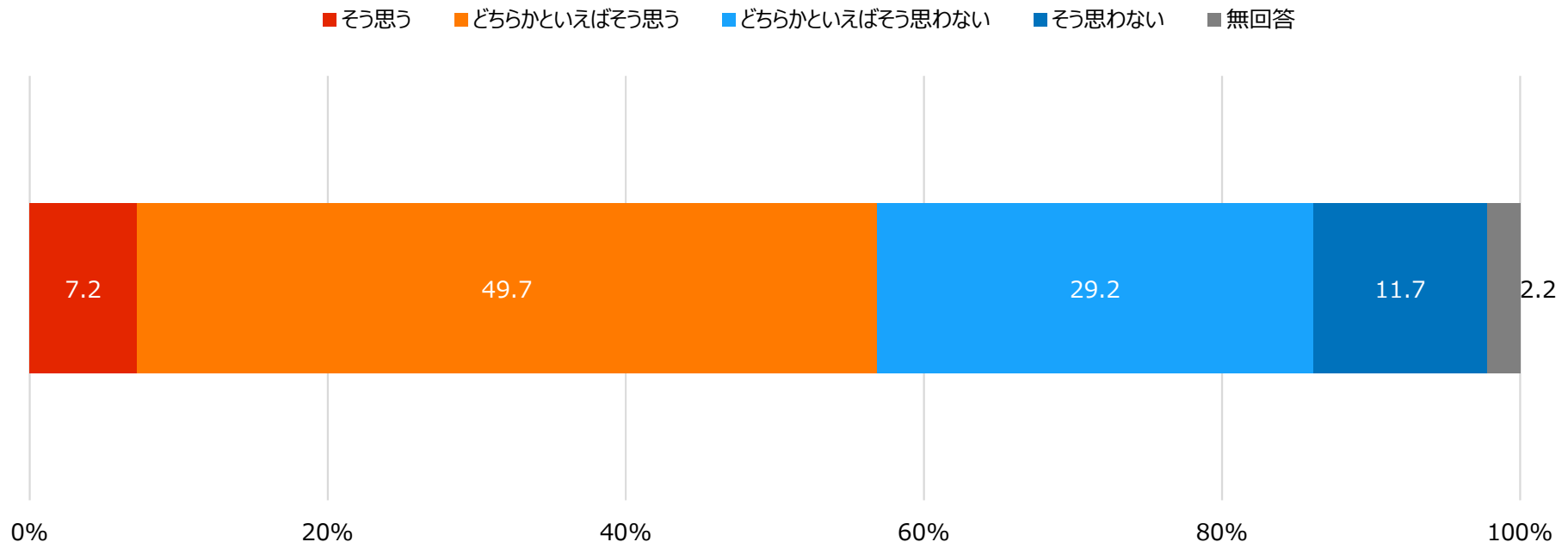
長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか

- ・ 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めていると思うか質問した。
- ・ 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が計56.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計40.7%であり、住みやすいまちづくりの推進について実感できていない市民が半分に近いことが分かった。

■ 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか

あなたは、長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めていると思いますか。（択一選択）

n=2,004

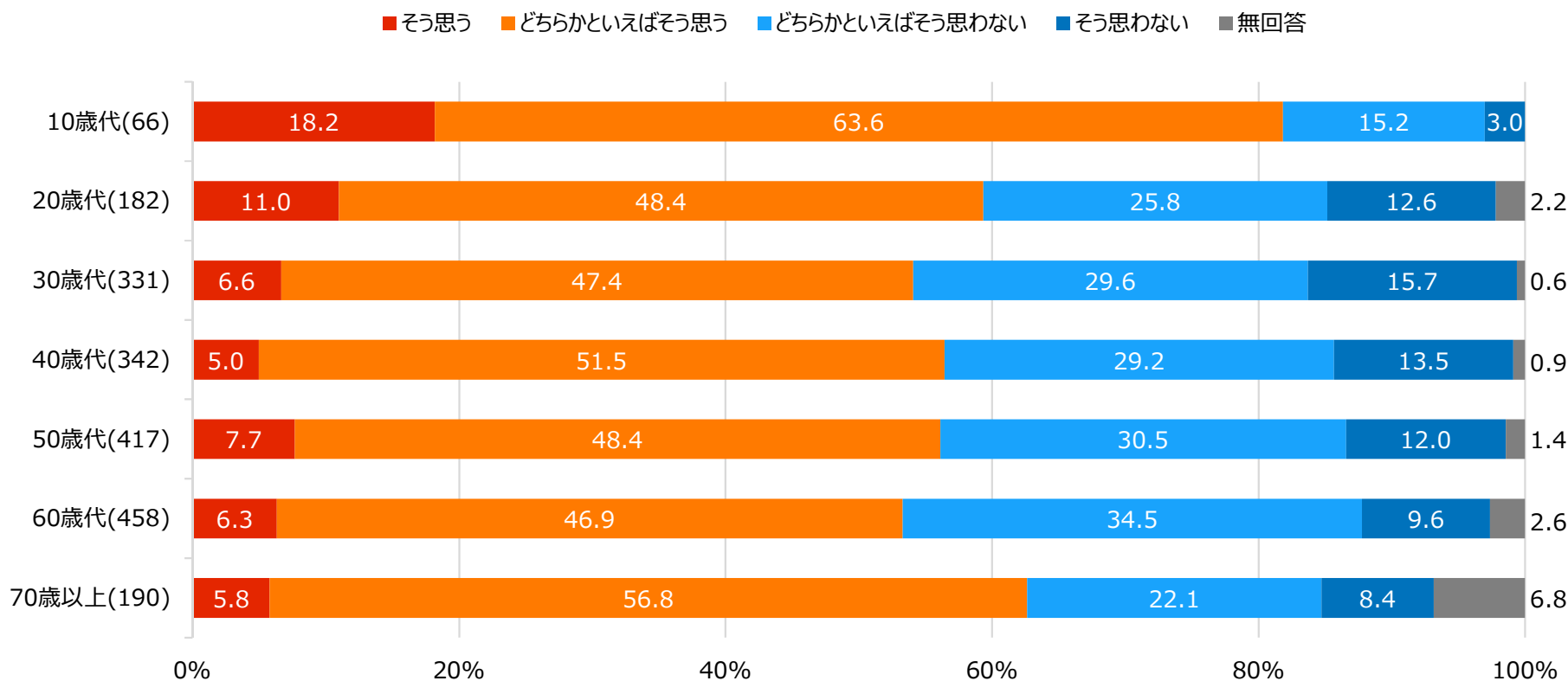


長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか（年代別）

- 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているかの回答について年代別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について10歳代が最も高く81.8%であった。一方で、元も低かったのは60歳代で53.3%であった。

■年代別 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか

n=2,004

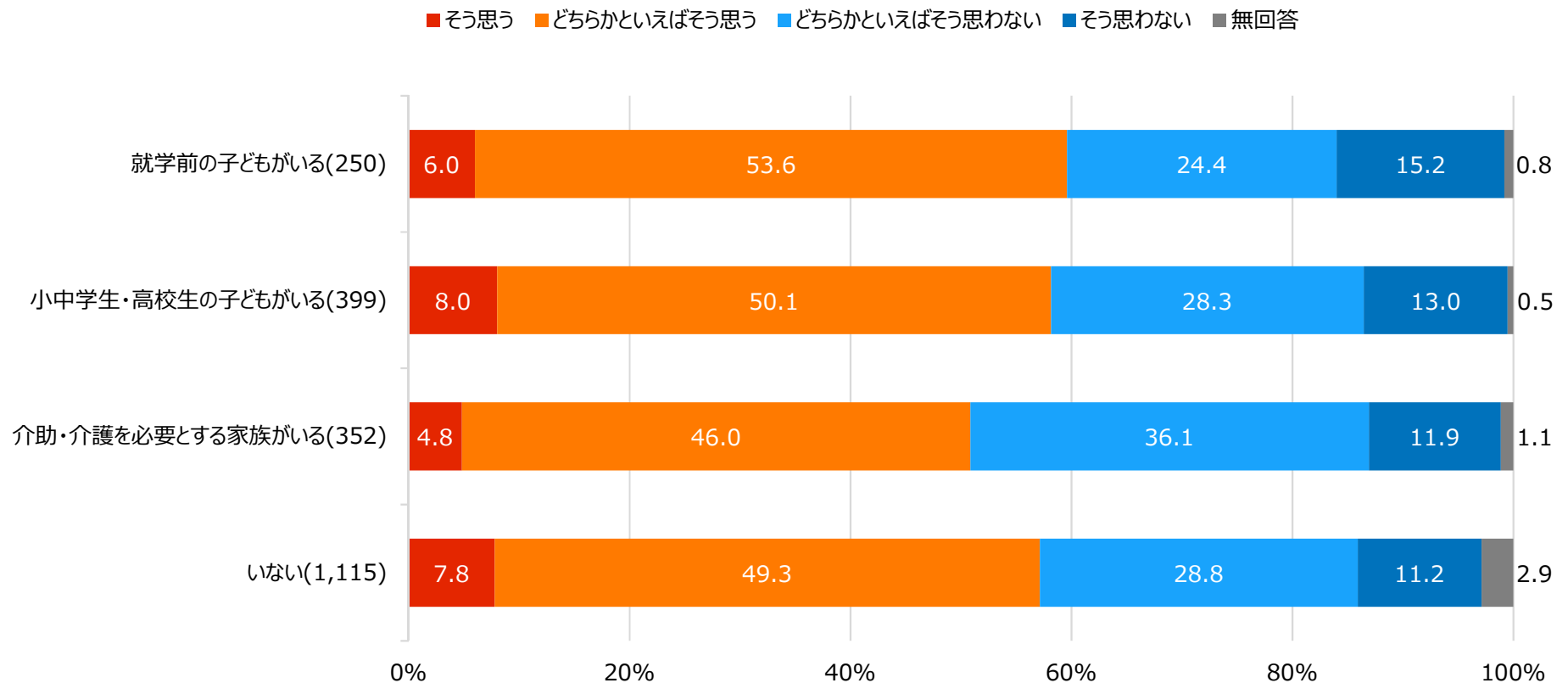


長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか（子育て・介護が必要な家族の有無別）

- ・ 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているかの回答について子育て・介護が必要な家族の有無別に確認した。
- ・ その結果、介助・介護を必要とする家族がいる回答者では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が他に比べてやや低かった。

■ 子育て・介護が必要な家族の有無別 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか

n=2,004



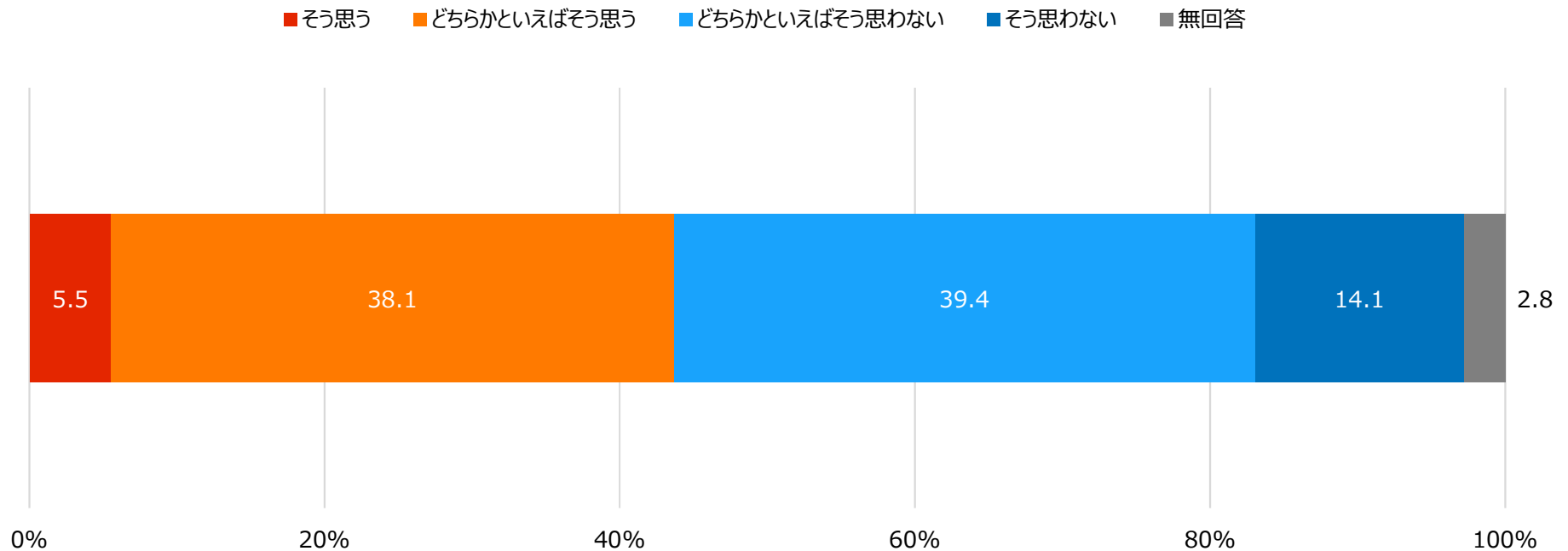
長岡市は人材育成に力を入れていると思うか

- ・ 長岡市が人材育成に力を入れていると思うか質問した。
- ・ 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が計43.6%であるのに対し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計53.5%と、否定的な意見が9.9pt多い結果となった。

■ 長岡市は人材育成に力を入れていると思うか

あなたは、長岡市が人材育成に力を入れていると思いますか。（択一選択）

n=2,004

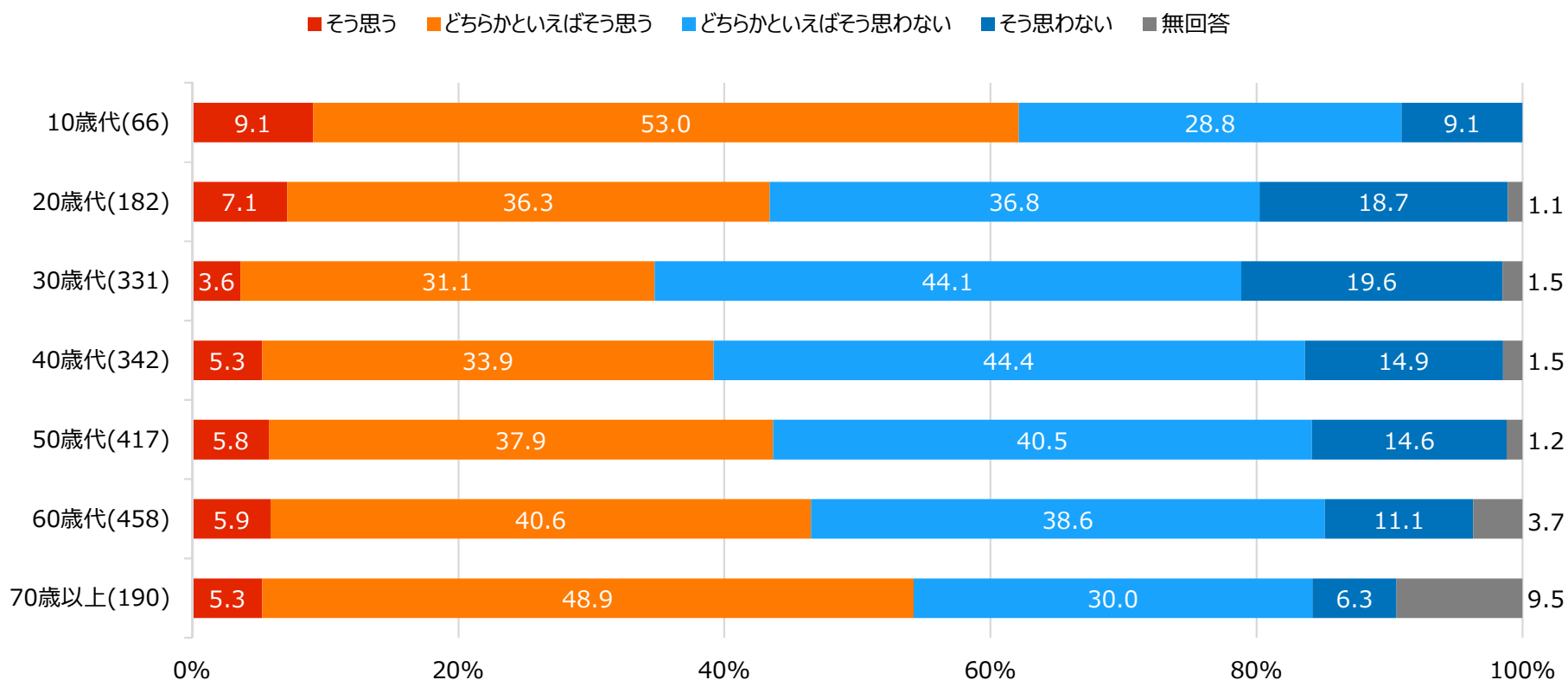


長岡市は人材育成に力を入れていると思うか（年代別）

- 長岡市は人材育成に力を入れていると思うかの回答について、年代別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について10歳代が最も高く62.1%であった。一方で、元も低かったのは30歳代で34.7%であった。

■年代別 長岡市は人材育成に力を入れていると思うか

n=2,004



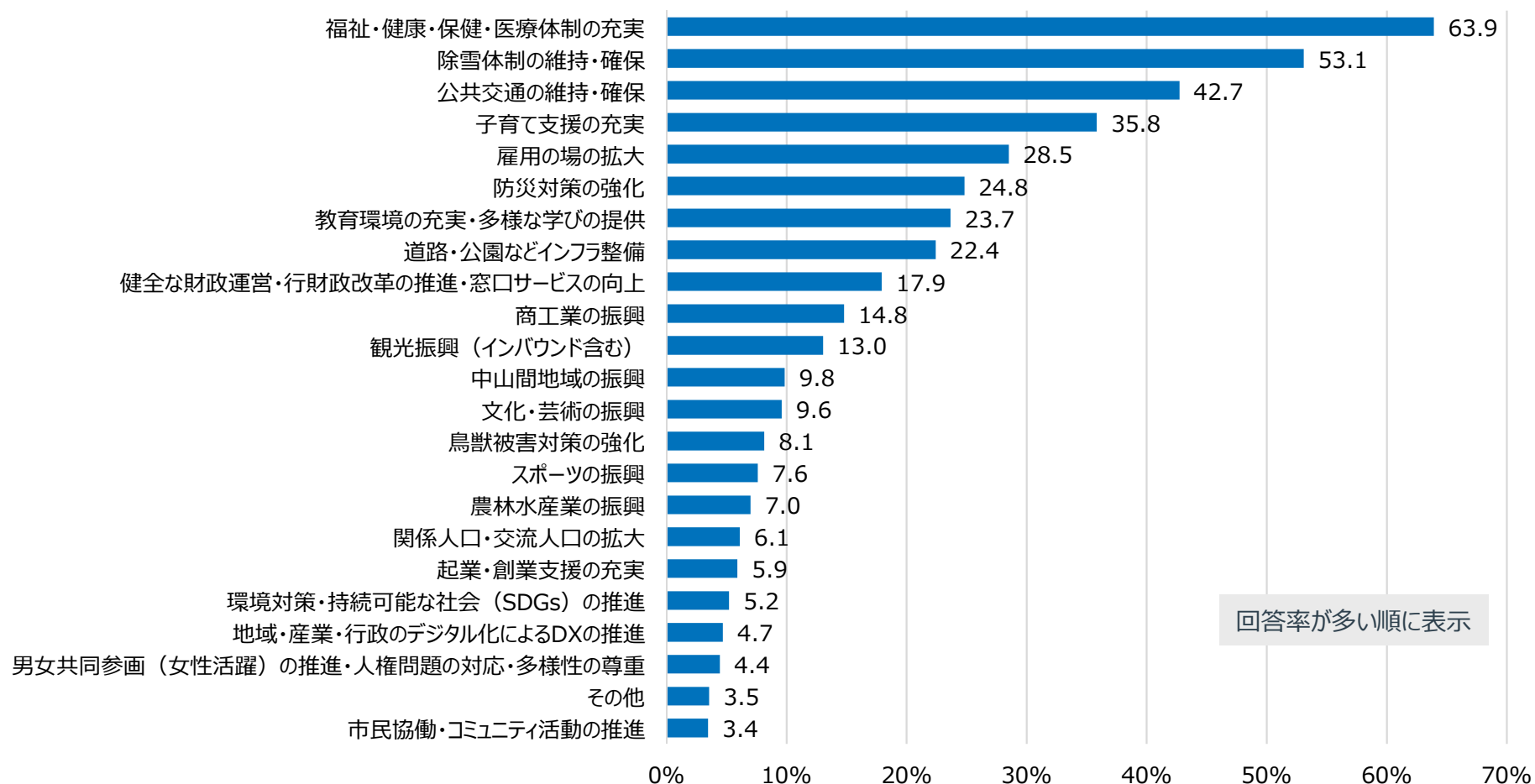
長岡市に特に力を入れてほしい取り組み

- ・ 長岡市に特に力を入れてほしい取り組みについて、最大5つまで選択できる形で質問した。
- ・ その結果、「福祉・健康・医療体制の充実（63.9%）」、「除雪体制の維持・確保(53.1%)」、「公共交通の維持・確保（42.7%）」、「子育て支援の充実（35.8%）」といった取り組みが上位にあがった。

■ 長岡市に特に力を入れてほしい取り組み

長岡市に特に力を入れてほしい取り組みは何ですか。(最大で5つまで選択)

n=2,004



回答率が多い順に表示

特に力を入れてほしい取り組み（年代別）

- 特に力を入れてほしい取り組みについて年代別に確認したところ、60歳以上の年配層では「福祉・健康・保健・医療体制の充実」、20歳～40歳代では「子育て支援の充実」「教育環境の充実・多様な学びの提供」、10歳では「男女共同参画（女性活躍）の推進・人権問題の対応・多様性の尊重」への関心が全体と比較して高いことが分かった。
- またその他には、自家用車の運転が難しいと思われる10歳代及び70歳以上において「公共交通の維持・確保」への関心が高かったり、防災・行政サービス等への関心は年齢と比例しているなどの特徴が見られた。

■年代別 長岡市に特に力を入れてほしい取り組み

※各年代の回答数は表中に表記 / 値は%（複数選択のため、各年代の合計は100%を超える）

属性	回答数	福祉・健康・保健・医療体制の充実	公共交通の維持・確保	子育て支援の充実	教育環境の充実・多様な学びの提供	防災対策の強化	中山間地域の振興	鳥獣被害対策の強化	道路・公園などインフラ整備	除雪体制の維持・確保	商工業の振興	雇用の場の拡大	起業・創業支援の充実	農林水産業の振興	環境対策・持続可能な社会（SDGs）の推進	文化・芸術の振興	スポーツの振興	観光振興（インバウンド含む）	関係人口・交流人口の拡大	地域・産業・行政のデジタル化によるDXの推進	市民協働・コミュニティ活動の推進	男女共同参画（女性活躍）の推進・人権問題の対応・多様性の尊重	健全な財政運営・行財政改革の推進・窓口サービスの向上	その他	無回答
全体	2,004	63.9	42.7	35.8	23.7	24.8	9.8	8.1	22.4	53.1	14.8	28.5	5.9	7.0	5.2	9.6	7.6	13.0	6.1	4.7	3.4	4.4	17.9	3.5	1.6
10歳代	66	37.9	50.0	31.8	30.3	15.2	9.1	6.1	27.3	48.5	13.6	25.8	3.0	1.5	6.1	9.1	12.1	16.7	3.0	4.5	4.5	15.2	9.1	3.0	1.5
20歳代	182	45.1	42.3	47.8	22.5	20.9	8.8	5.5	22.5	46.7	15.9	22.5	4.9	3.8	3.3	8.8	6.0	15.9	5.5	8.8	1.6	8.2	9.3	5.5	0.5
30歳代	331	59.8	33.8	64.0	35.6	17.2	7.9	4.8	29.3	49.8	16.0	24.5	7.6	5.7	3.6	8.8	5.4	10.3	3.3	4.8	1.5	6.0	10.3	3.9	0.3
40歳代	342	59.1	40.1	40.9	34.2	22.2	5.8	7.6	21.1	54.7	18.1	30.7	5.6	5.3	2.0	9.1	9.6	13.2	5.8	5.8	1.2	4.7	18.4	2.9	1.2
50歳代	417	65.7	46.0	21.8	16.3	26.4	9.4	7.9	21.1	57.8	14.1	36.5	6.2	10.1	4.1	11.5	9.8	16.3	8.2	3.8	3.4	2.6	20.4	3.4	1.2
60歳代	458	75.5	45.0	25.8	17.0	30.6	13.5	10.3	22.3	54.6	12.7	25.3	6.1	7.2	7.4	10.5	6.1	10.9	6.3	4.1	5.2	2.6	21.4	3.5	2.2
70歳以上	190	76.8	49.5	23.2	15.8	31.6	14.2	12.6	14.7	50.0	11.6	27.9	4.2	8.9	12.6	5.8	6.3	10.0	7.9	2.1	7.9	2.1	27.9	2.6	4.2

全体 + 10%
全体 + 5%
全体 - 5%
全体 - 10%
nが30以上の場合のみ表示

4

政策・施策関連

4-1

暮らしについて

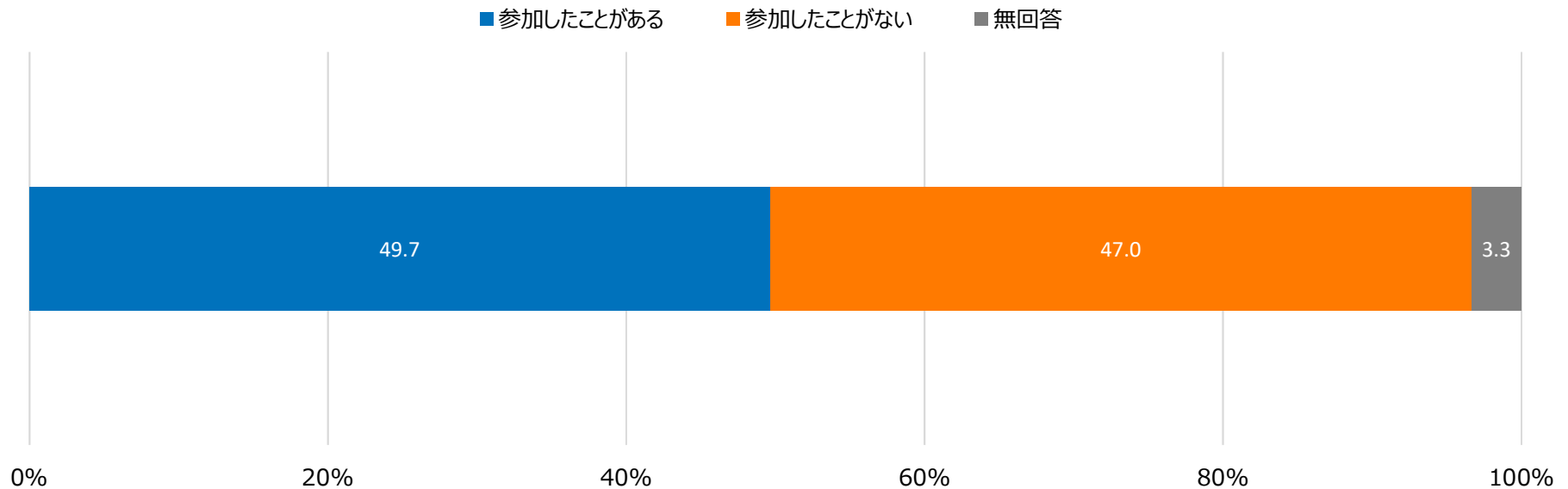
地域活動

- 過去一年間の地域活動への参加状況を伺った。
- その結果、参加したことがある方（49.7）がわずかに多いものの、参加したことがない方（47.0）とほぼ同じ割合であることが分かった。

■ 地域活動への参加経験

あなたは、過去一年間に、地域活動（町内会、子ども会、老人クラブ、コミュニティセンターの行事、またはサークル活動など）に参加したことがありますか。（択一選択）

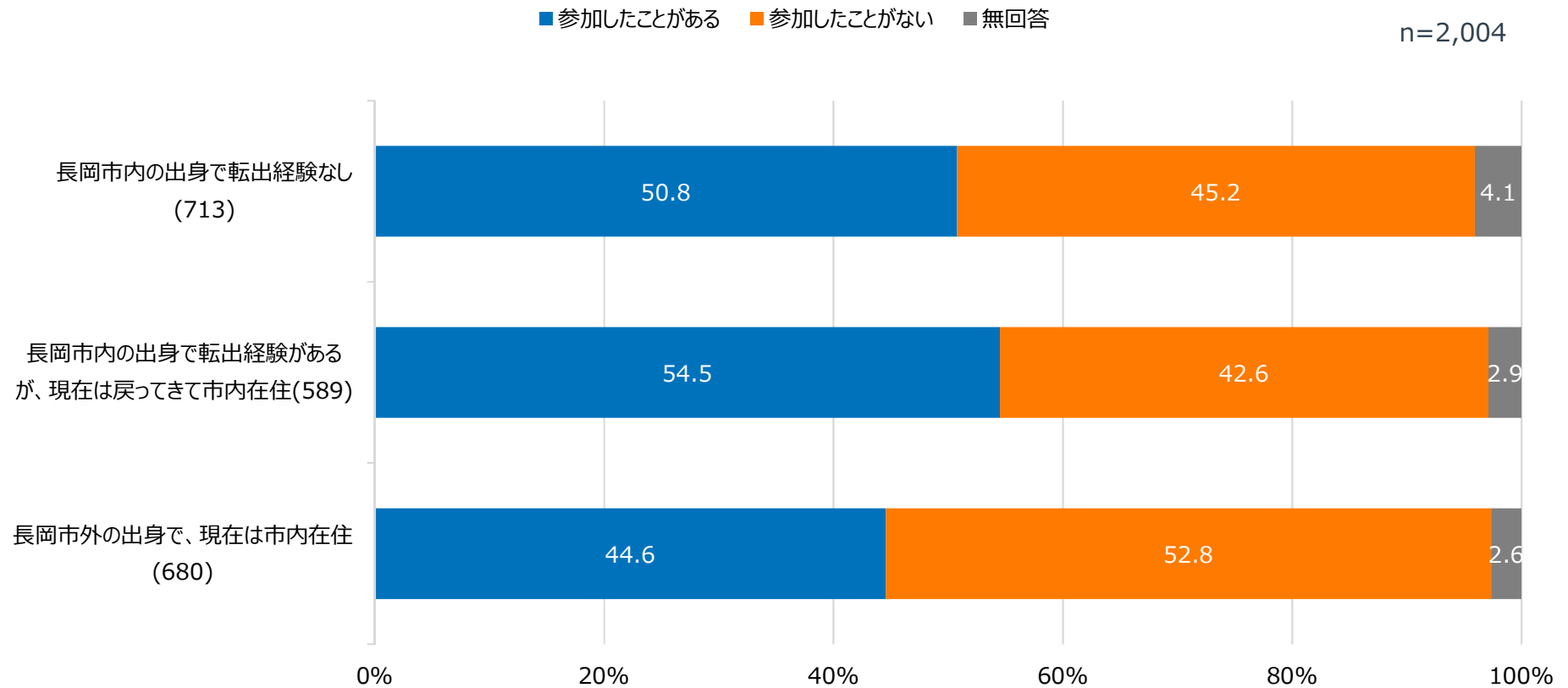
n=2,004



地域活動（転居経験別）

- ・ 転居経験別に地域活動への参加経験を伺った。
- ・ その結果、長岡市の出身で転居経験があるが、現在は戻ってきて市内在住の方は54.5%と地域活動への参加経験者が多く、長岡市外の出身で、現在は市内在住の方は44.6%と地域活動への参加経験者が少ないことが分かった。

■ 転居経験別 地域活動への参加経験



男女の地位

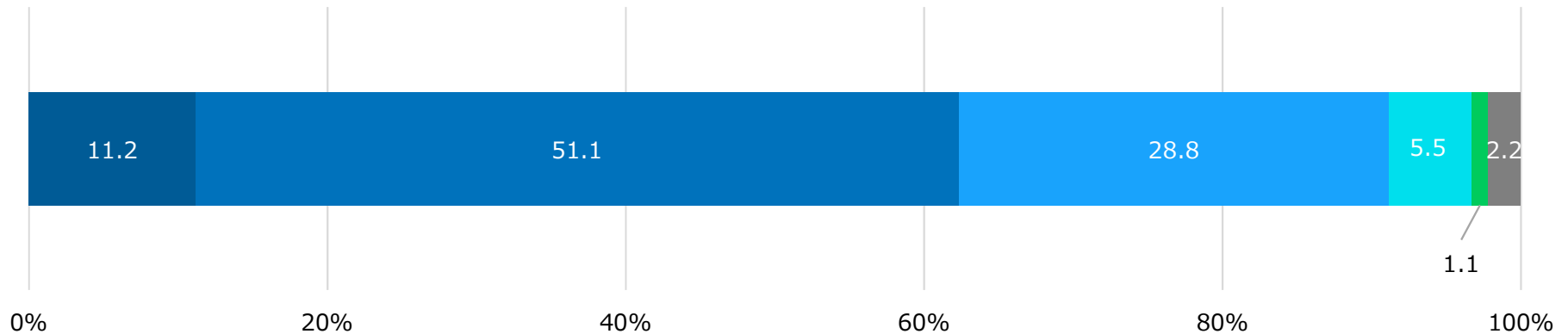
- 地域社会における男女の地位が平等になっていると思うかを確認した。
- その結果、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせると、合計62.3%が男性優位と回答しており、男性が優遇されていると感じている人の割合が多いことが分かった。

■ 地域社会における男女の地位

あなたは、地域社会（家庭や職場、学校、政治の場や制度、慣習など）における男女の地位は平等になっていると思いますか。
（択一選択）

n=2,004

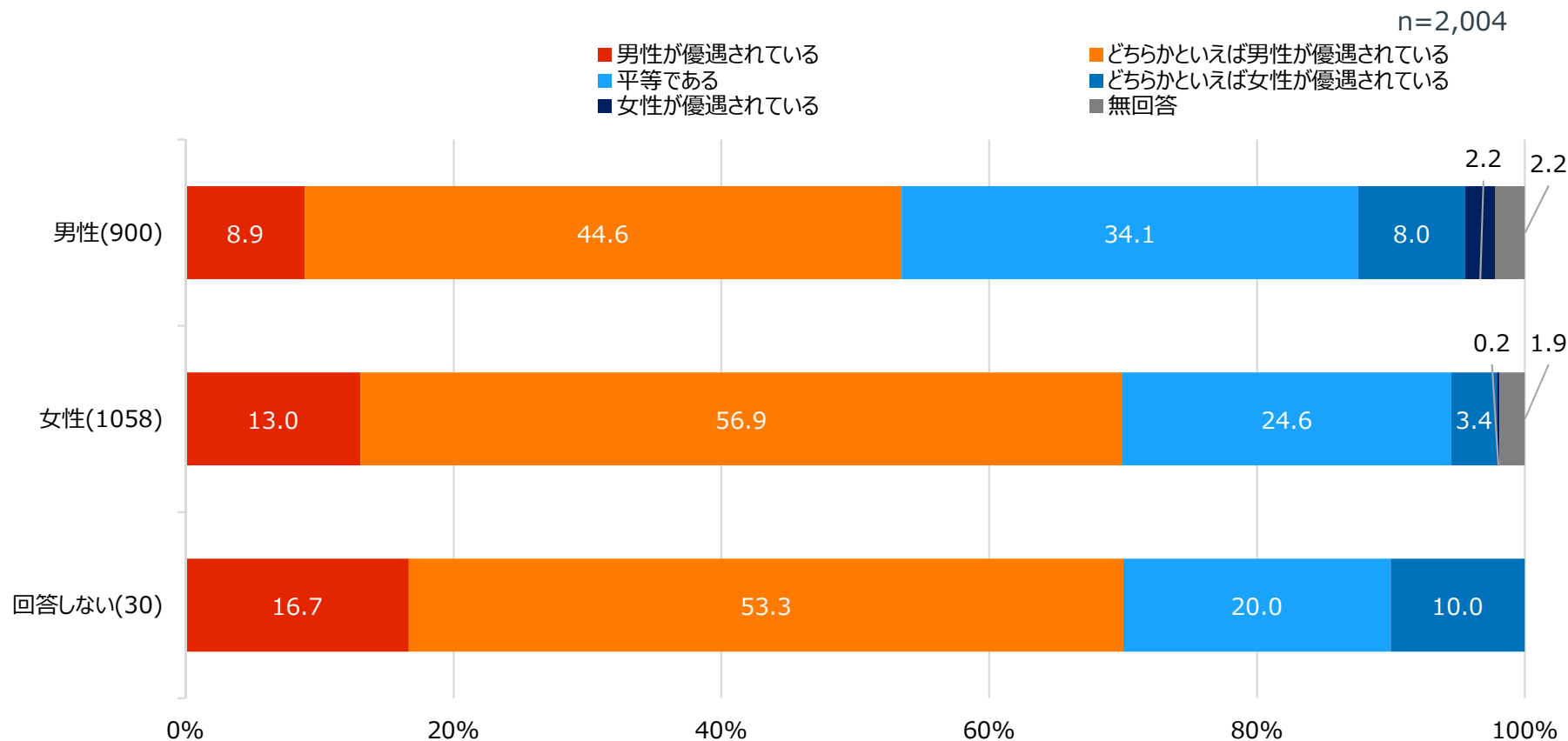
■ 男性が優遇されている ■ どちらかといえば男性が優遇されている ■ 平等である ■ どちらかといえば女性が優遇されている ■ 女性が優遇されている ■ 無回答



男女の地位（男女別）

- 男女の地位が平等だと思うかについて、男女別に確認したところ、女性において、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせると69.9%に達し、男性よりも女性のほうが男性優位と感じている傾向が強いことがわかった。
- また、「平等だと思う」は男性で34.1%、女性で24.6%と、男女間で約10ptの差が見られた。

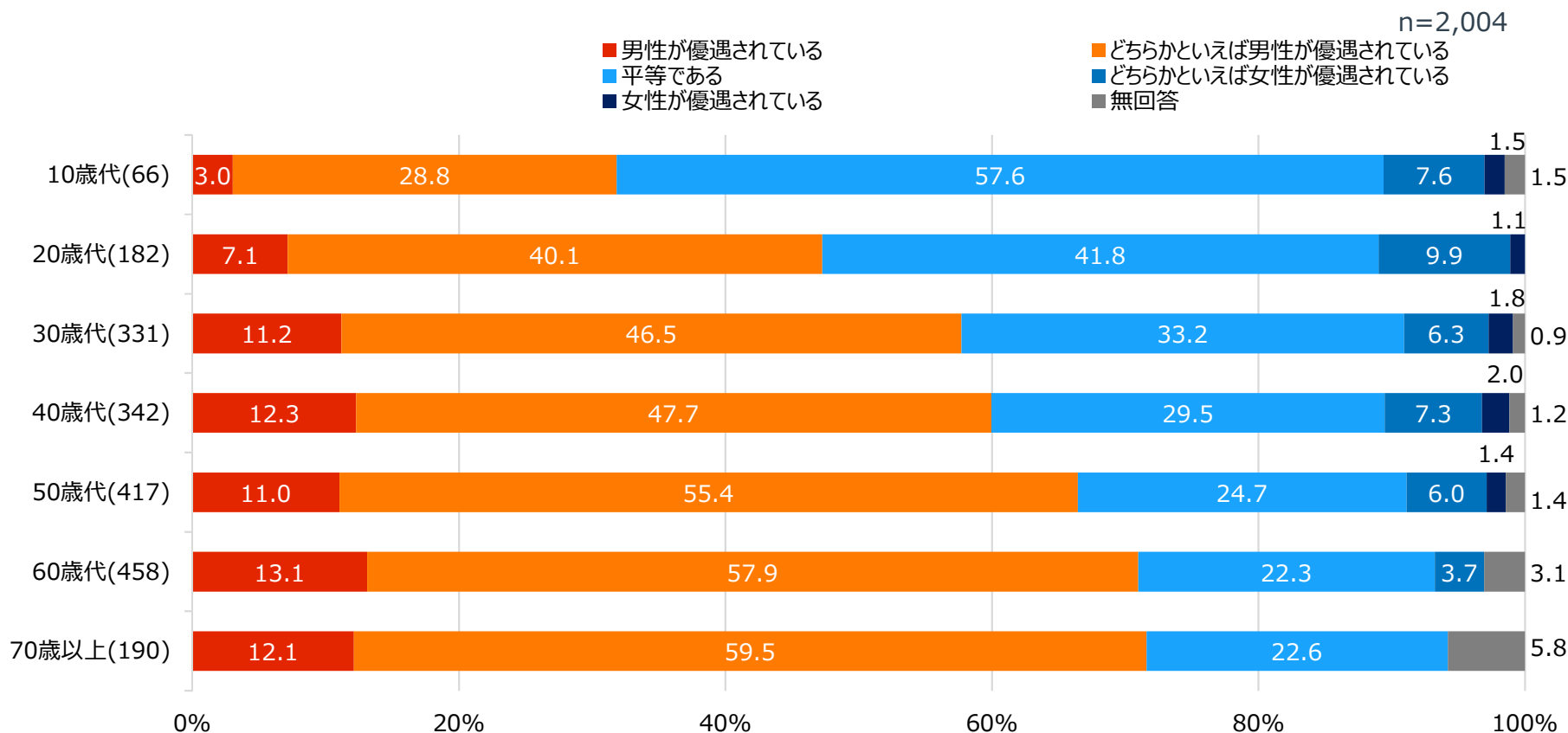
■男女別 地域社会における男女の地位



男女の地位（年代別）

- 男女の地位が平等だと思うか、年代別に確認したところ、10歳代では「平等である」の回答が57.6%と最も高くなっていた。
- 20歳代以降では「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた割合が増え、70歳以上が71.2%と最も高くなっていた。

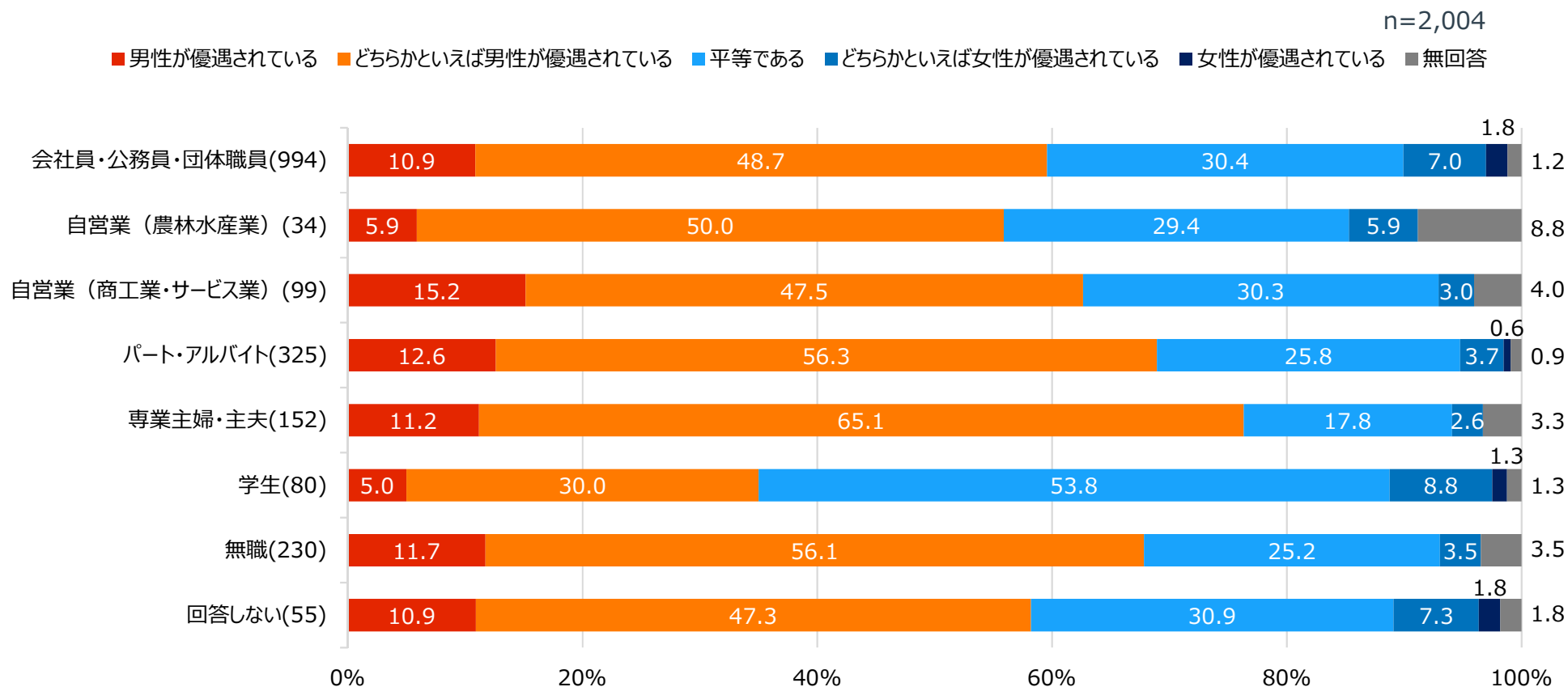
■ 年代別 地域社会における男女の地位



男女の地位（職業別）

- 男女の地位が平等だと思うか、職業別に確認したところ、専業主婦・主夫において、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合が76.3%と、最も高い割合を示していることが分かった。
- 学生では「平等である」が53.8%と最も高く、男女の地位が平等だと感じている割合が他の属性と比較して高いことが分かった。

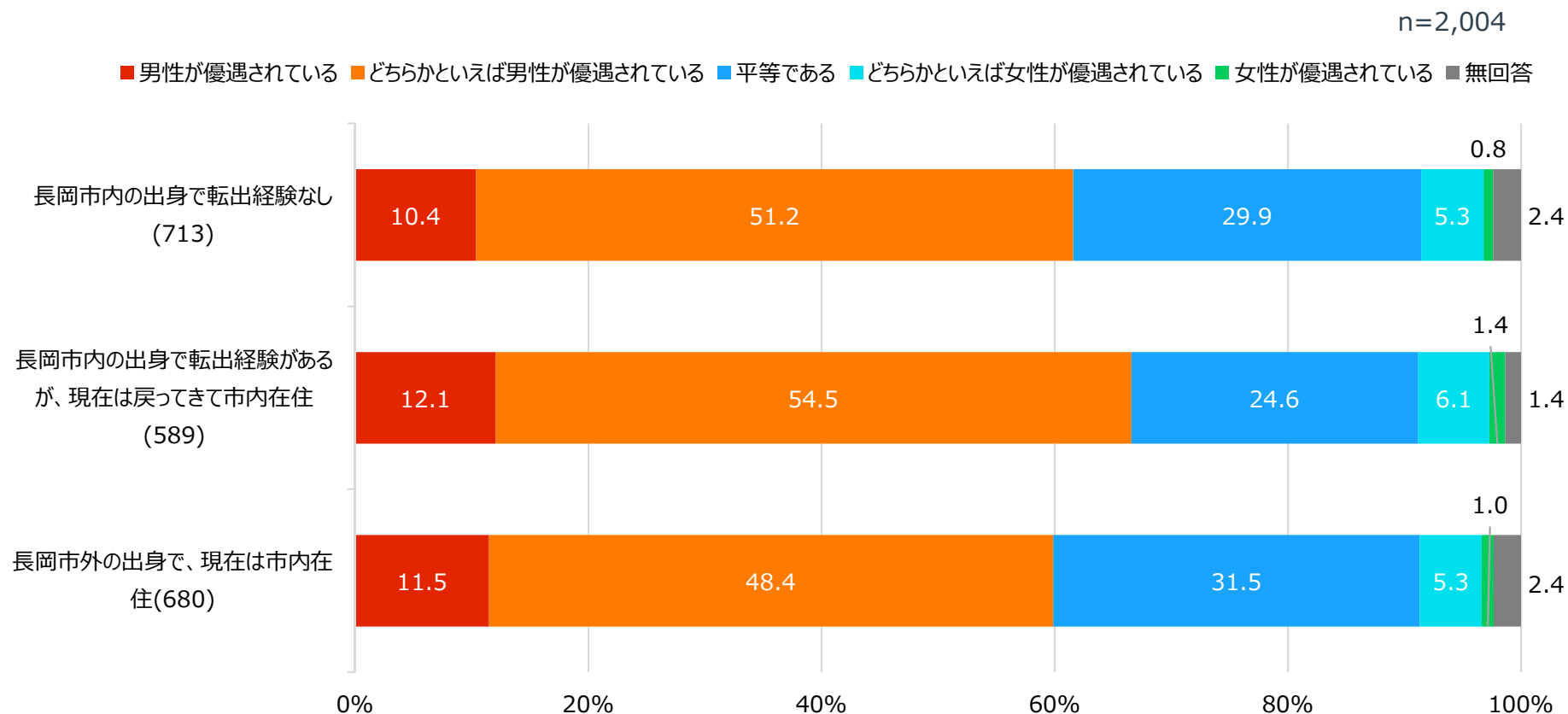
■職業別 地域社会における男女の地位



男女の地位（転居経験の有無別）

- 男女の地位が平等だと思うか、転居経験の有無別に確認した。
- その結果、長岡市内の出身で転出経験があるが、現在は戻ってきて市内在住の方において、「男性が優遇されている」と、「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合が66.6%と、最も高いことが分かった。

■ 転居経験の有無別 地域社会における男女の地位

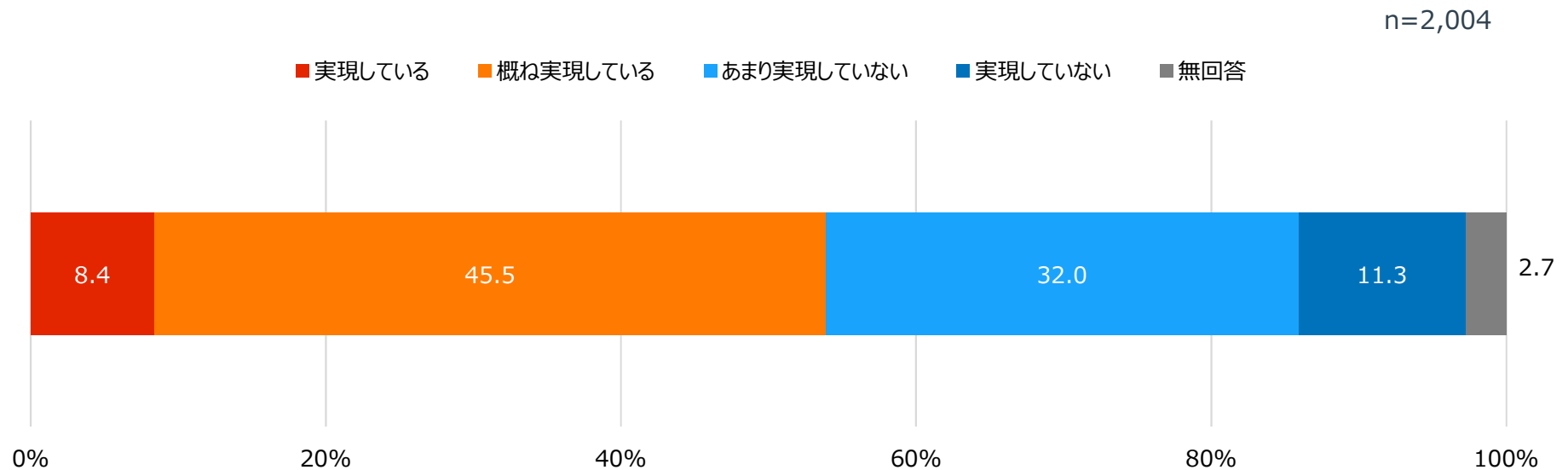


ワーク・ライフ・バランス

- 自分の望むワーク・ライフ・バランスを実現できているかどうかを質問した。
- その結果、「実現している」と「概ね実現している」を合わせた53.9%の方は比較的実現できているとの考えを持っていることが分かった。

■ワーク・ライフ・バランスの実現

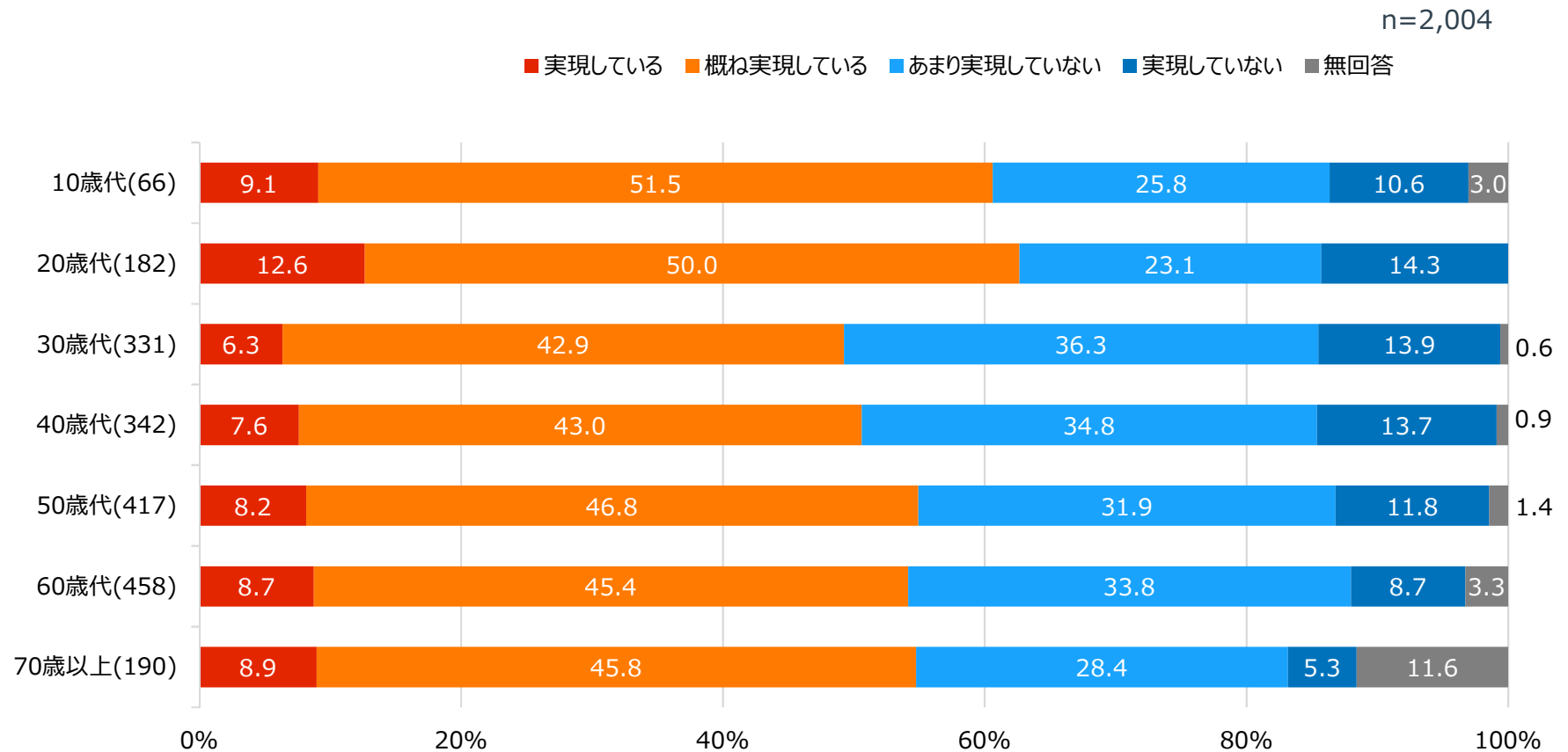
あなたは、自分が望むワーク・ライフ・バランス※を実現できていますか。 ※仕事と生活の調和をとり、両方を充実させる働き方や生き方（択一選択）



ワーク・ライフ・バランス（年代別）

- 自分の望むワーク・ライフ・バランスを実現できているかどうかを年代別に伺ったところ、20歳代では「実現している」と「概ね実現している」を合わせて62.6%と、最も実現できていると考える方の割合が高くなっていた。
- 20歳代では「実現している」と「概ね実現している」を合わせて49.2%となり、最も少ない割合であった。

■年代別 ワーク・ライフ・バランスの実現

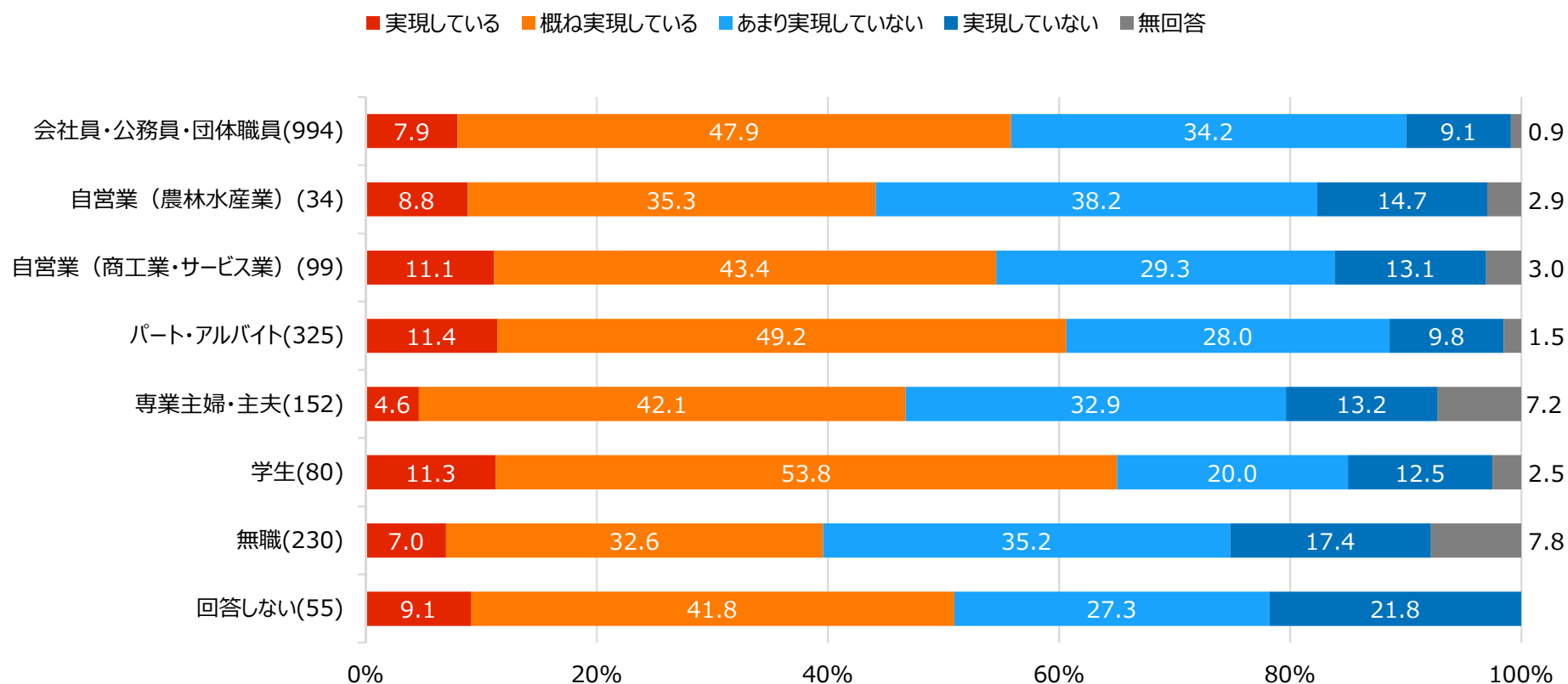


ワーク・ライフ・バランス（職業別）

- 自分の望むワーク・ライフ・バランスを実現できているかどうか、職業別に伺ったところ、学生において、ワーク・ライフ・バランスが「実現している」と「概ね実現している」と答える方の割合が65.1%と最も多くなっていた。

■職業別 ワーク・ライフ・バランスの実現

n=2,004

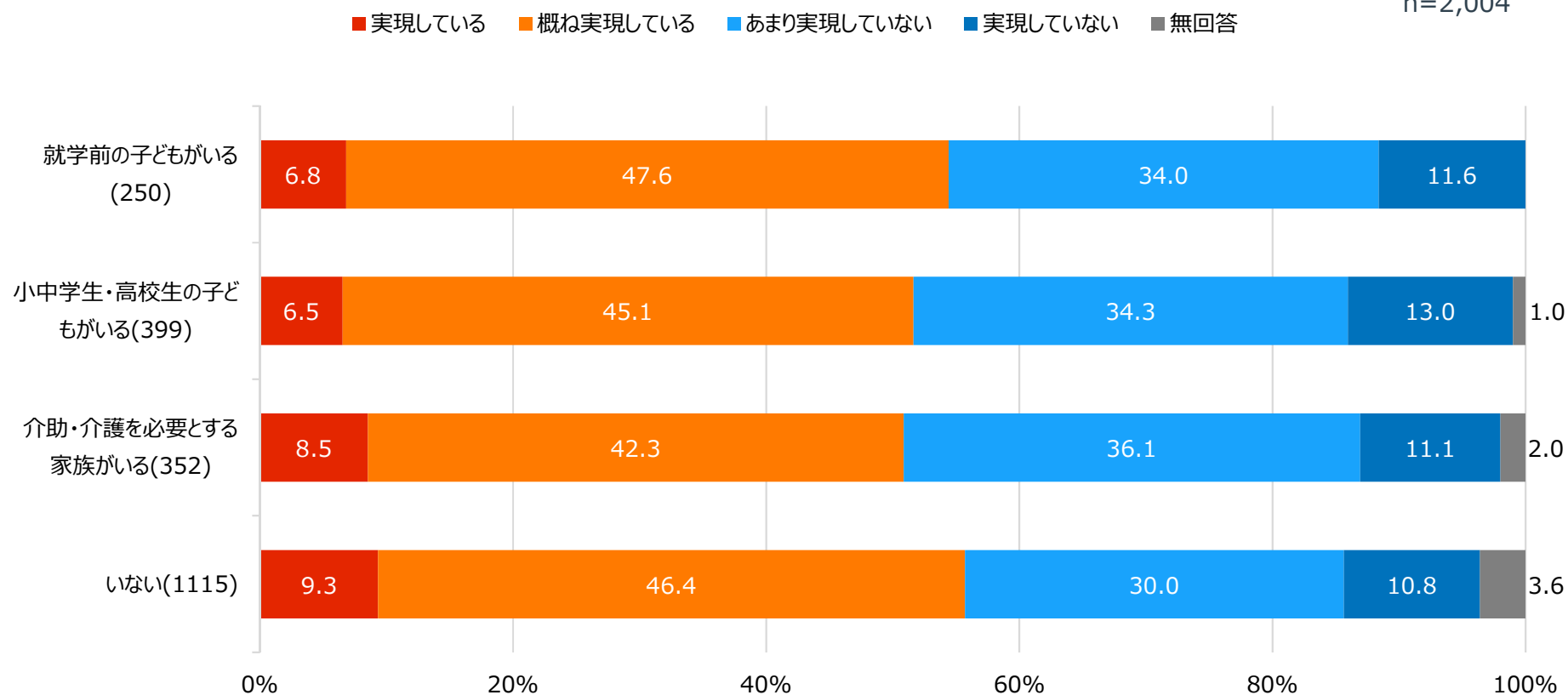


ワーク・ライフ・バランス（子育てや介護が必要な家族の有無別）

- 自分の望むワーク・ライフ・バランスを実現できているかを、子育てや介護が必要な家族の有無別に伺ったところ、「子育てや介護が必要な家族がいない」と回答した方において、ワーク・ライフ・バランスが「実現している」と「概ね実現している」に回答する方の割合が最も多くなっていた。

■ 子育てや介護が必要な家族の有無別 ワーク・ライフ・バランスの実現

n=2,004



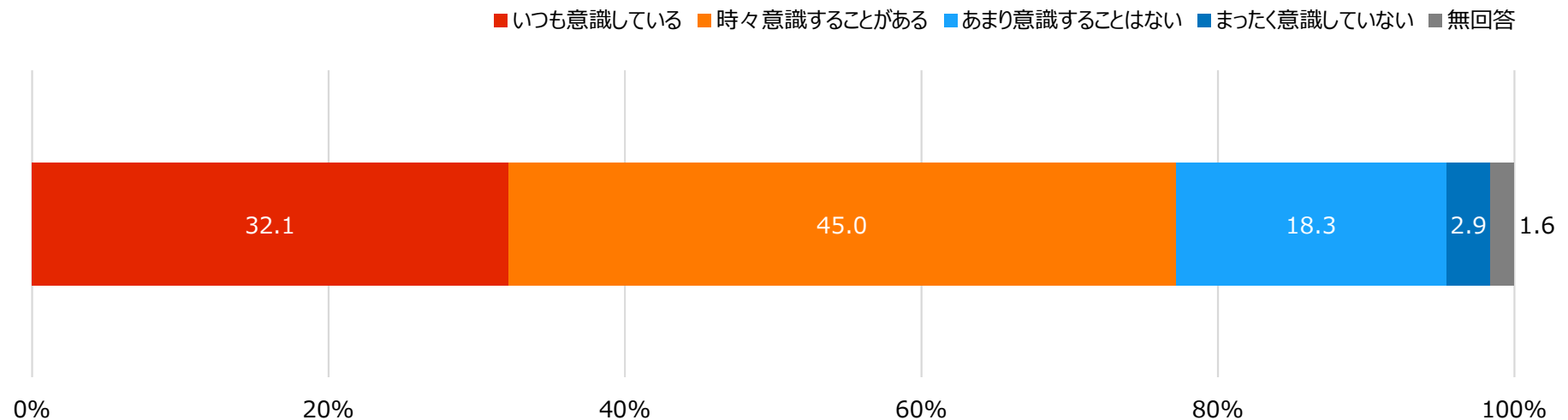
人権

- 自分や周りの人の人権を意識しながら生活しているか伺った。
- その結果、「時々意識することがある」と回答した方が45.0%と最も多く、「いつも意識している」と回答した方を合わせると合計77.1%の方が概ね意識しているということが分かった。

■ 人権への意識

あなたは日頃、自分や周りの人の人権を意識しながら生活していますか。（択一選択）

n=2,004



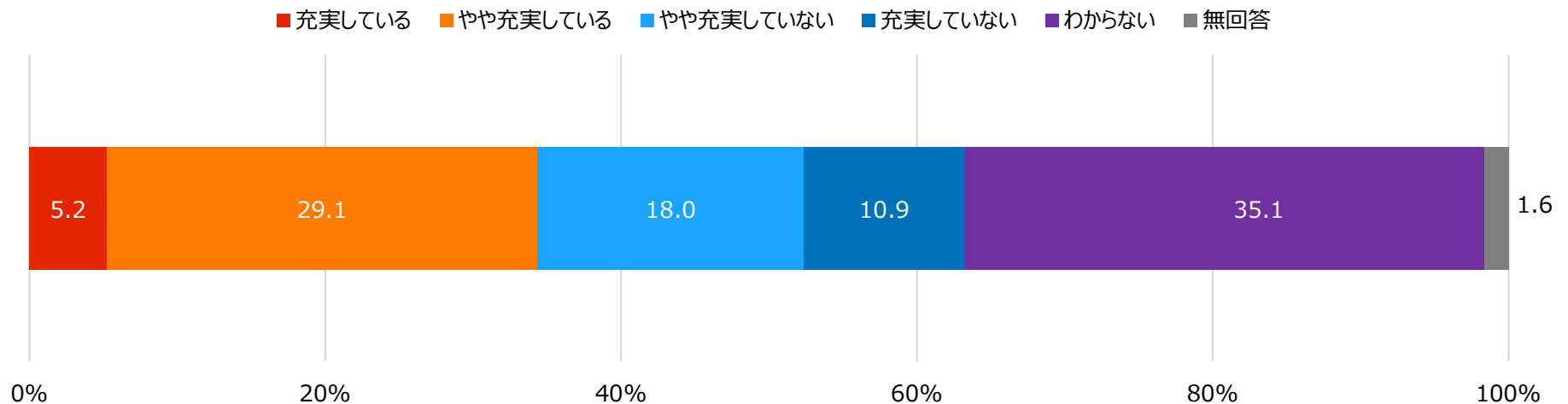
主体的な学び

- 学校教育以外の主体的な学びの機会が充実しているか伺った。
- その結果、「充実している」と「やや充実している」を合わせた34.3%において概ね充実しているということが分かり、「やや充実していない」と「充実していない」を合わせた28.9%を上回った。

■ 主体的な学びの機会

あなたは、学校教育以外の主体的な学びの機会が充実していると思いますか。（例：公共施設で実施している生涯学習や子ども向けの講座）（択一選択）

n=2,004



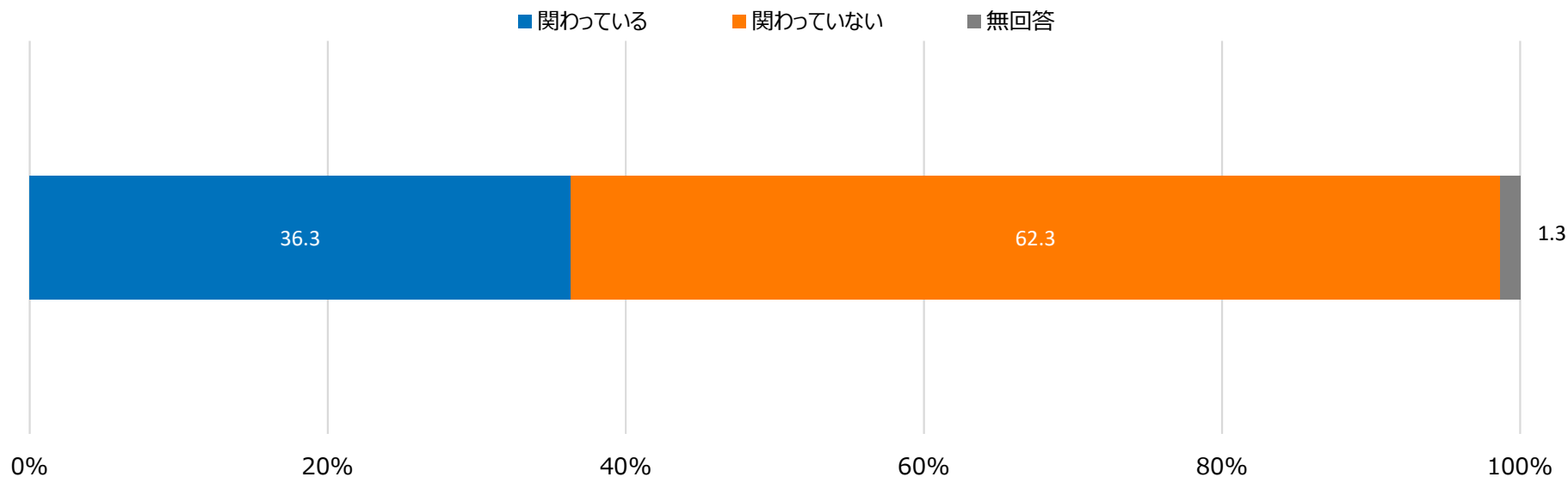
運動・スポーツ

- 運動、スポーツ観戦、スポーツイベントのサポートなど、何らかの形で運動やスポーツに関わっているかを伺った。
- その結果、「関わっていない」と回答した方が62.3%と、「関わっている」と回答した方を上回ることが分かった。

■ 運動・スポーツへの関わり

あなたは、ご自身が運動をしたり、スポーツ観戦をしたり、スポーツイベントのサポートをしたりなど、何らかの形で運動やスポーツに関わっていますか。（択一選択）

n=2,004



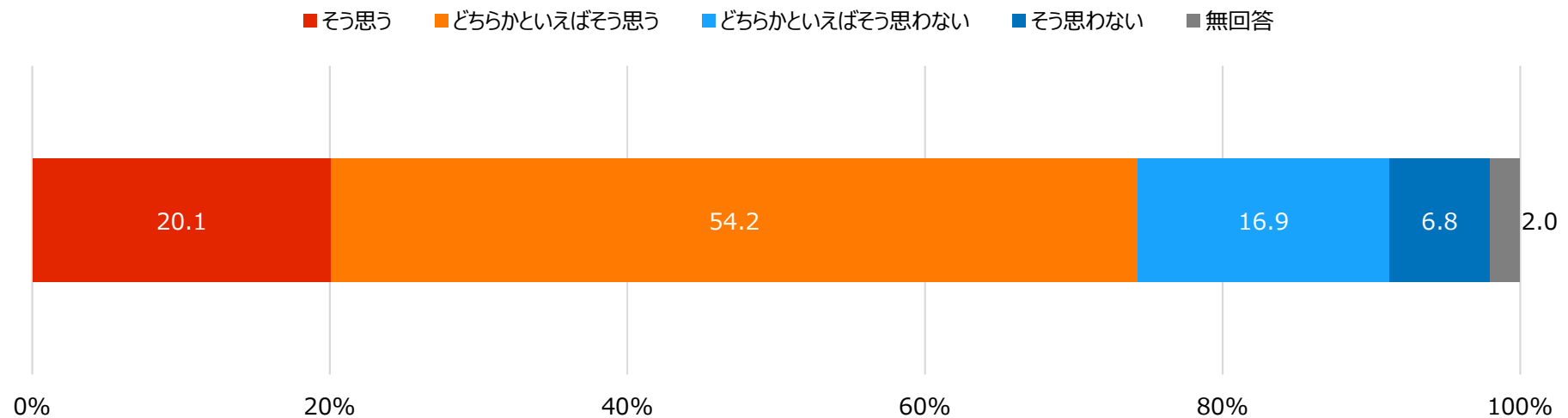
戦争・平和

- 戦争や平和について考えたり、祈ったりする取り組みに参加できる機会が提供されているかを伺った。
- その結果、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した方が合わせて74.3%と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」と回答した方を合わせた23.7%を大きく上回った。

■戦争・平和についての取り組み

長岡市では、戦争や平和について考えたり、祈ったりする取り組みに参加できる機会が提供されていると思いますか。（択一選択）

n=2,004



4-2

子育て・教育・歴史文化などについて

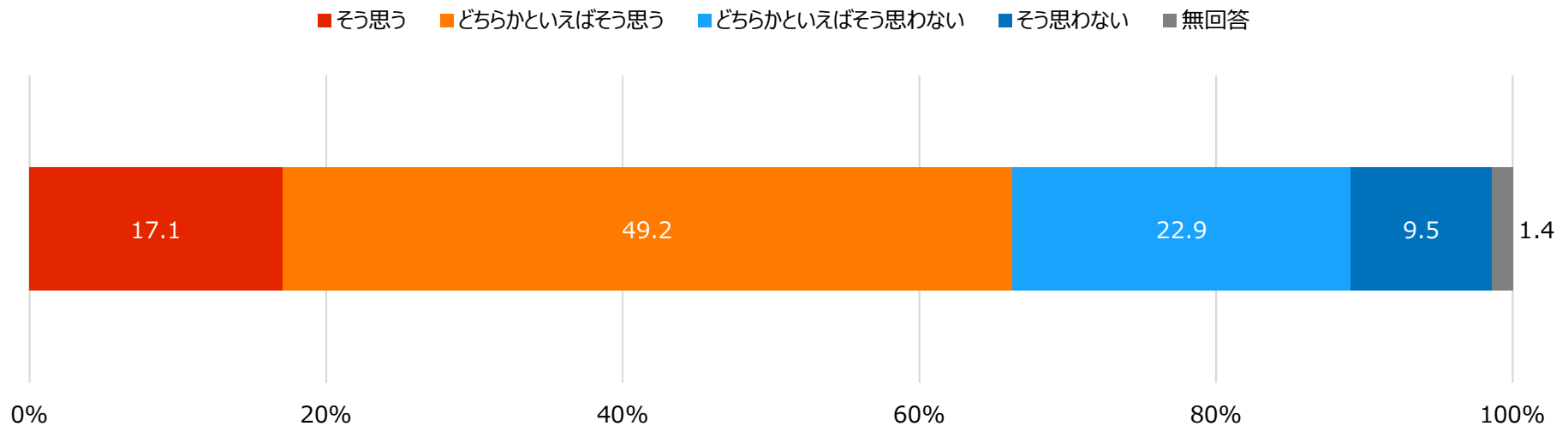
歴史・文化

- ・ 長岡市の歴史や文化に愛着を感じているかを伺った。
- ・ その結果、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した方が、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」と回答した方を大きく上回った。

■ 歴史や文化への愛着

あなたは長岡市の歴史や文化に愛着を感じていますか。（択一選択）

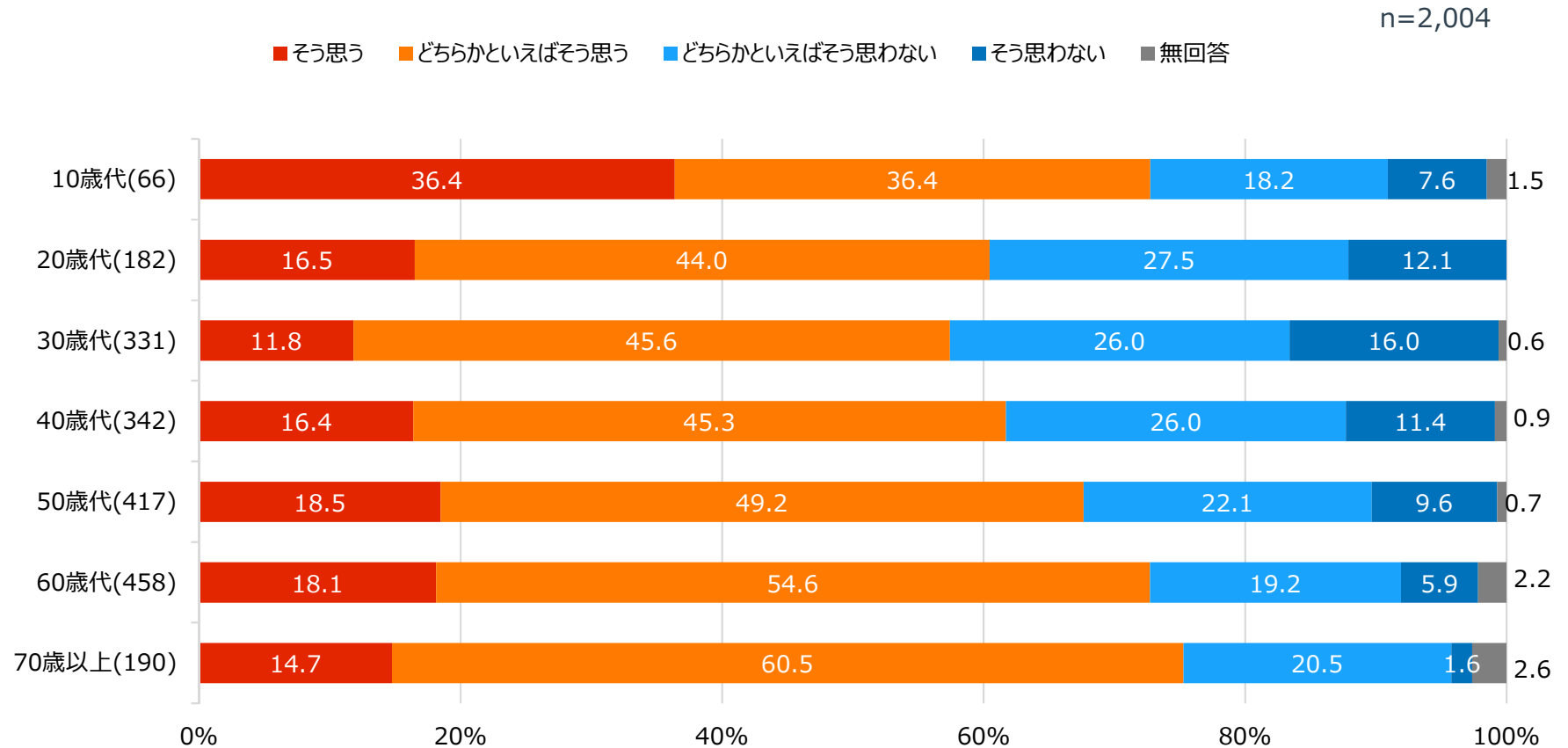
n=2,004



歴史・文化

- ・ 長岡市の歴史や文化に愛着を感じているかを年代別に伺った。
- ・ その結果、70歳以上において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した方が合わせて75.2%と最も多く、30歳代においては60.4%と最も少ないことが分かった。

■年代別 歴史や文化への愛着



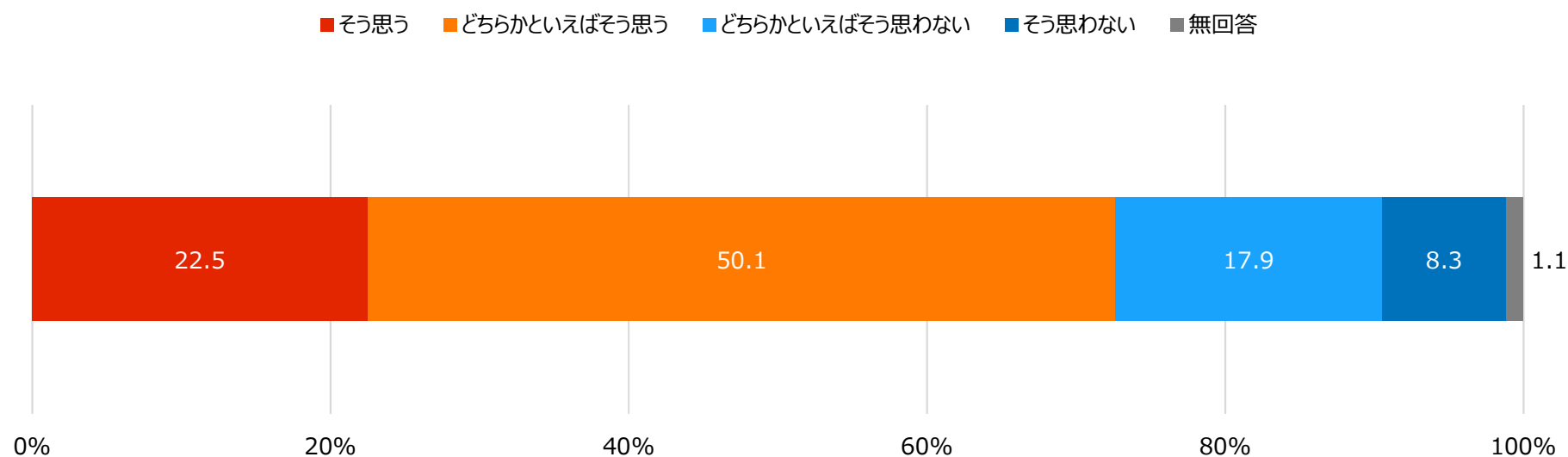
地域への愛着

- 自分の住む地域（町内）に愛着を感じているかを伺った。
- その結果、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した方が、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」と回答した方を大きく上回った。

■ 地域（町内）への愛着

あなたは、自分の住む地域（町内）に愛着を感じていますか。（択一選択）

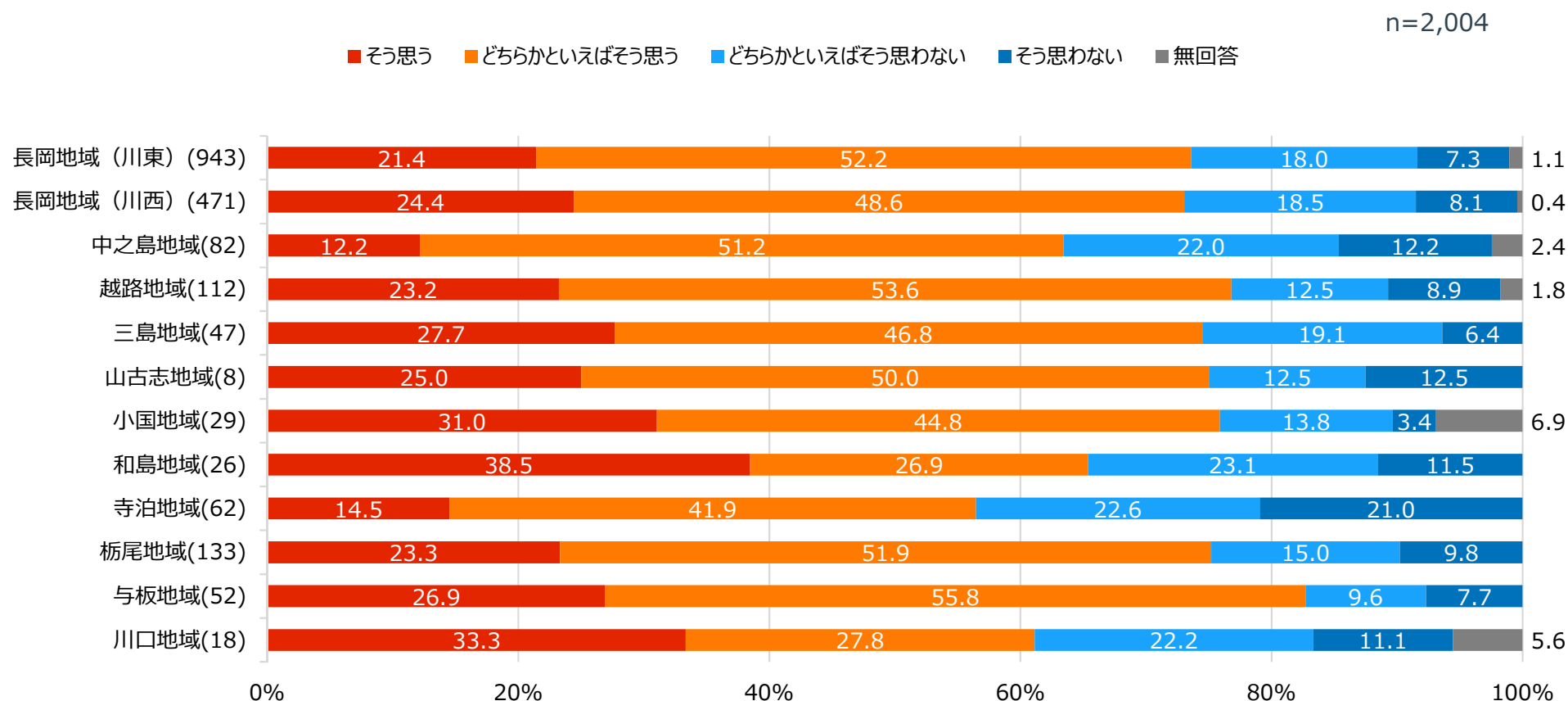
n=2,004



地域への愛着（居住地域別）

- ・ 地域（町内）への愛着を感じているかを居住地域別に伺った。
- ・ その結果、与板地域において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した方が合わせて82.7%と最も多かった。

■居住地域別 地域（町内）への愛着



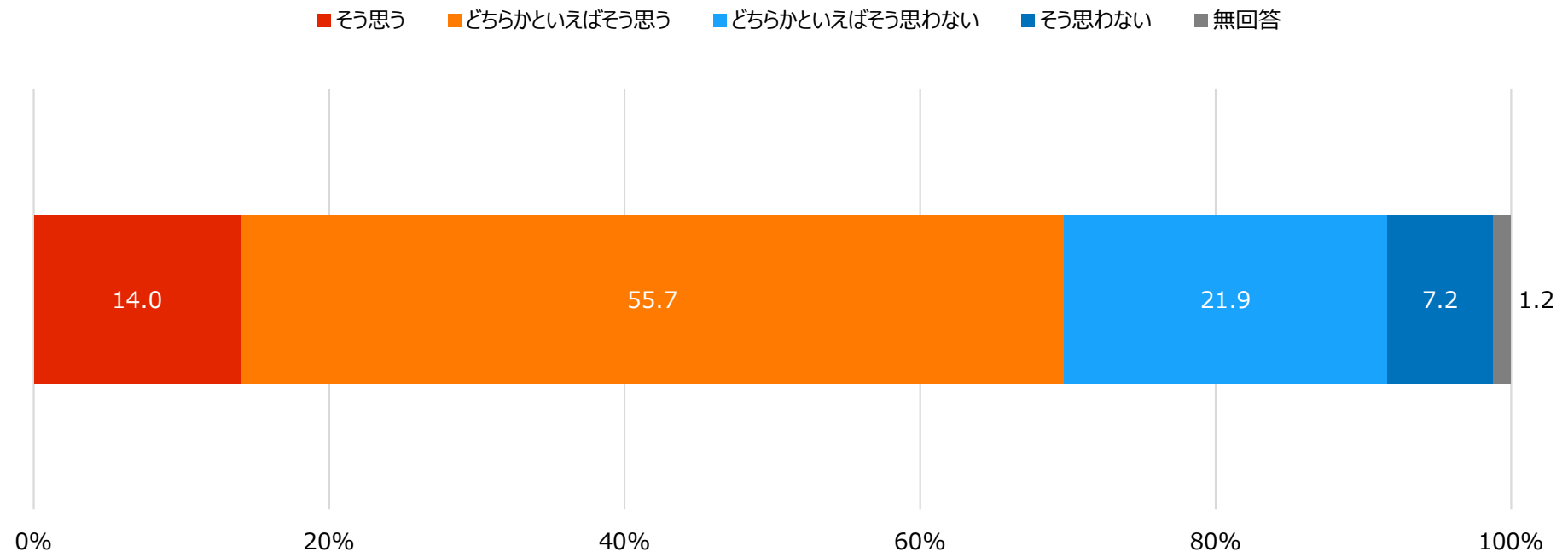
子育て・見守りの状況

- 自分の住む地域について、地域みんなでの子育てや児童の見守りが行われていると感じるか質問した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が69.7%と、過半数以上が子育て・教育環境に前向きな印象を持っていることが分かった。

■ 子育て・教育環境

あなたは、自分の住む地域について、地域みんなでの子育てや児童の見守りが行われていると感じますか。（択一選択）

n=2,004



4-3

福祉や健康などについて

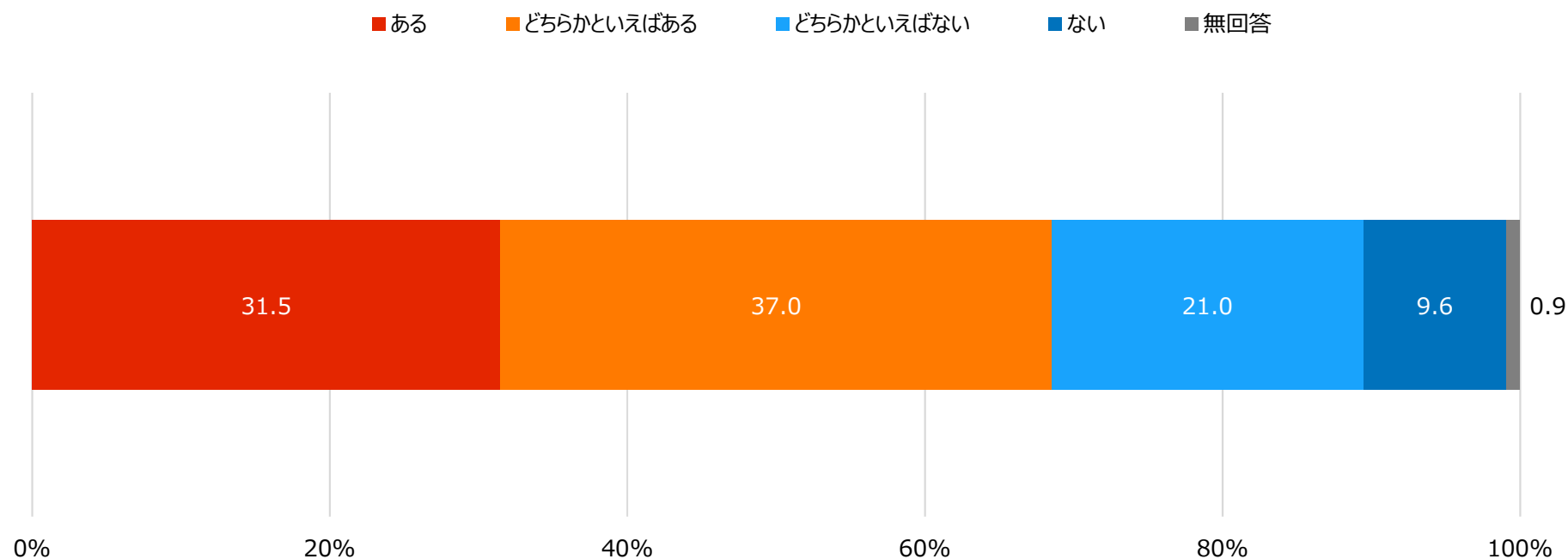
経済的な不安

- 現在、経済的な不安があるか質問した。
- その結果、「ある」「どちらかといえばある」の合計が68.5%と、過半数以上が経済的な不安を感じている結果となった。

■ 経済的な不安

あなたは現在、経済的な不安がありますか。（択一選択）

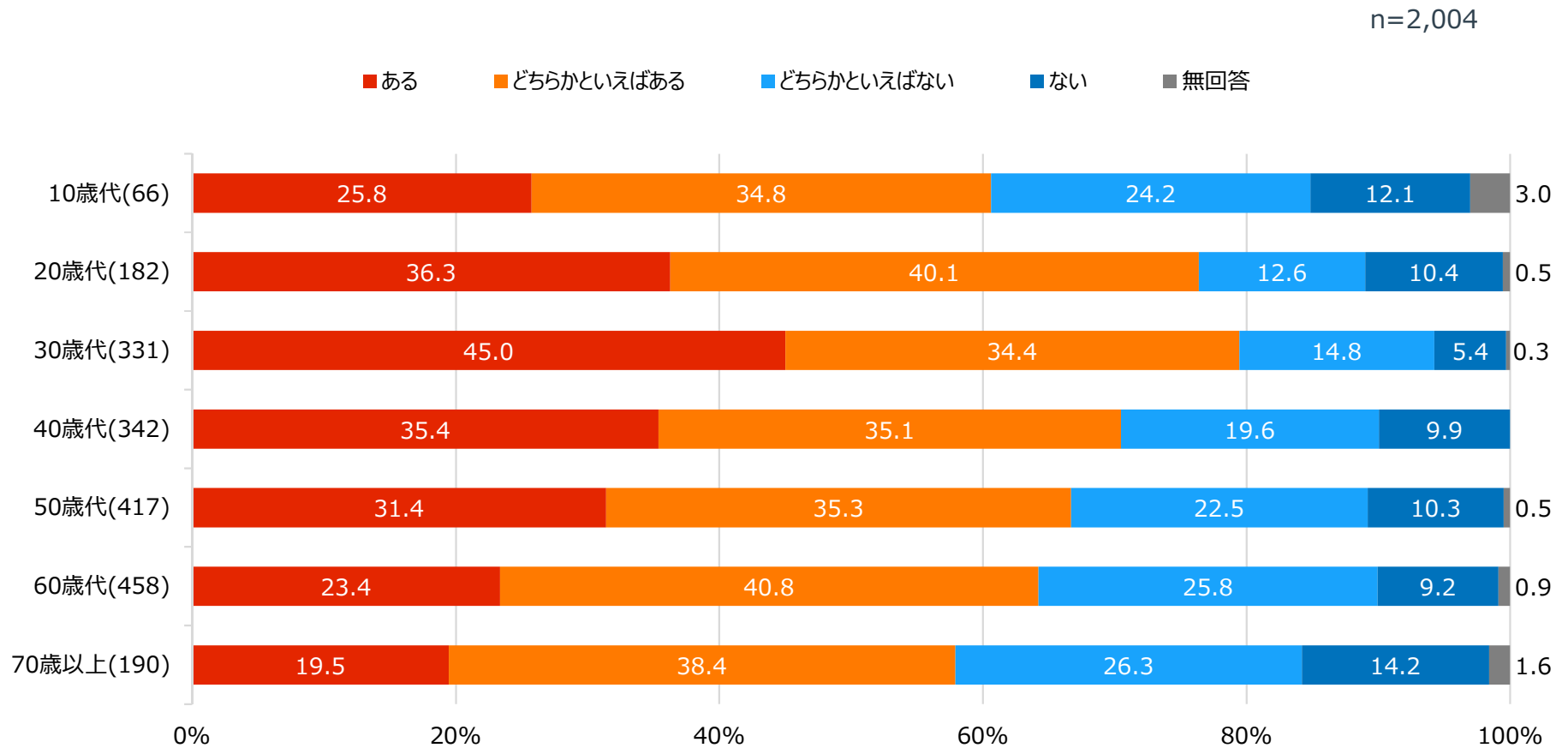
n=2,004



経済的な不安（年代別）

- 現在、経済的な不安があるかの回答について年代別に確認した。
- その結果、どの年代でも「ある」「どちらかといえばある」の合計が過半数を超える結果となった。「ある」「どちらかといえばある」の合計が最も高かったのは30歳代で、79.4%だった。

■年代別 経済的な不安

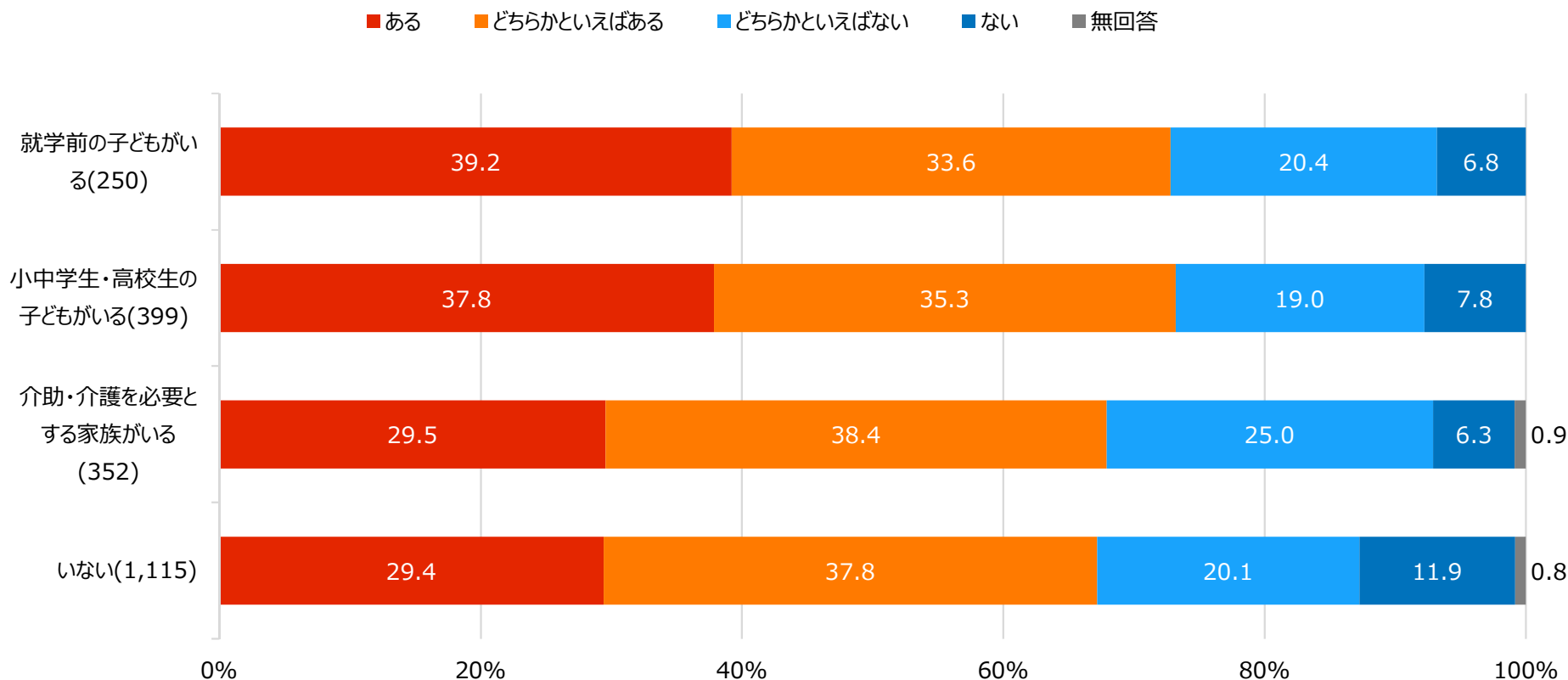


経済的な不安（子育て・介護が必要な家族の有無別）

- ・ 現在、経済的な不安があるかの回答について、子育て・介護が必要な家族の有無別に確認した。
- ・ その結果、就学前の子どもがいる、小中学生・高校生の子どもがいる世帯の「ある」「どちらかといえばある」の割合は、介助・介護を必要とする家族がいる世帯、いない世帯よりやや高い結果となった。

■ 子育て・介護が必要な家族の有無別 経済的な不安

n=2,004



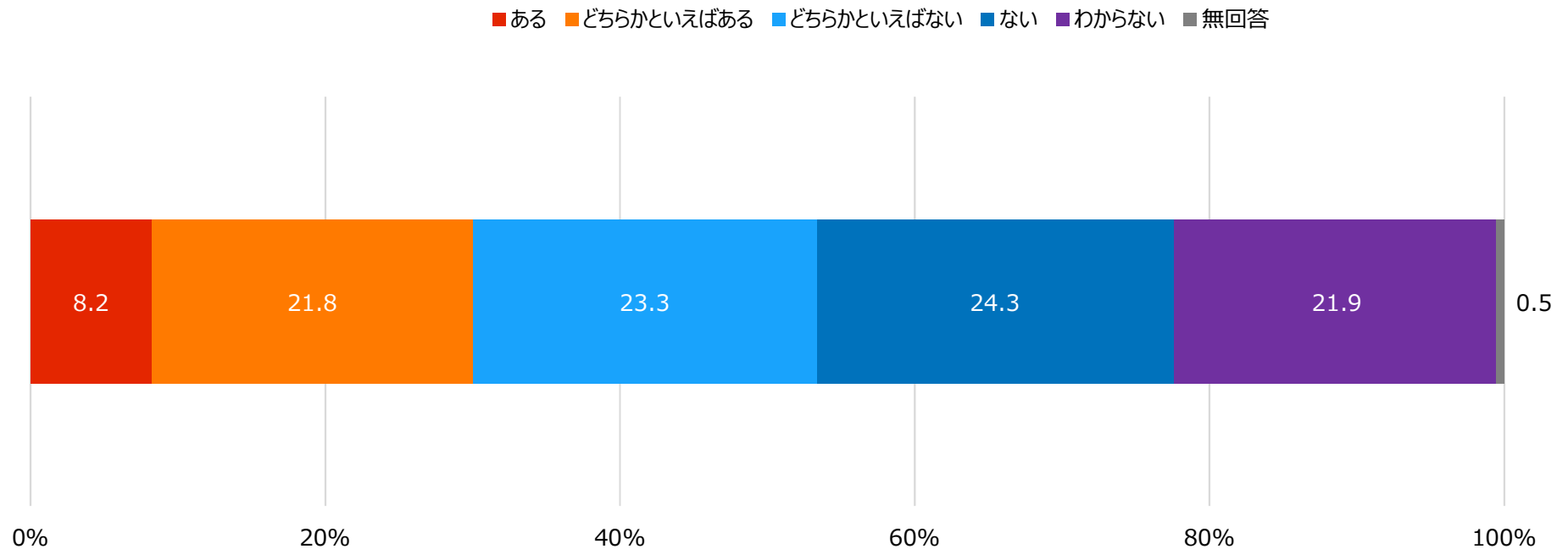
助け合える関係性があるか

- 生活で困ったことがあった際に気軽に相談できる場所や機関があるかについて質問した。
- その結果、「ない」「どちらかといえばない」の合計が47.6%と「ある」「どちらかといえばある」の合計が30%を上回る結果となった。

■ 助け合える関係性があるか

あなたは、生活で困ったことがあった際に気軽に相談できる場所や機関がありますか。（択一選択）

n=2,004

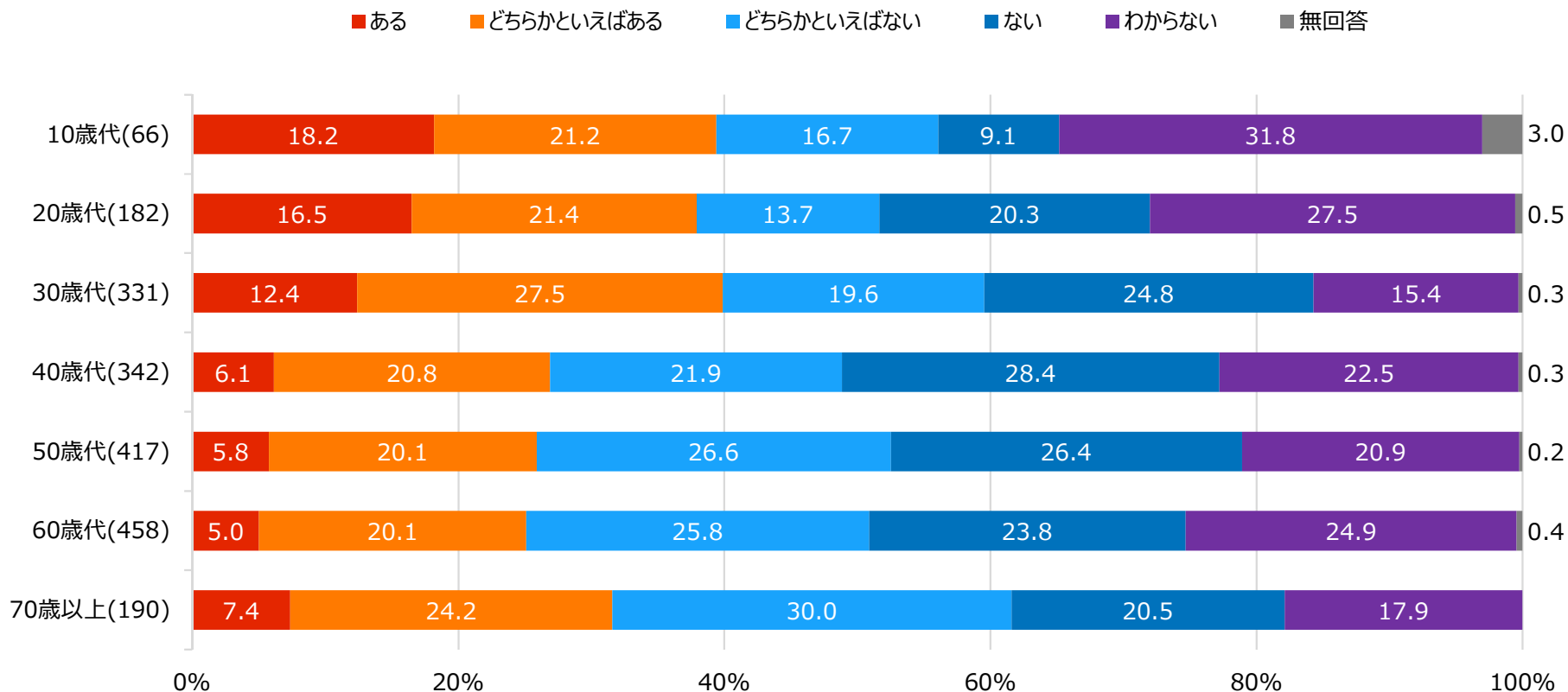


助け合える関係性があるか（年代別）

- 生活で困ったことがあった際の相談場所や機関があるかの回答について、年代別に確認した。
- その結果、「ある」「どちらかといえばある」の合計が「ない」「どちらかといえばない」の合計を上回ったのは10歳代と20歳代のみで、30歳代以上では、「ない」「どちらかといえばない」の合計が「ある」「どちらかといえばある」の合計を上回る結果となった。

■年代別 助け合える関係性があるか

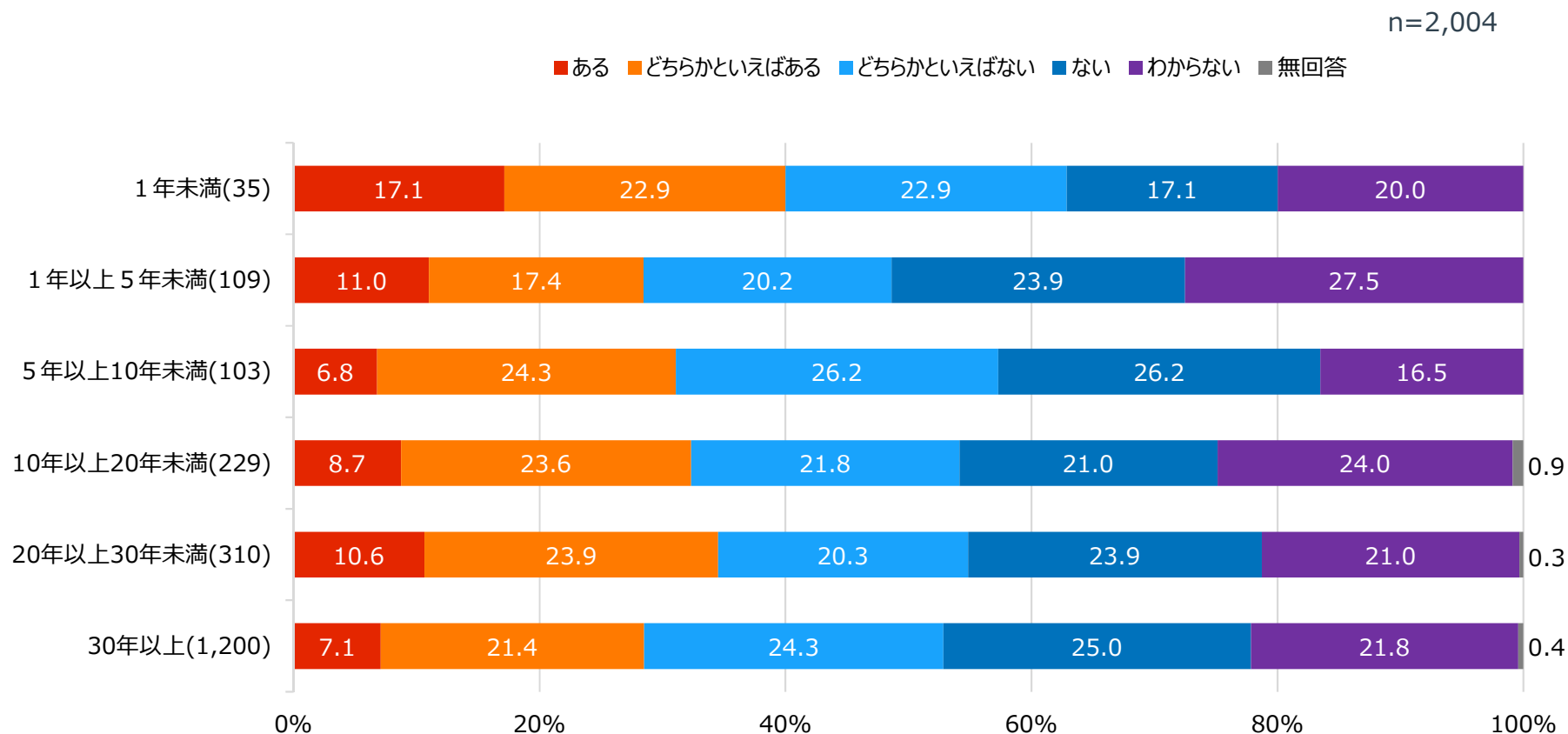
n=2,004



助け合える関係性があるか（居住年数別）

- 生活で困ったことがあった際の相談場所や機関があるかの回答について、居住年数別に確認した。
- その結果、世代ごとに「ある」「どちらかといえばある」の合計と「ない」「どちらかといえばない」の合計が同じだったのは1年未満の在住者のみで、1年以上の在住者は「ない」「どちらかといえばない」の合計が「ある」「どちらかといえばある」の合計を上回っている。

■ 居住年数別 助け合える関係性があるか

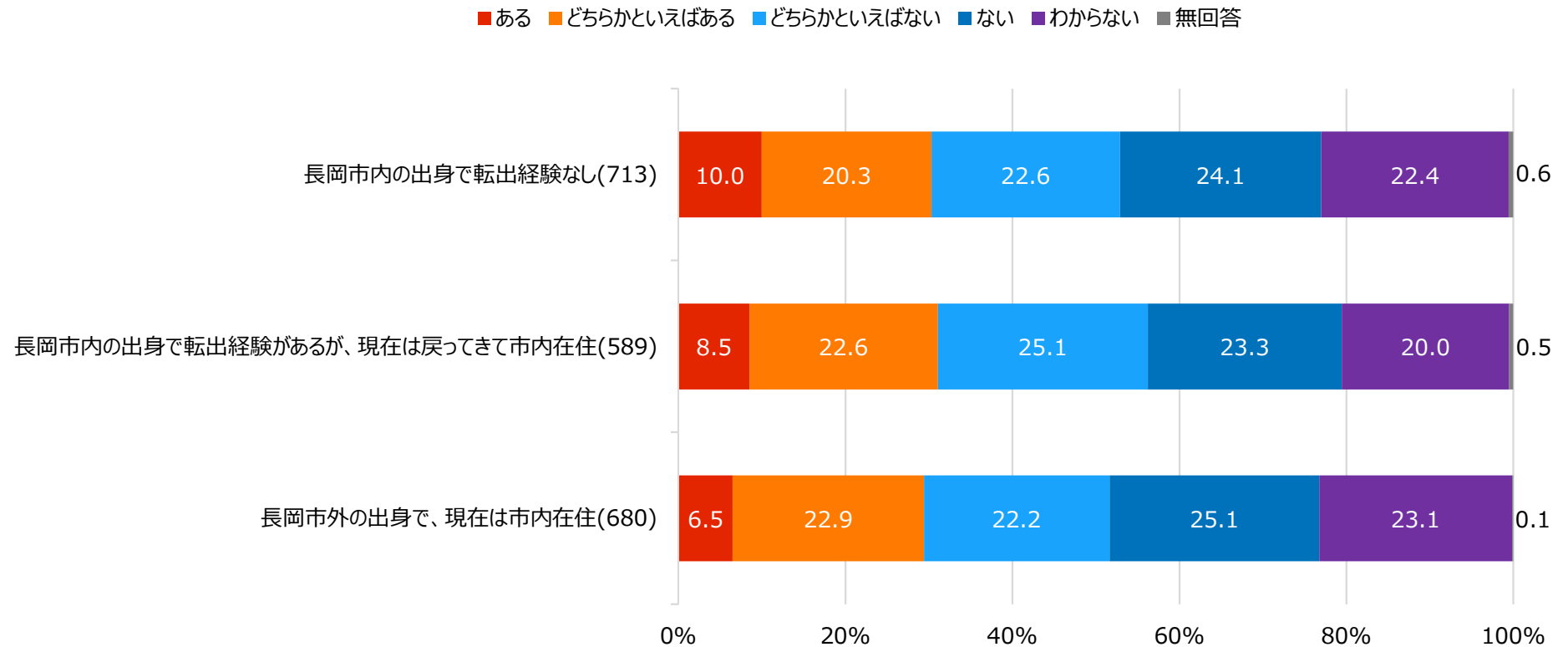


助け合える関係性があるか（転居経験別）

- 生活で困ったことがあった際の相談場所や機関があるかの回答について、転居経験別に確認した。
- その結果、転居経験に関係なく、「ない」「どちらかといえばないの合計が「ある」「どちらかといえばある」の合計を上回る結果となった。

■ 転居経験別 助け合える関係性があるか

n=2,004



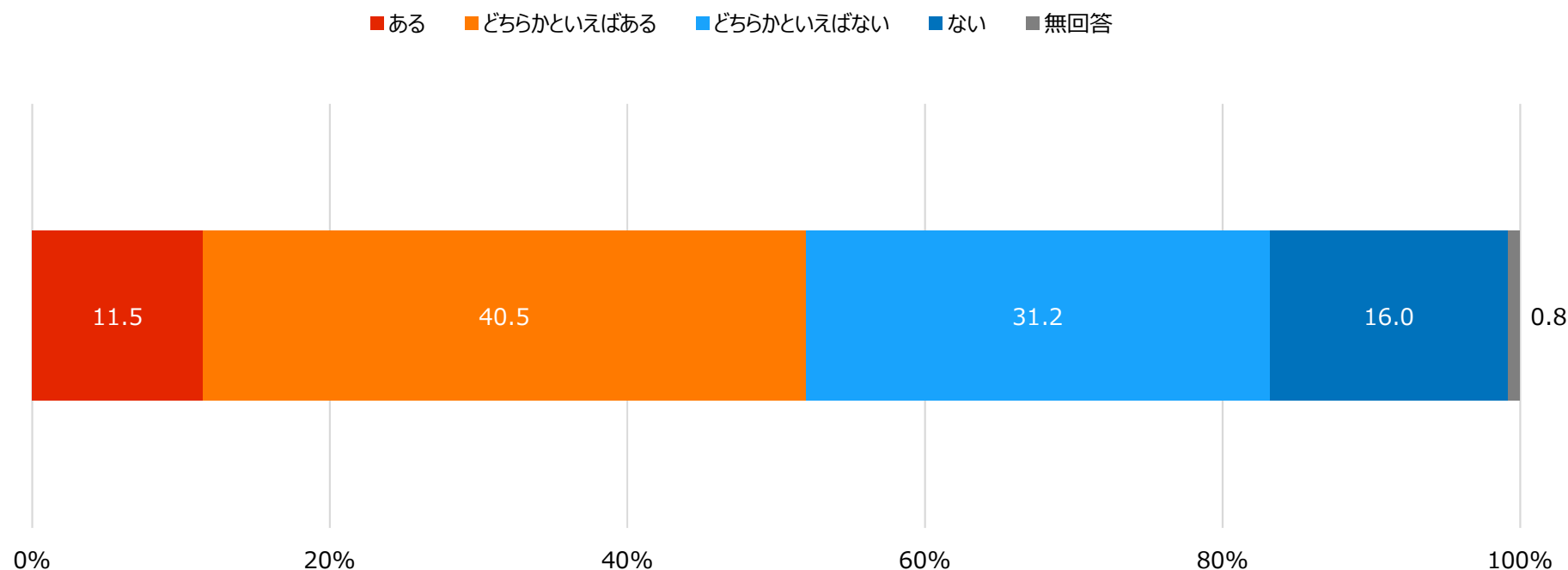
地域でのボランティア活動への協力・参加への関心

- 地域での助け合いやボランティア活動への協力・参加に関心があるかについて質問した。
- その結果、「ある」「どちらかといえばある」の合計が52.0%、「ない」「どちらかといえばない」の合計が47.2%と大きな差異は見られなかった。

■ 地域でのボランティア活動への協力・参加への関心

あなたは、地域での助け合いやボランティア活動への協力・参加などに関心がありますか。（択一選択）

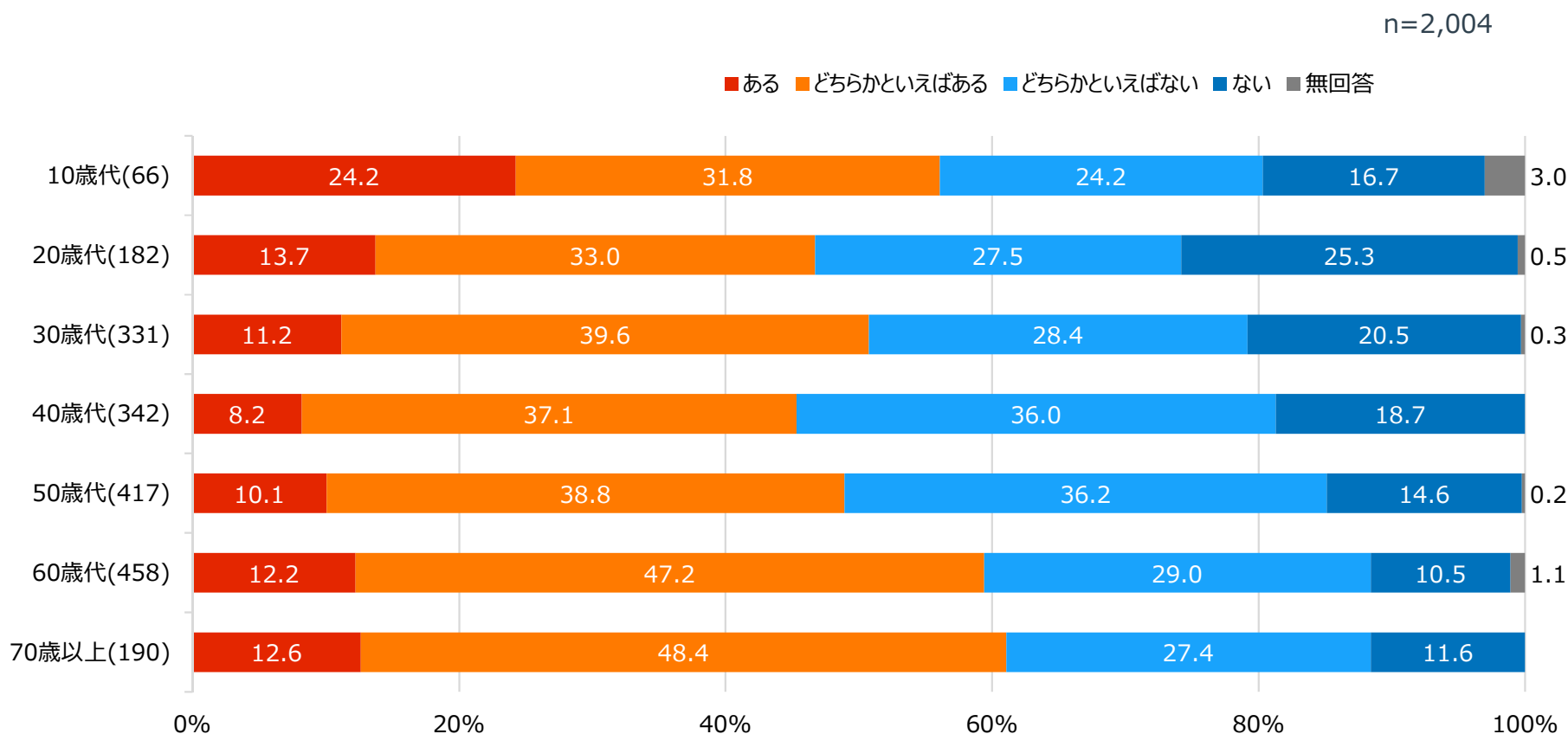
n=2,004



地域でのボランティア活動への協力・参加への関心（年代別）

- 地域での助け合いやボランティア活動への協力・参加に関心があるかの回答について、年代別に確認した。
- その結果、「ある」「どちらかといえばある」の回答については、70歳以上、60歳代以上、10歳代の順に多い結果となった。一方、「ない」「どちらかといえばない」の回答については、40歳代、20歳代、50歳代の順に多い結果となった。

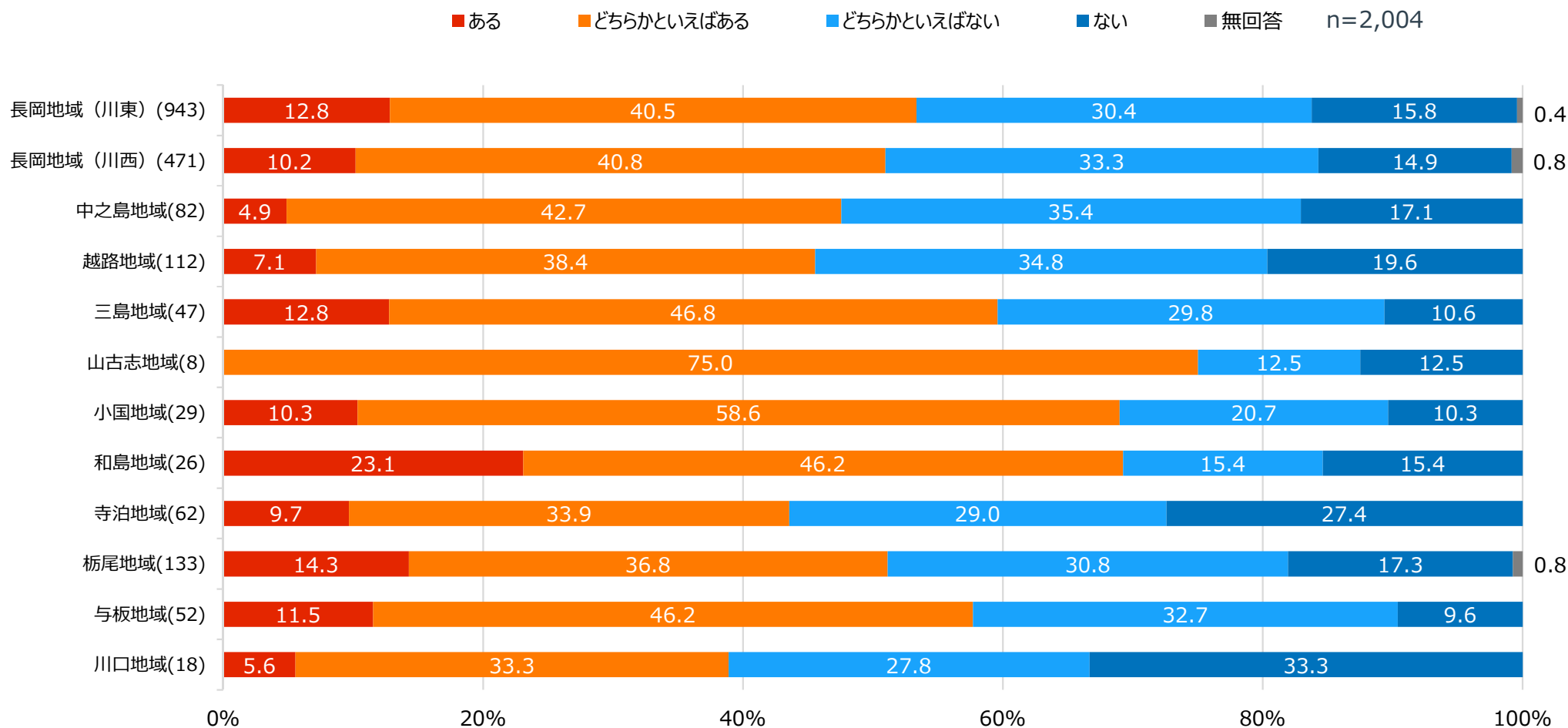
■年代別 地域でのボランティア活動への協力・参加への関心



地域でのボランティア活動への協力・参加への関心（居住地域別）

- 地域での助け合いやボランティア活動への協力・参加に関心があるかの回答について、居住地域別に確認した。
- その結果、「ある」「どちらかといえばある」の合計は、山古志地域、和島地域、小国地域の順に高かった。一方、「ない」「どちらかといえはない」の合計は、川口地域、寺泊地域、越路地域の順に高かった。

■ 居住地域別 地域でのボランティア活動への協力・参加への関心



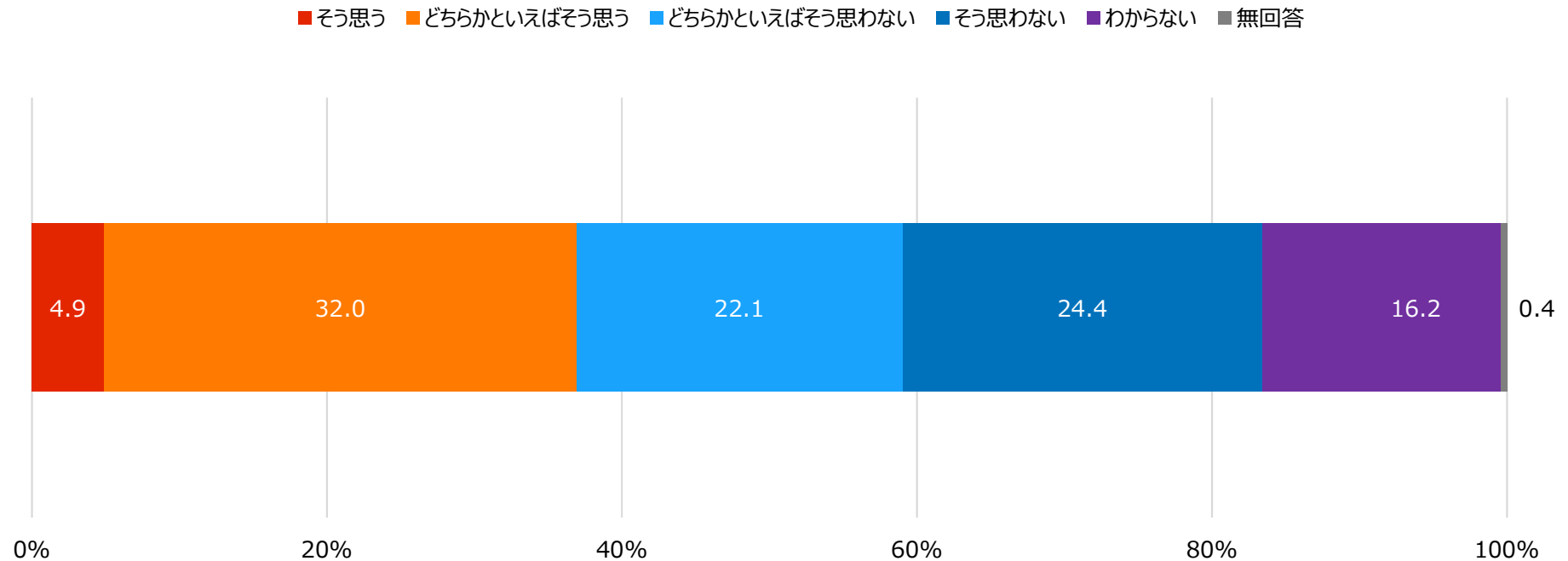
居住地域で高齢になっても安心して生活し続けられるか

- ・ 現在住んでいる地域で高齢になっても安心して生活し続けられるかについて質問した。
- ・ その結果、「ない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が46.5%、「ある」「どちらかといえばそう思う」の合計が36.9%を若干上回り、少し不安や懸念があることが見受けられた。

■ 居住地域で高齢になっても安心して生活し続けられるか

あなたは、今お住いの住居、地域において、高齢になっても安心して生活し続けられると思いますか。（択一選択）

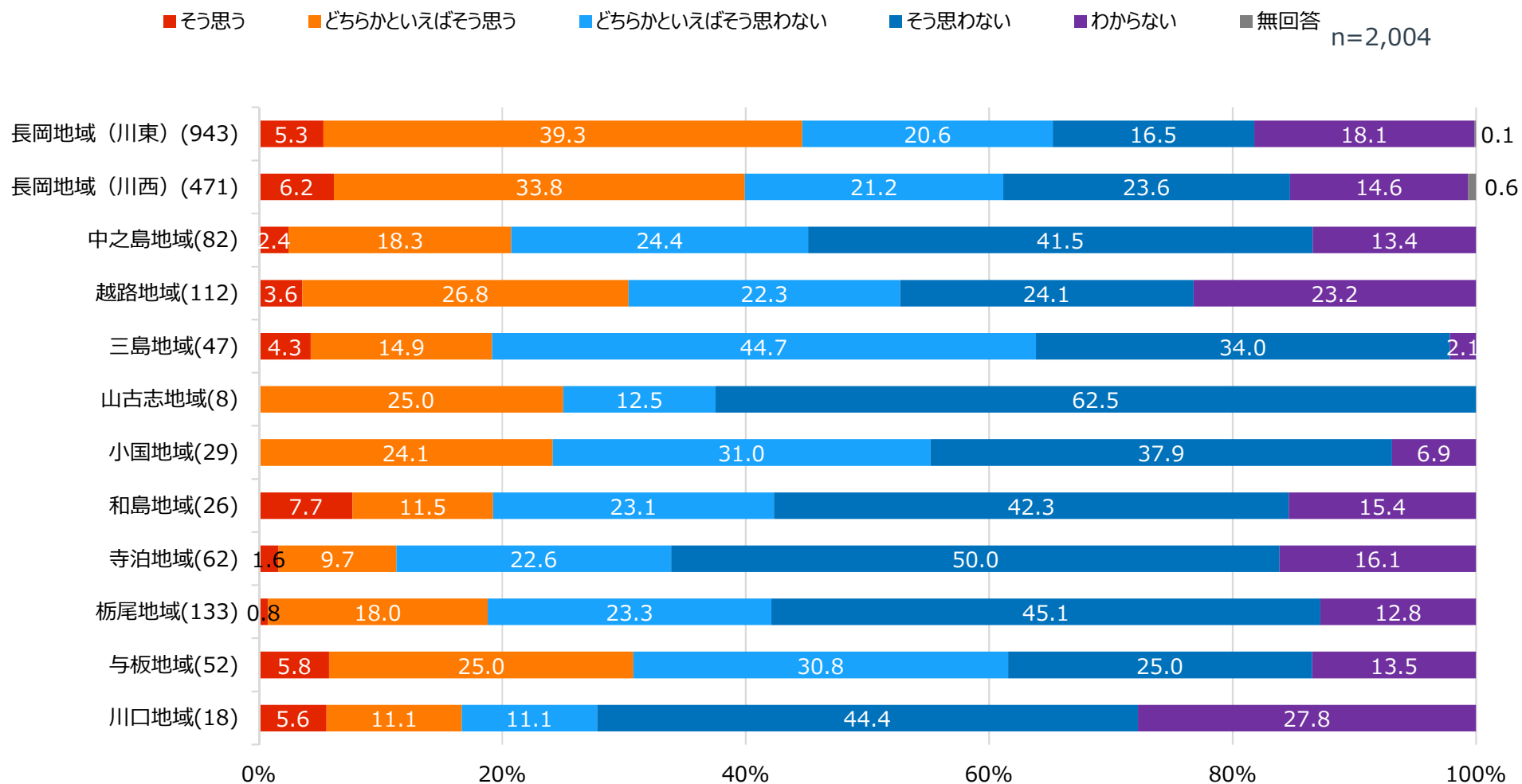
n=2,004



居住地域で高齢になっても安心して生活し続けられるか（居住地域別）

- ・ 現在住んでいる地域で高齢になっても安心して生活し続けられるかについて、居住地域別に確認した。
- ・ その結果、長岡地域では「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計が最も高かったのは長岡地域（川東）であった。一方、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の合計は、三島地域、山古志地域の順に高かった。

■ 居住地域別 居住地域で高齢になっても安心して生活し続けられるか



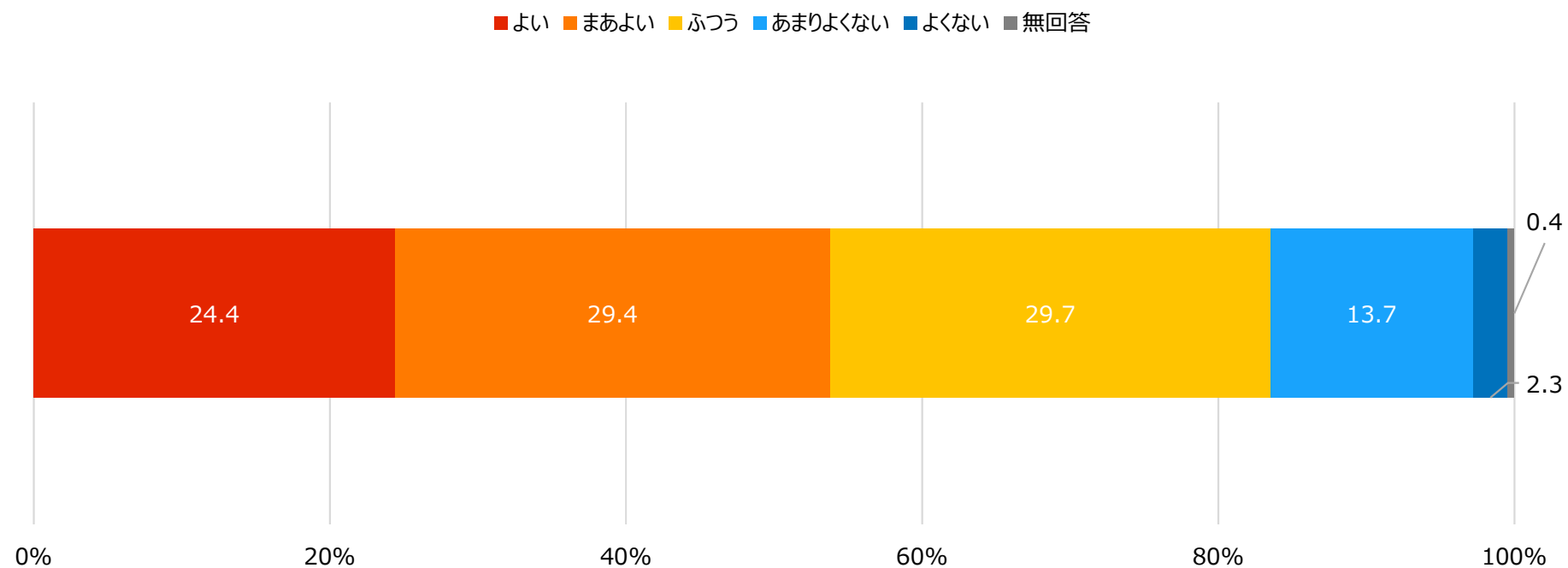
現在の健康状況

- 現在の健康状況について質問した。
- その結果、「よい」、「まあよい」、「ふつう」の合計が83.5%であり、比較的健康状態がよいことが分かった。

■ 現在の健康状況

あなたの現在の健康状況はいかがですか。（択一選択）

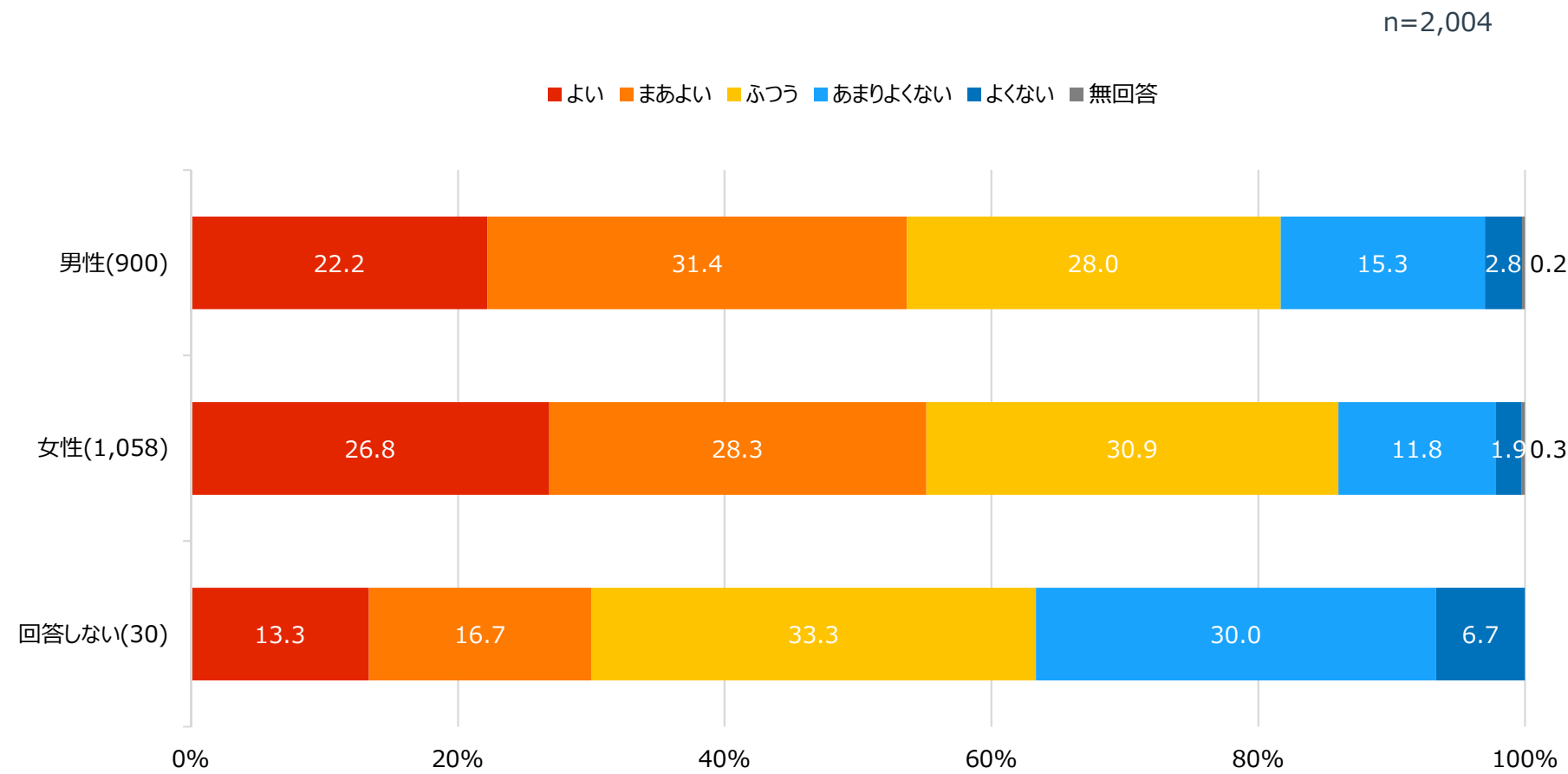
n=2,004



現在の健康状況（性別）

- 現在の健康状況の回答について性別に確認した。
- その結果、男女ともに「よい」「まあよい」の合計が「よくない」「あまりよくない」の合計を上回る結果となった。

■性別 現在の健康状況

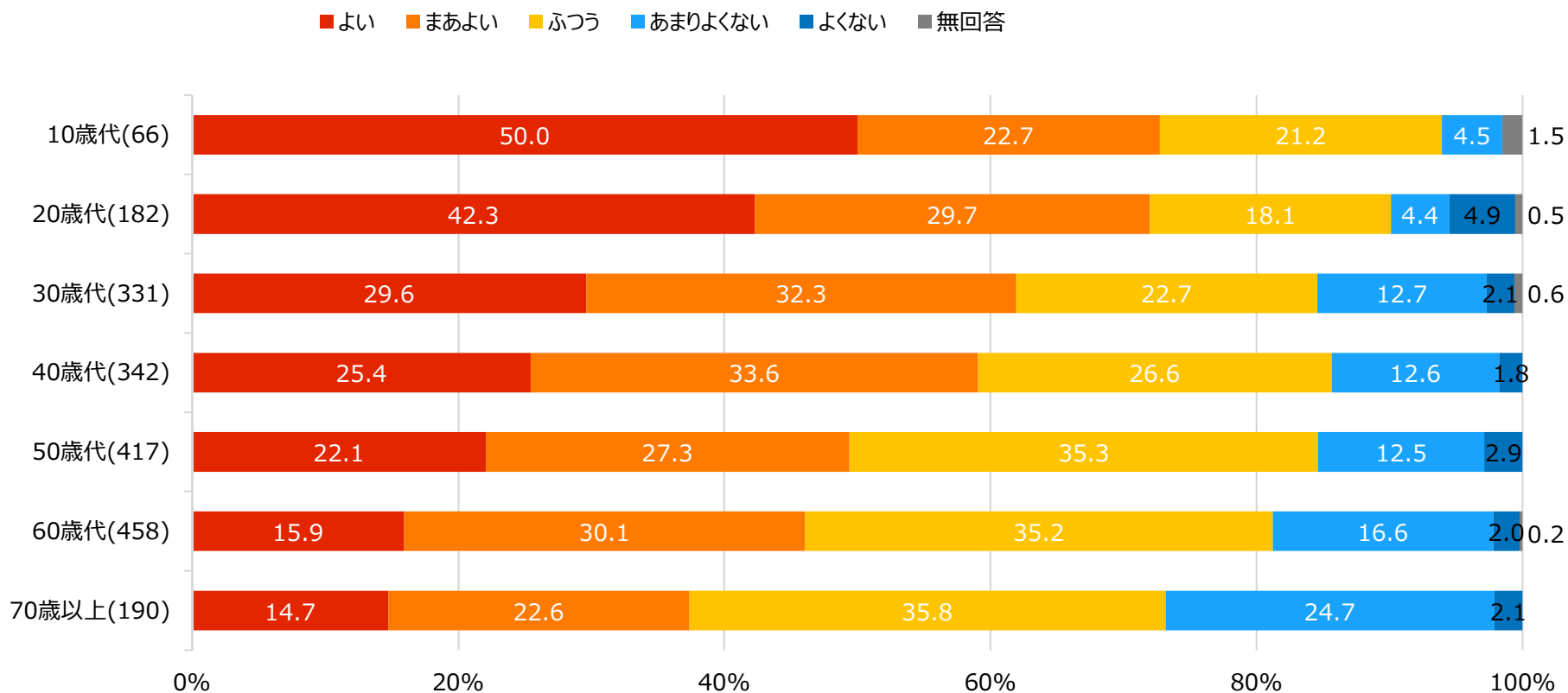


現在の健康状況（年代別）

- 現在の健康状況の回答について年代別に確認した。
- その結果、「よい」「まあよい」の合計は10歳代、20歳代、30歳代の順に多く、年代が上がるにつれて「よくない」「あまりよくない」の割合が高まる結果となった。

■年代別 現在の健康状況

n=2,004



4-4

環境について

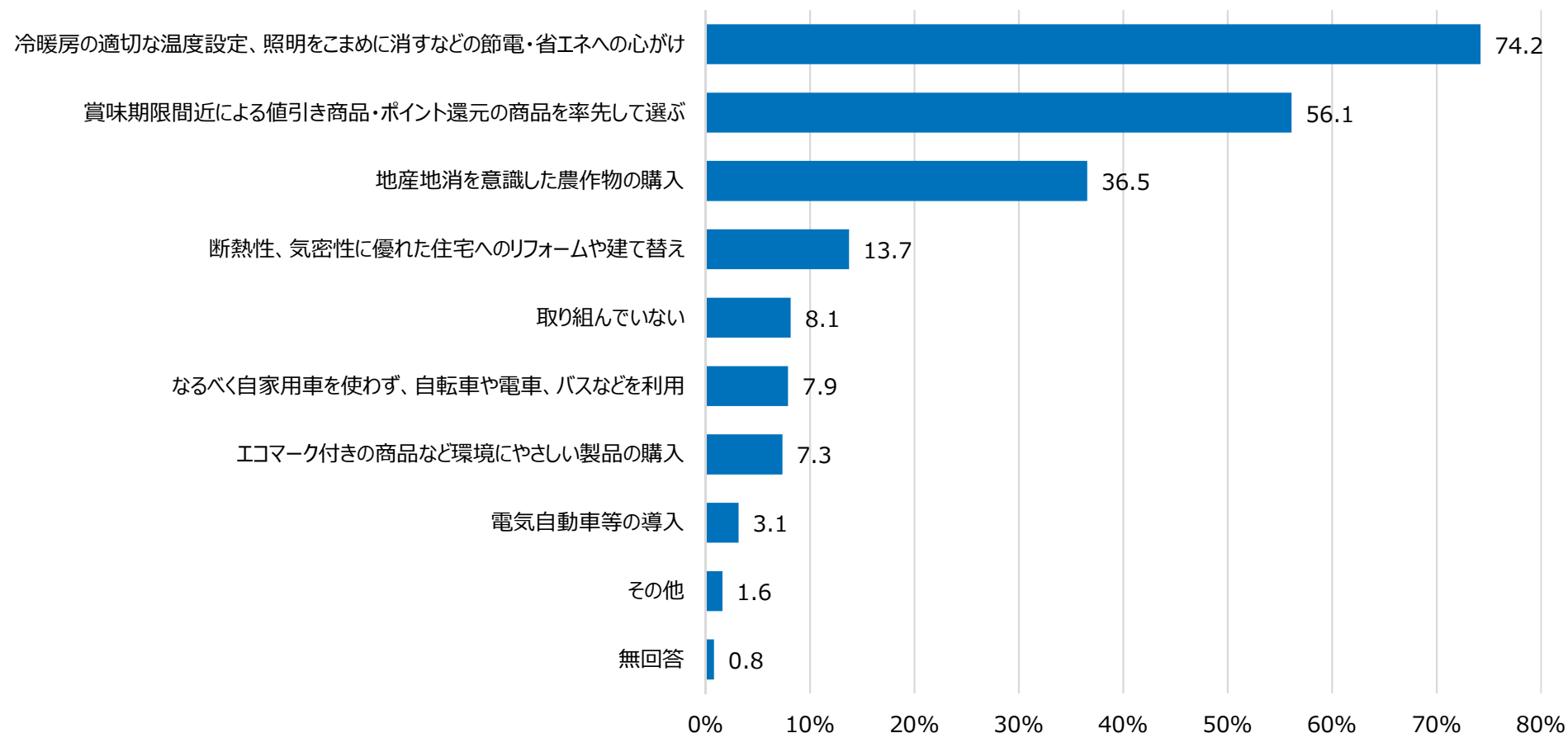
日常生活における脱炭素社会に向けた取組

- 回答者の日常生活における脱炭素社会に向けた取組について、複数回答で質問した。
- その結果、「節電・省エネへの心がけ（74.2%）」、「賞味期限の近い商品やポイント還元のある商品の選択（56.1%）」、「地産地消を意識した農作物の購入（36.5%）」といった取組が上位にあがった。

■ 日常生活における脱炭素社会に向けた取組

日常生活の中における脱炭素社会※に向けた取り組みについて、あなたに当てはまるものを選択してください。（複数選択）

n=2,004



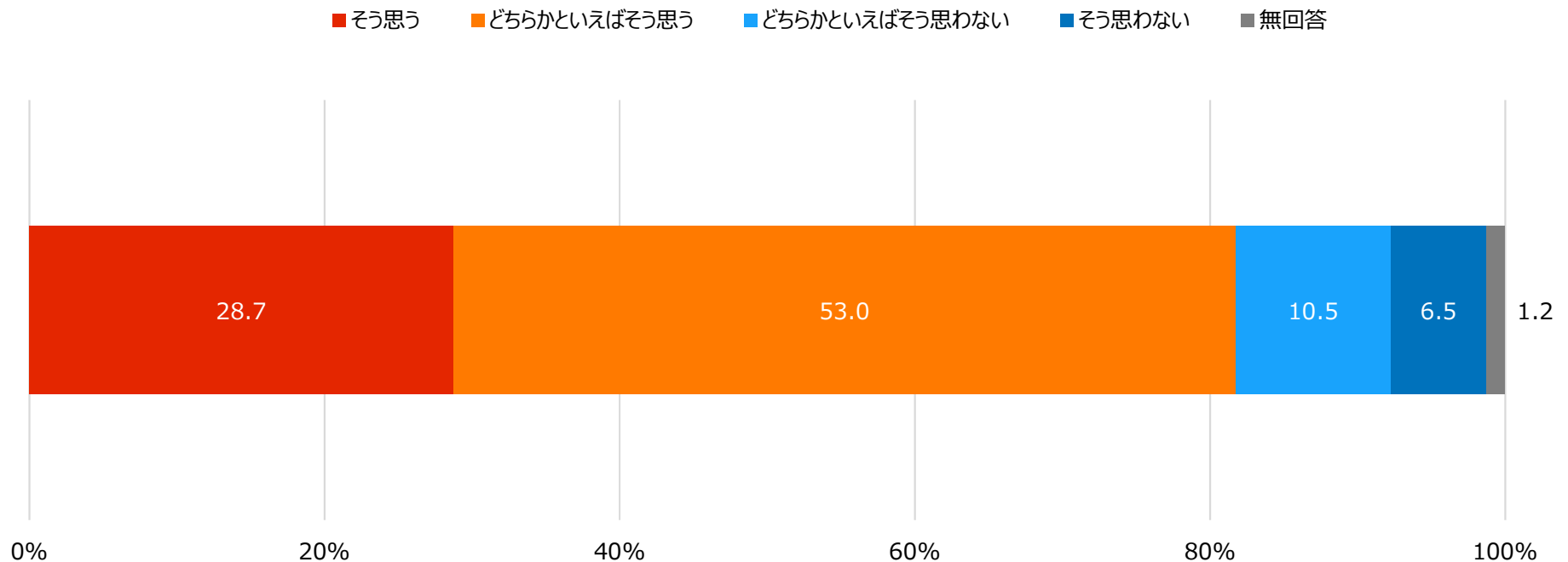
太陽光発電設備を導入したいと思うか

- 太陽光発電設備を導入したいと思うかについて質問した。
- その結果、「ない」「どちらかといえばない」の合計が68.7%で、「そう思う」「そう思わない」の合計27.7%を大きく上回る結果となった。

■ 太陽光発電設備を導入したいと思うか

あなたは、太陽光発電設備を導入したいと思いますか。（択一選択）

n=2,004



4-5

交通や住環境について

市内の高速道路や幹線道路へのアクセス

- 市内において高速道路へのアクセスや、国道や県道及び左岸バイパスなどの幹線道路を使った移動はしやすいと感じているか質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が計81.7%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計17.0%であり、市民の8割以上が移動しやすいと感じていることが分かった。

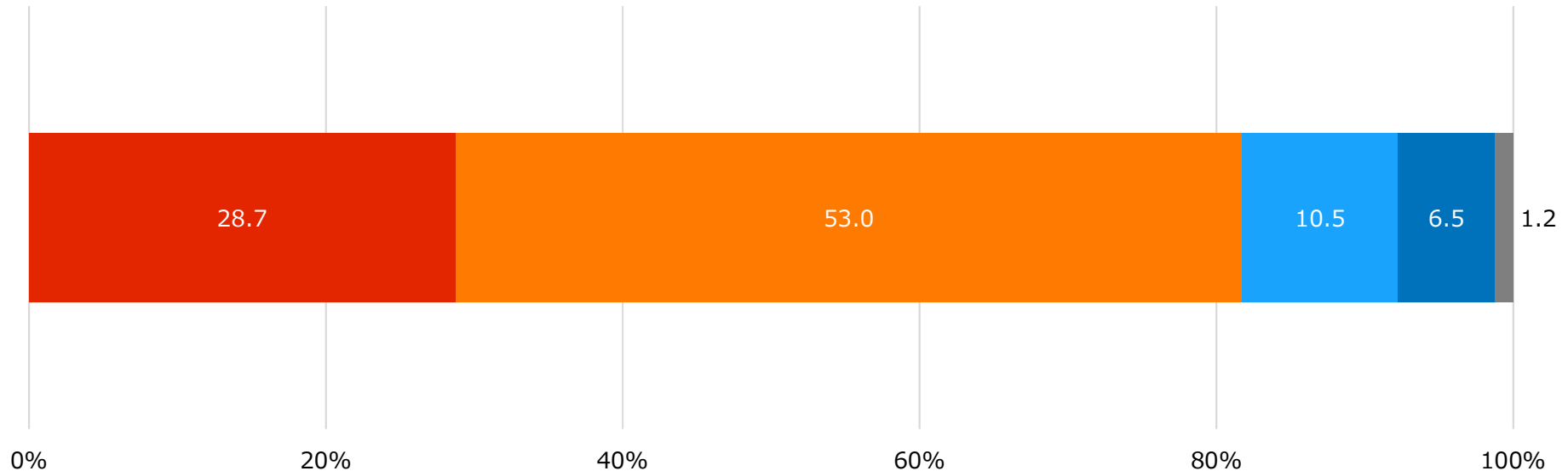
■ 市内の高速道路や幹線道路へのアクセス

あなたは、市内において高速道路へのアクセスや、国道や県道及び左岸バイパスなどの幹線道路を使った移動はしやすいと感じますか。

(択一選択)

n=2,004

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



市内での鉄道やバスなど公共交通による移動

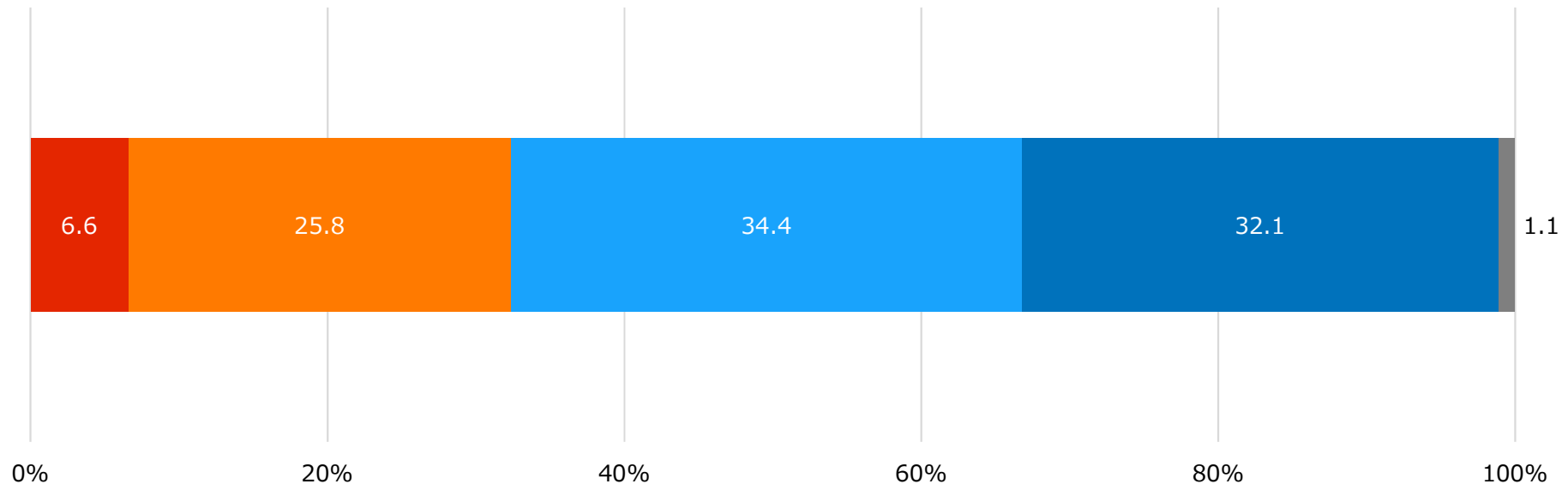
- 市内での鉄道やバスなど公共交通を使った移動はしやすいと感じているか質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が計32.4%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計66.5%であり、市民の6割以上が移動し難いと感じていることが分かった。

■ 市内での鉄道やバスなど公共交通による移動

あなたは、市内での鉄道やバスなど公共交通を使った移動はしやすいと感じますか。（択一選択）

n=2,004

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

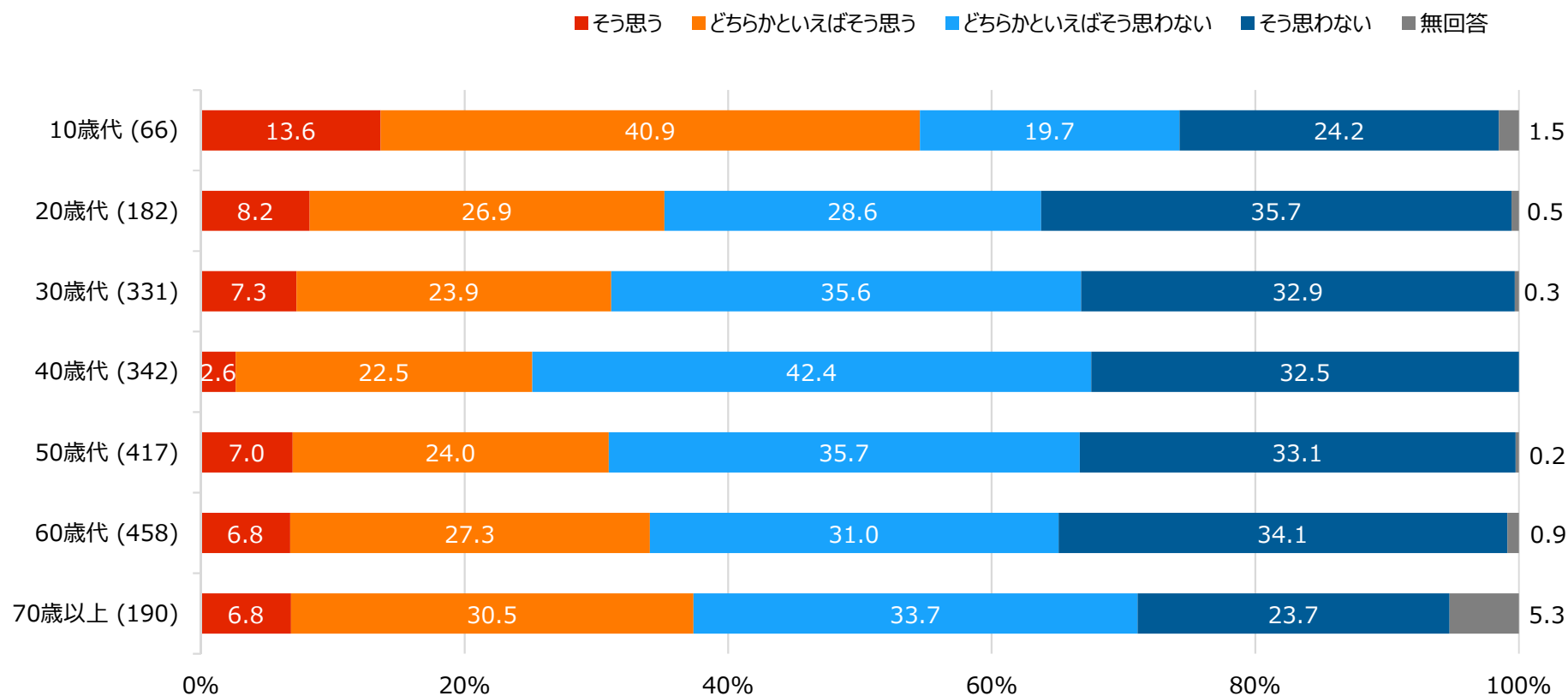


市内での鉄道やバスなど公共交通による移動（年代別）

- 市内での鉄道やバスなど公共交通を使った移動はしやすいと感じているかの回答について年代別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について10歳代が最も高く54.5%であった。一方で、元も低かったのは40歳代で25.1%であった。

■年代別 市内での鉄道やバスなど公共交通による移動

n=2,004



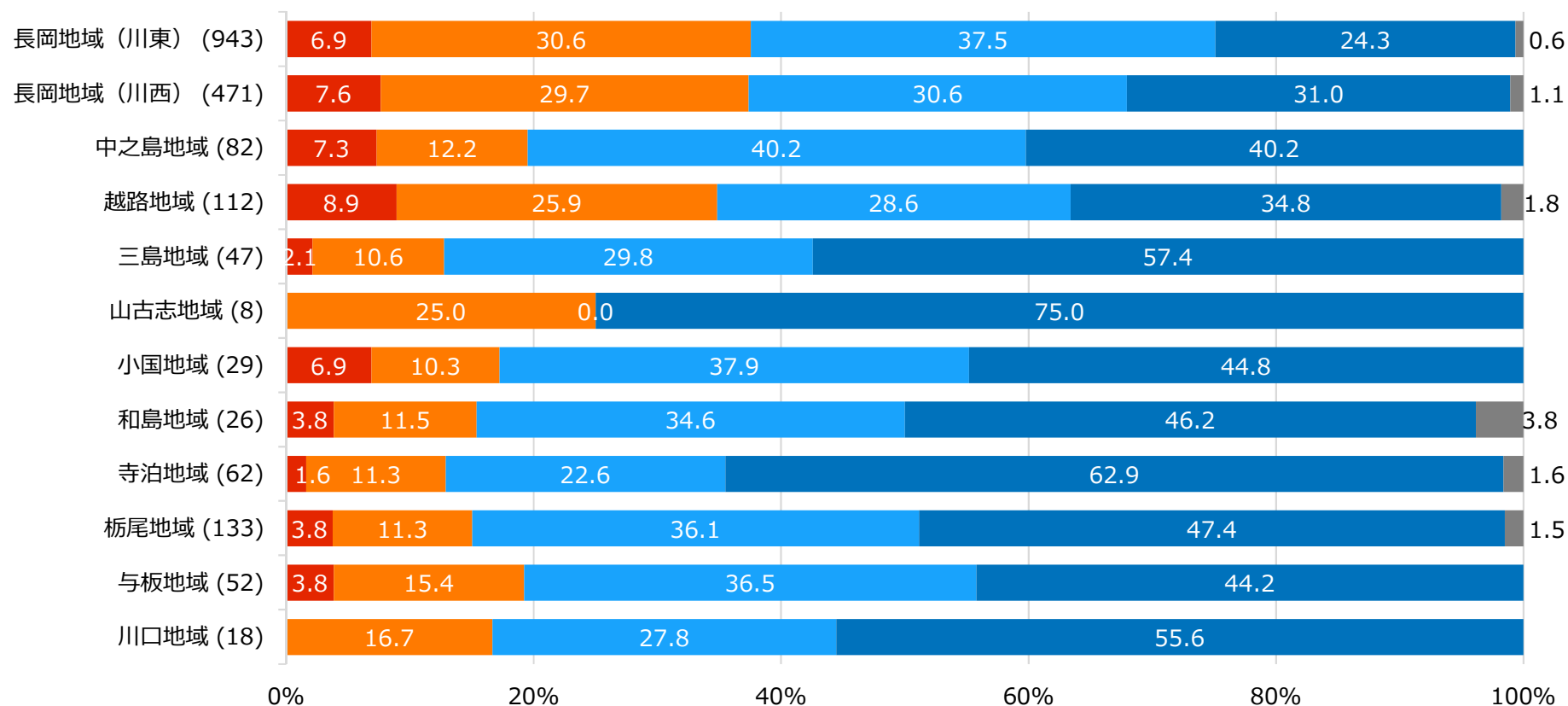
市内での鉄道やバスなど公共交通による移動（居住地域別）

- 市内での鉄道やバスなど公共交通を使った移動はしやすいと感じているかの回答について地域別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について長岡地域（川東、川西）では35%を超えているが、一方で、寺泊地域及び三島地域では15%を下回っており、地域差ごとの差が大きいことが分かった。

■ 居住地域別 市内での鉄道やバスなど公共交通による移動

n=2,004

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



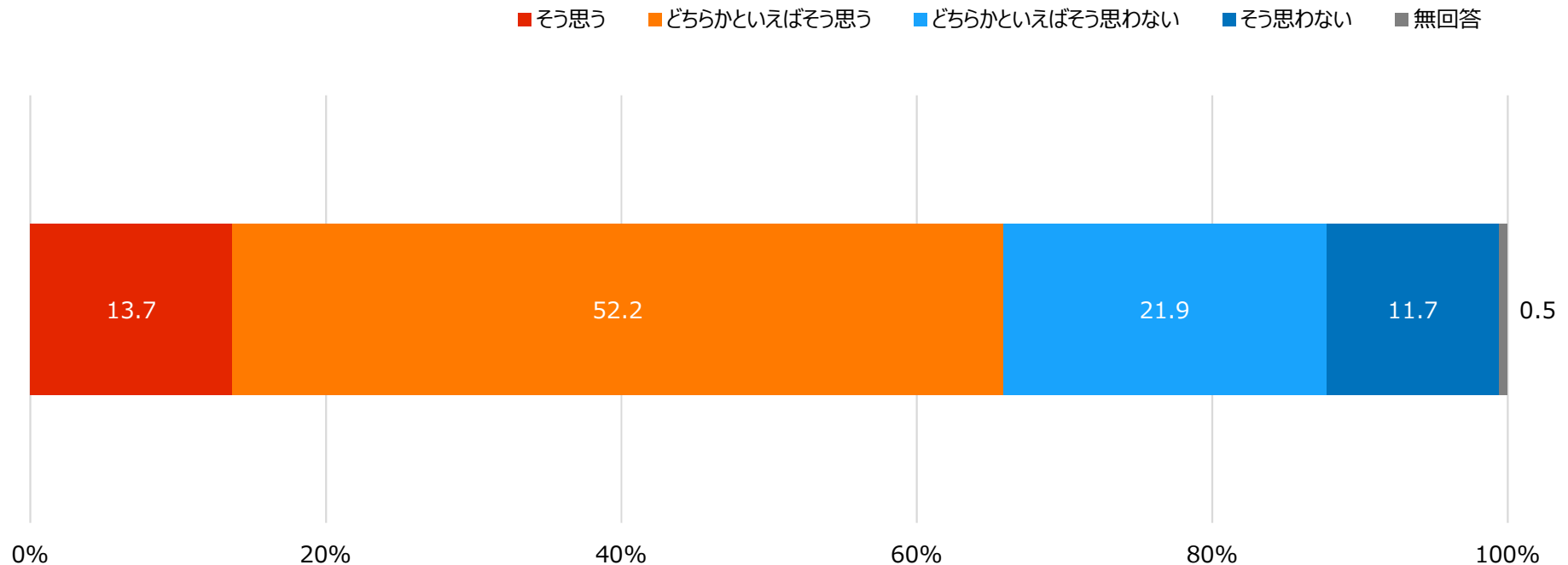
住環境（景観、公園などの周辺環境）の快適性

- あなたの現在の住環境（景観、公園などの周辺環境）は快適だと感じているか質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が計65.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計33.6%であり、市民の6割以上が現在の住環境は快適であると感じていることが分かった。

■ 住環境（景観、公園などの周辺環境）の快適性

あなたの現在の住環境（景観、公園などの周辺環境）は快適だと感じていますか。（択一選択）

n=2,004



4-6

土地の管理について

所有している土地や建物の将来の管理への不安

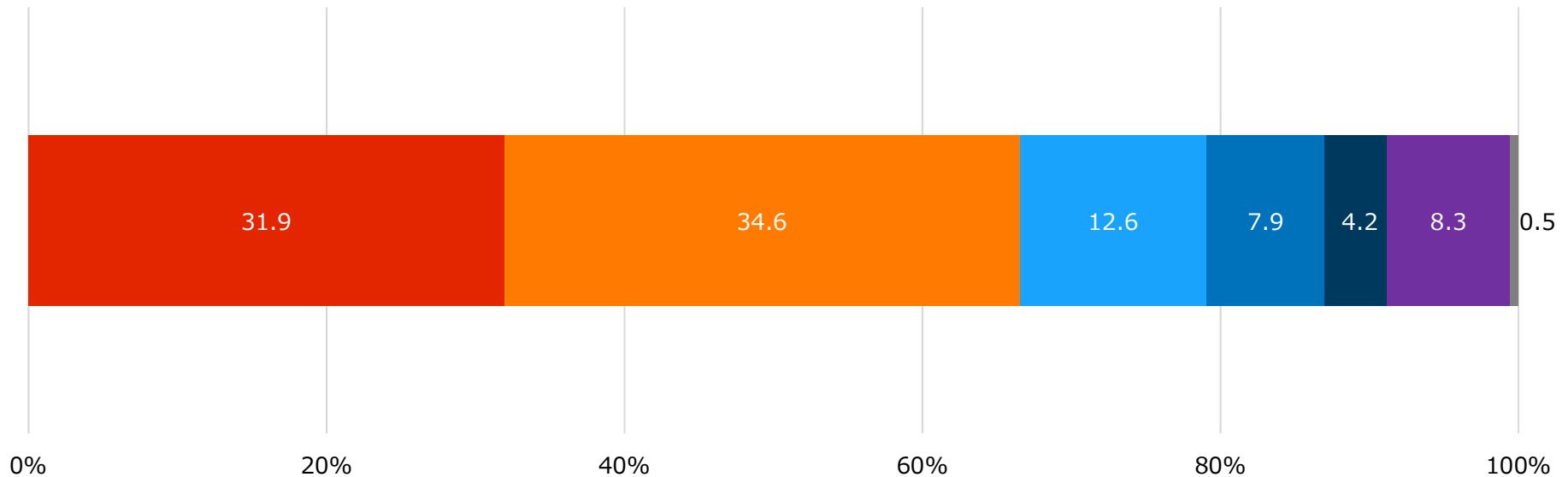
- あなたやあなたの家族が所有している土地や建物について、将来の管理に不安を感じているか質問した。
- 「ある」「どちらかといえばある」が計66.5%、「どちらかといえばない」「ない」が計20.5%であり、市民の6割以上が所有している土地や建物について、将来の管理に不安を感じていることが分かった。

■所有している土地や建物の将来の管理への不安

あなたやあなたの家族が所有している土地や建物について、将来の管理に不安を感じていますか。（択一選択）

n=2,004

■ある ■どちらかといえばある ■どちらかといえばない ■ない ■自分も家族も所有していない ■わからない ■無回答

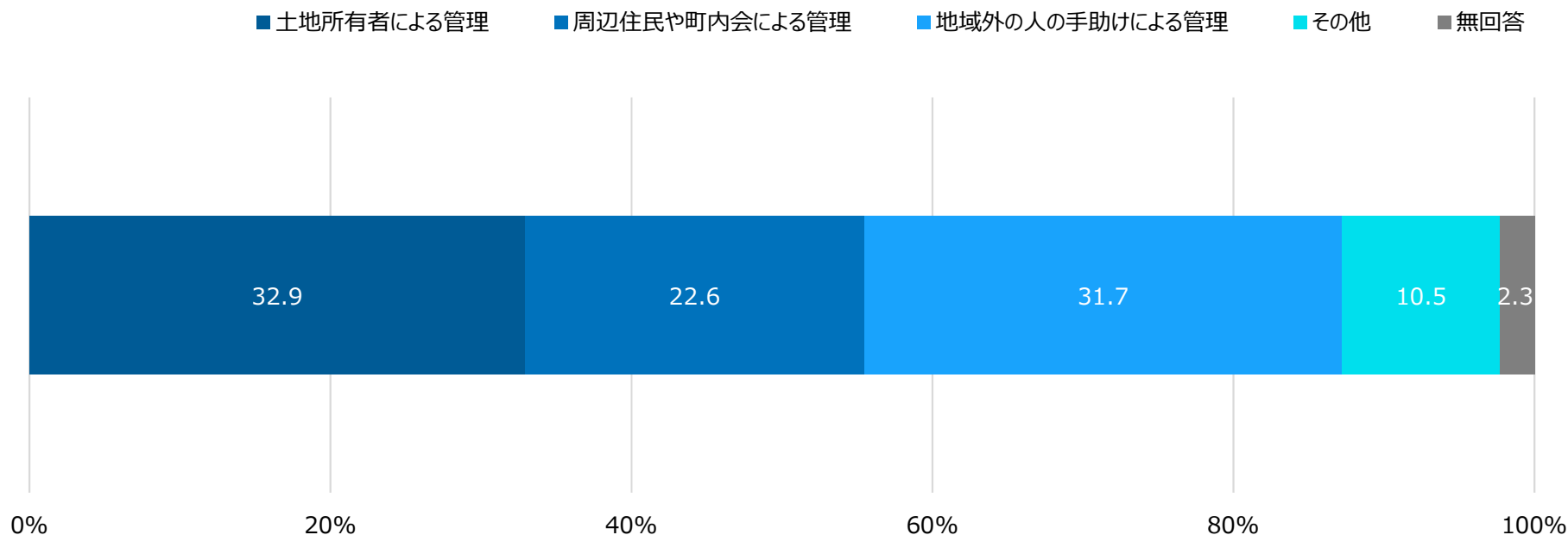


美しい景観や安全・安心な暮らしを守るための土地の管理

- ・ 森林や農地の荒廃を防ぎ、これまでの美しい景観や安全・安心な暮らしを守るためには、土地の管理についてどのような取組みが必要だと考えているか質問した。
- ・ 「土地所有者による管理（32.9%）」、「地域外の人の手助けによる管理（31.7%）」の順で多い結果となった。

■ 美しい景観や安全・安心な暮らしを守るための土地の管理

あなたは、森林や農地の荒廃を防ぎ、これまでの美しい景観や安全・安心な暮らしを守るためには、土地の管理についてどのような取組みが必要だと考えますか。（択一選択）
n=2,004



4-7

行政サービスについて

市民にとって必要な行政サービスや政策

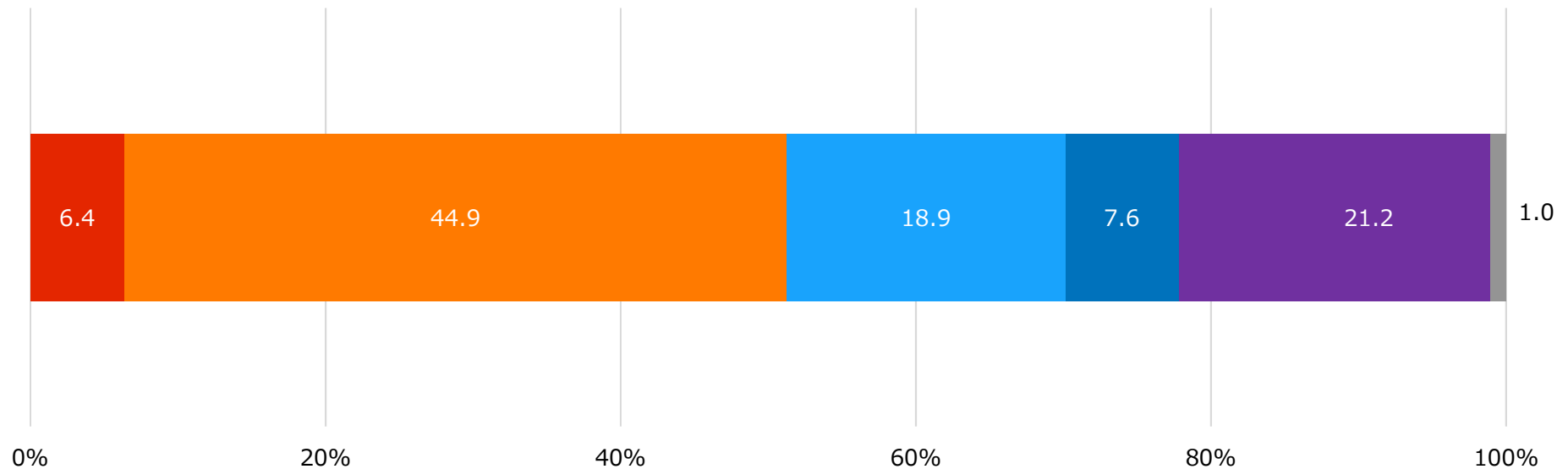
- ・ 長岡市において、市民にとって必要な行政サービスや政策が実施されているか質問した。
- ・ 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が計51.3%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計26.5%であり、市民の半数以上が市民にとって必要な行政サービスや政策が実施されていると感じていることが分かった。

■ 市民にとって必要な行政サービスや政策

長岡市では、市民にとって必要な行政サービスや政策が実施されていると思いますか。（択一選択）

n=2,004

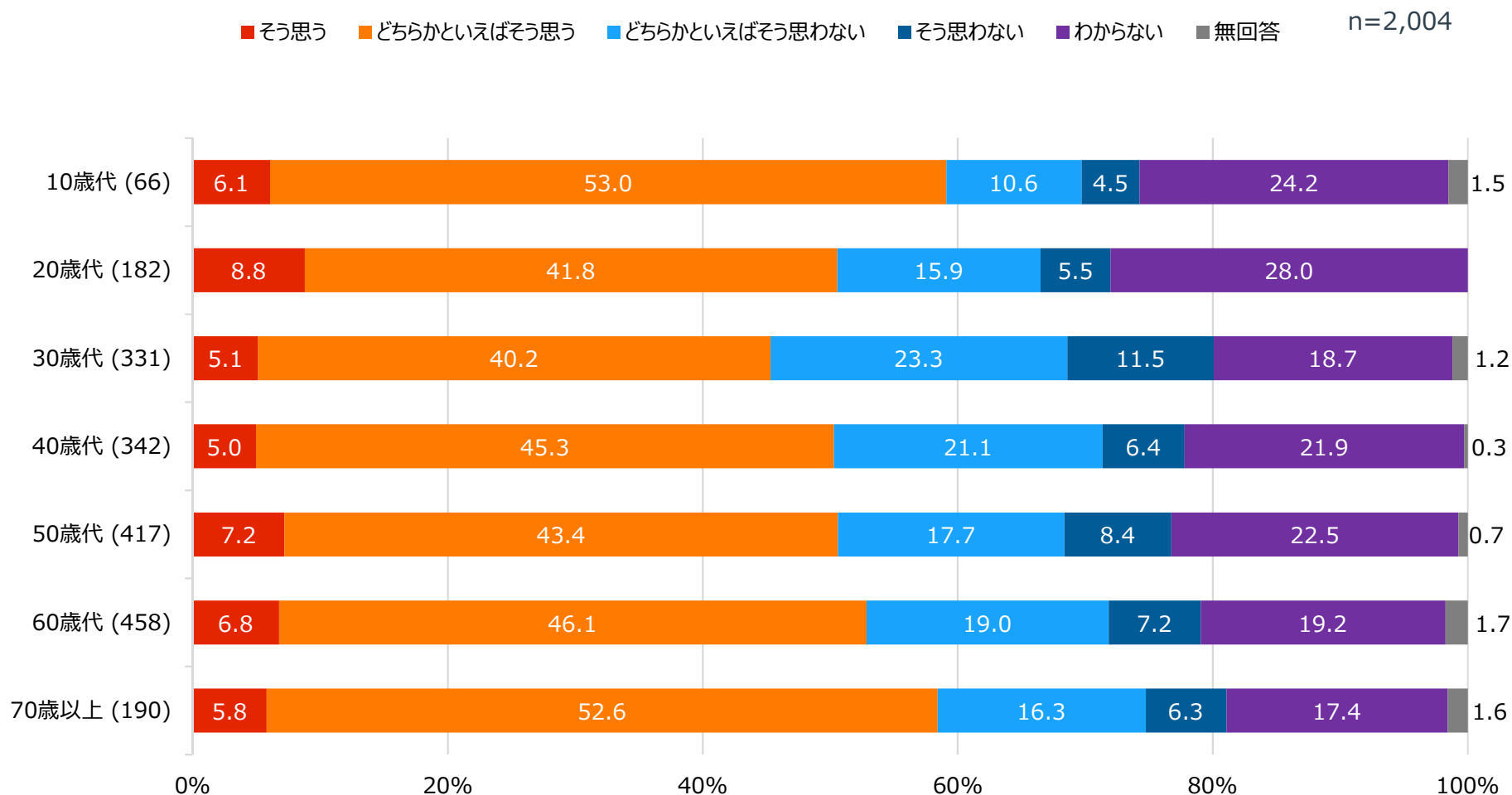
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



市民にとって必要な行政サービスや政策（年代別）

- ・ 長岡市において、市民にとって必要な行政サービスや政策が実施されているかの回答について年代別に確認した。
- ・ その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について10歳代が最も高く59.1%であった。一方で、元も低かったのは30歳代で45.3%であった。

■年代別 市民にとって必要な行政サービスや政策



利便性の高い行政サービスの提供

- 長岡市では、各種手続きのオンライン化やキャッシュレス決済など、利便性の高い行政サービスが提供されていると感じているか質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が計46.9%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計25.9%であり、市民の半数近くが利便性の高い行政サービスが提供されていると感じている一方、26.6%は「分からない」と感じていることが分かった。

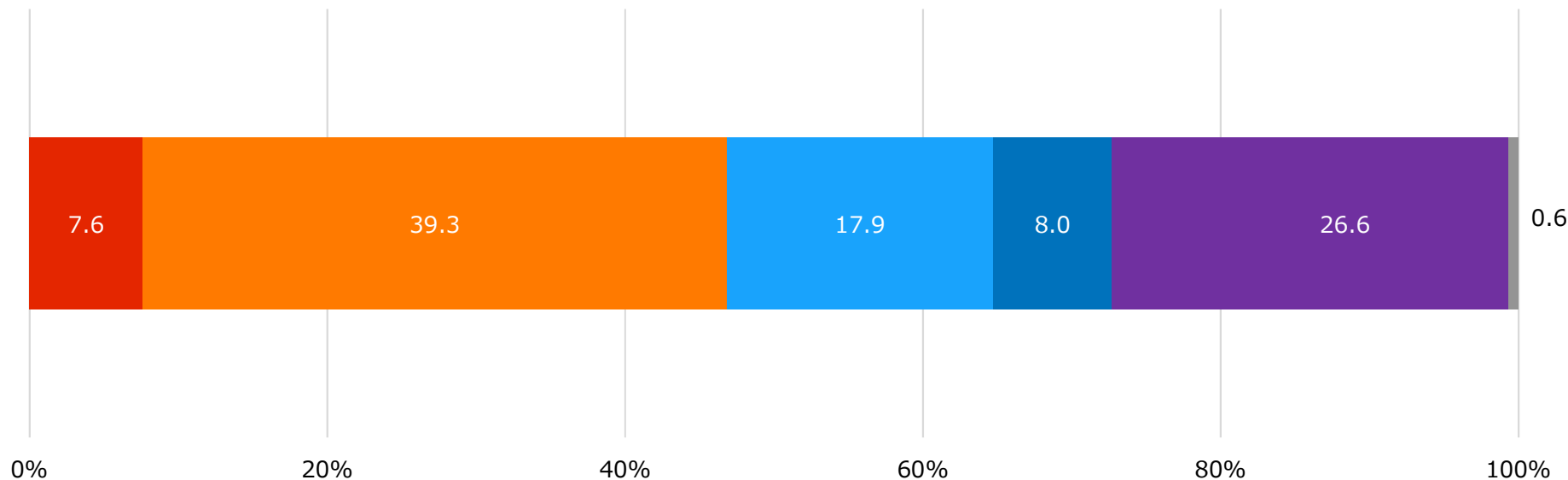
■ 利便性の高い行政サービスの提供

長岡市では、各種手続きのオンライン化やキャッシュレス決済など、利便性の高い行政サービスが提供されていると感じていますか。

(択一選択)

n=2,004

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



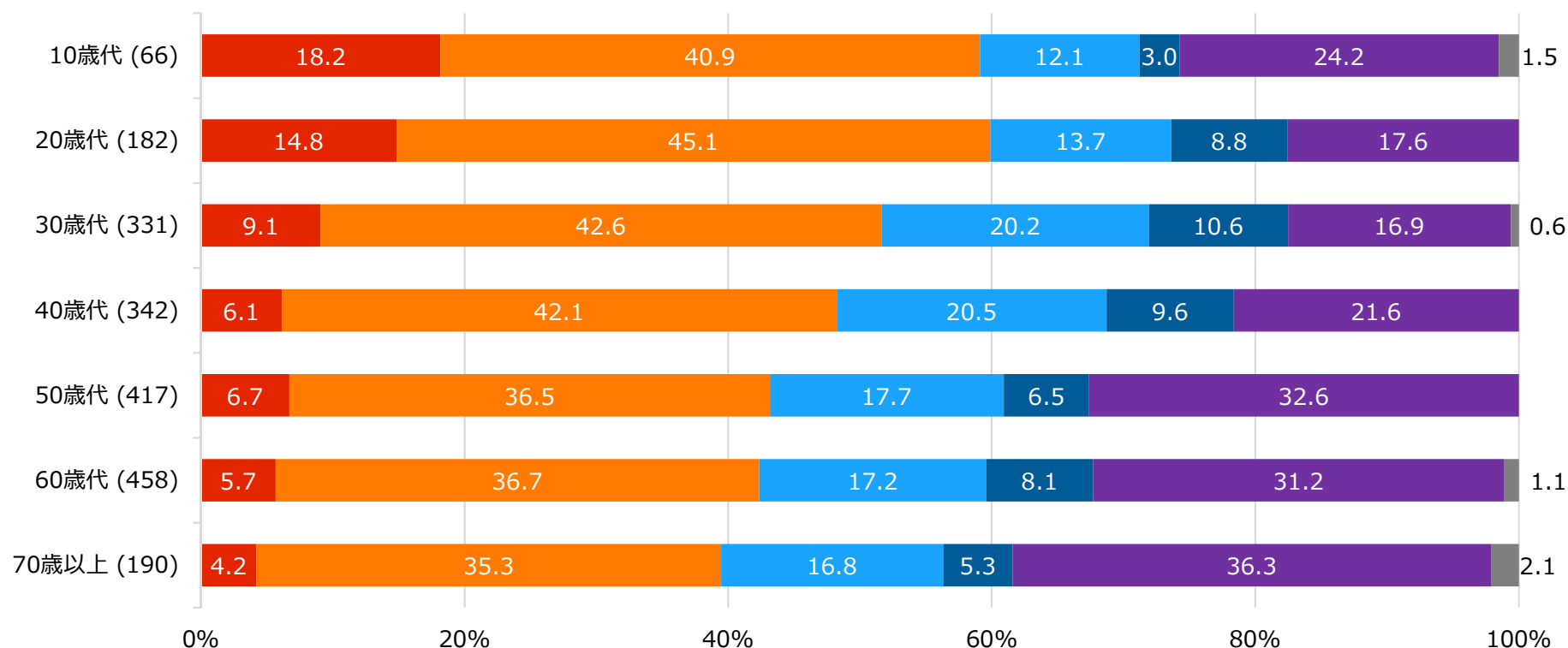
利便性の高い行政サービスの提供（年代別）

- 長岡市では、各種手続きのオンライン化やキャッシュレス決済など、利便性の高い行政サービスが提供されていると感じているかの回答について年代別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について10歳代が最も高く59.1%であった。一方で、元も低かったのは70歳以上で39.5%であった。

■年代別 利便性の高い行政サービスの提供

n=2,004

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



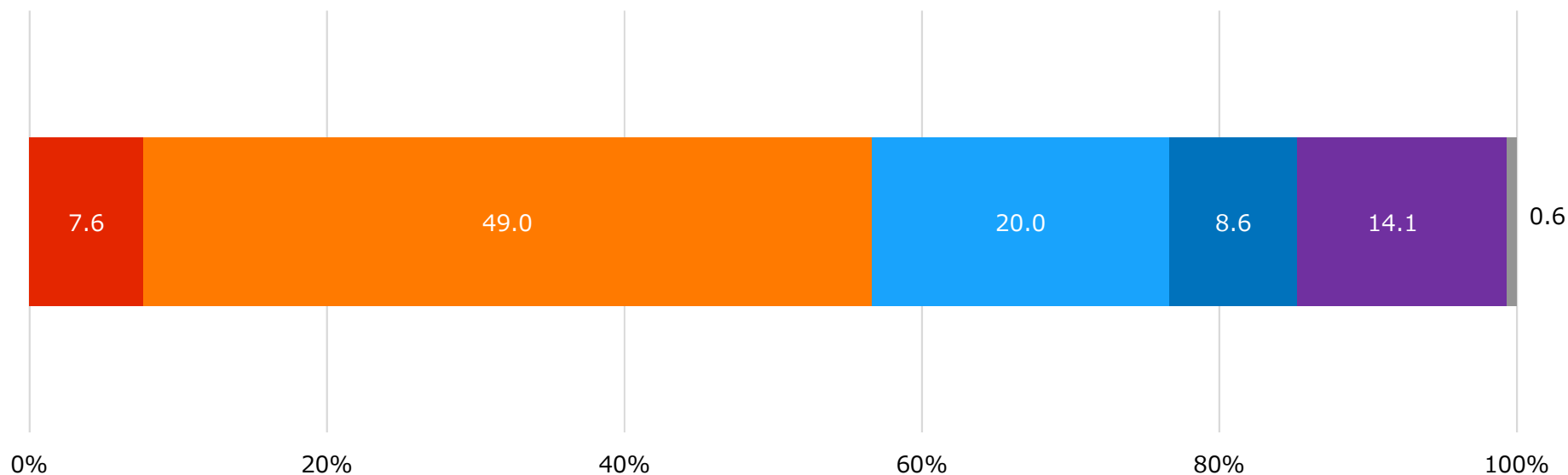
必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）の取得

- ・ 自分にとって必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）を十分に得られているか質問した。
- ・ 「思う」「どちらかといえば思う」が計56.6%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計28.6%であり、市民の半数以上が自分にとって必要な市民情報を十分に得られていると感じていることが分かった。

■ 必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）の取得

あなたは、自分にとって必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）を十分に得られていると思いますか。（択一選択） n=2,004

■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



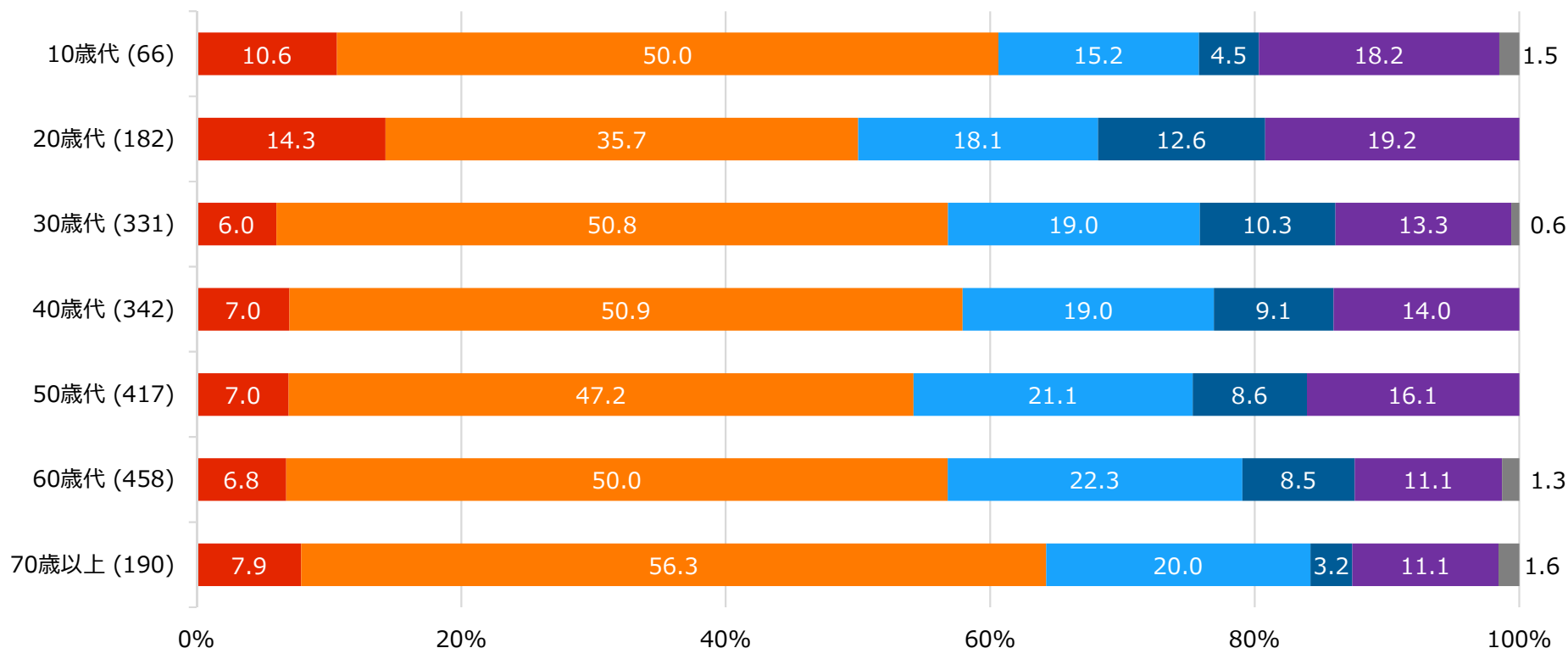
必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）の取得（年代別）

- ・ 自分にとって必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）を十分に得られているかの回答について年代別に確認した。
- ・ その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について70歳以上が最も高く64.2%であった。一方で、元も低かったのは20歳代で50.0%であった。

■年代別 必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）の取得

n=2,004

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



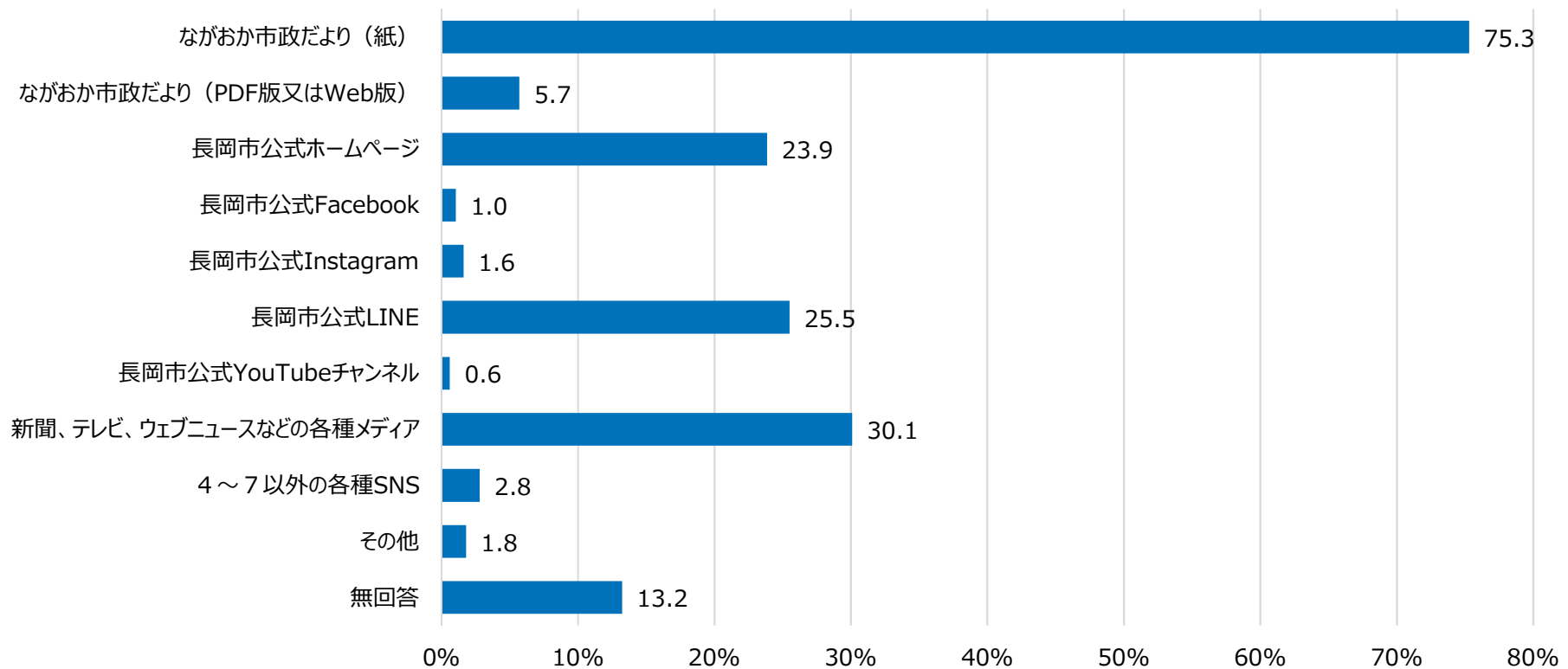
市政情報の取得方法

- ・ 自分にとって必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）について「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した、市政情報を取得している回答者に対して、どのような方法で市政情報を得ているか質問した。
- ・ 「ながおか市政だより（75.3%）」、「新聞、テレビ、ウェブニュースなどの各種メディア（30.1%）」、「長岡市公式LINE」の順で多いことが分かった。

■ 市政情報の取得方法

あなたは、どのような方法で市政情報を得ていますか。（上位3つまでに○）

n=1,708



4-8

その他ご意見

その他ご意見（自由記述）

- アンケートの最終設問として、その他のご意見について自由記述（回答任意）を設けた。
- 回答においてよく見られる言葉と繋がりについて定量的に可視化を行ったところ、若者が暮らしたいと思うまちづくりの推進、子育て世帯への支援充実や、教育への注力、除雪や道路整備に関する要望、公共交通（バス等）の利便性向上、長岡駅周辺の活性化に関する意見などが多く見られた。

■ その他自由記述回答においてよく見られる言葉と繋がりの可視化（共起ネットワーク）

